

ロータリーの友

THE ROTARY-NO-TOMO SEPTEMBER 2014 VOL.62 NO.9

ロータリーの友9月号 第62巻 第9号
平成26年9月1日発行(毎月1回1日発行)
通巻741号 昭和28年1月創刊
昭和43年4月23日第3種郵便物認可
発行所 一般社団法人ロータリーの友事務所

9

2014



特集 新世代のための月間
新世代の未来のために
ロータリーを未来につなぐ
20~30代のロータリアン

Rotary 



見つけようとしさえすれば、人生には必ず価値があります。
その価値は銀行口座の中にもありませんし、他の財産の中にもありません。

ロータリーの創始者 ポール・ハリス

Rotary 

例会開始時刻 A 7:30 B 8:00 C 12:00 D 12:10 E 12:15 F 12:20 G 12:45 H 13:00 I 17:30 J 18:00 K 18:30 L 19:00 M 19:30 ※最新情報は『ロータリージャパン』www.rotary.or.jp「クラブ例会」をご覧ください

①第1週18:00 ②第1週18:30 ③第2週18:00 ④第2週18:30 ⑤第3週18:00 ⑥第3週18:30 ⑦第3週19:00 ⑧第4週18:00 ⑨第4週18:30 ⑩第4週19:00 ⑪第5週18:00 ⑫第5週18:30 ⑬月の最終18:00 ⑭月の最終18:30 ⑮月の最終19:00 無印12:30

例会開始



ロータリーの 将来を担う新世代



黄其光 (Gary C.K. Huang)

2014-15年度 RI 会長
台湾・台北 RC

親愛なるロータリアンの皆さん、国際ロータリー（RI）の会長であることの素晴らしい恩恵の一つは、ロータリー世界のさまざまな地域を訪れる機会に恵まれることです。

普段、私はイベントに出席するために旅行をし、クラブや地区大会や研究会でスピーチをし、そしてロータリアンに奉仕を奨励します。しかし会長として、私はあらゆる分野のロータリーファミリーに責任を負っています。このことは、ローターアクターやインターアクター、青少年交換学生、ロータリー青少年指導者養成プログラム（RYLA）の参加者など、ロータリーの若い世代を支援する恩恵にも浴しているということです。

新世代の発想に感動

ロータリアンの活動を見る時、私はいつも感動し、興奮し、そして刺激を受けます。新世代の人たちの活動を見ても、まったく同じように感じ、そして同じように驚かされることもよくあります。私が彼らの活動に期待するようになったのは、彼らの活動の質によるのではなく、彼らの考え方方に独創性があり、工夫をこらしたものだったからです。私は彼らが行ったことを見て、「なんて素晴らしい活動だ」と単に思うのではなく、「なんて素晴らしい発想なんだ」と感動するのです。

世界に対する見方は世代によって異なります。そして一人ひとりが、独自の視点を持っています。一つの問題に直面した時、私たちは異なる解決策にたどり着きます。これは、私たちの強みである、文化、言語、経験、性別、年齢といった、多様性がロータリーにあるからです。

新世代を応援することは自分たちを応援すること

ロータリーでは、奉仕をするにあたって、長期的展望に立ったものであるよう努めています。私たちは、自分たちの奉仕が役に立ち続け、私たちの手から離れた後も、影響

を持ち続けるようなものにしたいと強く願っています。私の経験から言うと、新世代はこのような考え方を分かち合い、新しく革新的な方法で環境問題に焦点を当てることによって地球規模に応用していきます。私がロータリアンになった時、環境問題が私たちの話題に上ることなどほとんどありませんでした。今の若い人たちにとって、これらの問題は目の前にあり、中心にあるものなのです。ロータリーの奉仕の世界にとって、彼らの先見性はかけがえのないものであり、私たちが促進し、支援すべきものの一つです。彼らが私たちから学ぶように、私たちも彼らから学んでいくべきでしょう。

ローターアクトやインタークトで活動している若い人たち、青少年交換学生や、RYLAの参加者は、明日のロータリアンです。彼らを応援することは、私たちの組織全体の未来を応援しているということになります。私たちは、明日のクラブ会長、ガバナー、RI理事、そしてRI会長になる人たちを養成する手助けをしているのです。

Gary C.K. Huang
2014-15年度 国際ロータリー会長

9月は新世代のための月間です

- 3 RI会長メッセージ**
ロータリーの将来を担う新世代 
RI会長 黄 其光
- 18 若い世代の心をつかむ8つのアイデア**
Maureen Vaught
ロータリーニュースから
- 19 スクールプロジェクトを率先する若いロータリアン**
- 20 ロータリーを未来につなぐ—20~30代のロータリアン—**
帯広南RC 小林 佳奈/
日本ロータリーEクラブ2650 中村 真啓/
静岡RC 木村 絵美/川西RC 今西 優
- 23 Rotaryいま……
ロータリーを紹介する動画**
- 24 世界各地でロータリーデーを**
RI理事 スティーブン A.スナイダー
- 26 2015年1月
人頭分担金の請求方法が変わります** 
THE ROTARIAN 9月号から
- 28 エバンstonでジャパンデー開催**
2014年4月10日
第2回ジャパンデーに参加して
平塚西RC 伊藤 延雄
- 6 ■ロータリーとは**
36 ■エバンston便り
37 ■管理委員長の思い 
38 ■ロータリー掲示板
新クラブ・ロータリー衛星クラブ・RC事務所住所変更・
RC例会変更・RC名称変更・新IAC・広報誌のご案内・
例会一覧表のご案内・地区別クラブ数／会員数／出席率一覧表・
『友』10月号主要記事予定
40 ■日本ロータリー分布図
40 ■奥付
41 ■ご投稿をお待ちしています（投稿規定）
- 7 特集 新世代のための月間
新世代の未来のために**
- 地域で、海外で……
新世代支援に汗を流すロータリアン**
- 橋本RC 2013-14年度国際奉仕委員長 喜多 啓允/
金沢百万石RC 炭谷 亮一/
横浜南ローターアクトクラブ・
新横浜ローターアクトクラブ・
有田ロータリークラブ・
福島21RC 2013-14年度会長 阿部 正美/
総社吉備路RC 佐野 重治/勝浦ロータリークラブ/
東京府中ロータリークラブ/小松ロータリークラブ/
宇都宮陽東ロータリークラブ/山鹿RC 宮川 政士/
宿毛RC 2013-14年度新世代活動委員長 秋澤 誠/
藤沢西ロータリークラブ/
東京小平RC 2013-14年度広報委員長 加藤 勝也/
丸亀東ロータリークラブ/高槻西ロータリークラブ/
東京東大和RC 若林 和男/静岡東ロータリークラブ
- 30 心は共に 東日本大震災**
- 芦屋RC 2013-14年度東北支援奉仕プロジェクト委員長
山西 康司/大阪南RC 田中 宏毅/
函館大学ローターアクトクラブ/
寒河江RC 若月 仁/東近江ロータリークラブ/
福島21RC 2013-14年度会長 阿部 正美/
富津シティロータリークラブ/
いわき鹿島ロータリークラブ
- 34 よねやまだより
ロータリー米山記念奨学事業の基礎知識
——寄付金・財政編——**



P7~17 9月は、若い人々の育成を支援するすべてのロータリー活動に焦点を当てる「新世代のための月間」です

©Monika Lozinska / Rotary International

ロータリーの友 委員会		特別顧問	中山 義之 (横浜南)	地 区 代表委員	2500 佐藤 真康 (帯広)	2830 中畠 肇 (弘前西)	2650 橋本 和典 (奈良大宮)
委 員 長	橋本 長平 (京都東)	神崎 正陳 (第ヶ崎湘南)	2510 柳 孝一 (札幌幌南)	2840 島津 文弘 (高崎北)	2660 藤田誠一郎 (大阪帝塚山)		
副委員長	清水 良夫 (横浜)	上野 孝 (横浜)	2520 佐藤 澄子 (盛岡流ノ沢)	2580 石橋 正男 (東京東江戸川)	2670 石川 浩 (高松南)		
R I 理事	北 清治 (浦和東)	安平 和彦 (姫路)	2530 金平 祖隆 (福島北)	2590 長戸はるみ (川崎高津南)	2680 熊見 一郎 (神戸須磨)		
R I 理事	杉谷 卓紀 (玉名)	片岡 信彦 (土浦南)	2540 加賀 美奈 (大曲)	2600 山口 健雄 (伊那)	2690 墓山 義皓 (益田)		
		顧 問	本田 博己 (前橋)	2550 伊藤 一男 (大田原)	2610 小間 茂雄 (高岡)	2700 廣澤 元彦 (小倉東)	
		志田 洪顯 (静岡)	2560 山内 正胤 (十日町)	2620 阿部 正義 (浜松北)	2710 田頭 和規 (福山南)		
		大室 優 (宝塚武庫川)	2570 今泉 博 (川越)	2630 加藤真左子 (多治見西)	2720 高山龍五郎 (大分)		
		鈴木 霽 (東京江北)	2770 宮下 守夫 (大宮シティ)	2750 西澤 宗英 (東京渋谷)	2730 深尾 兼好 (鹿児島西)		
		水野 功 (東京飛火野)	2790 寺川 典秀 (千葉幕張)	2760 岩瀬淳一郎 (豊川)	2740 杉原 宏一 (諫早北)		
			2800 御橋 広眞 (鶴岡西)	2780 加藤 盛久 (第ヶ崎湘南)			
			2820 木曾 正明 (日立)	2640 京谷 知明 (県フェニックス)	福集長 二神 典子 (東京築地)		

ロータリーとは

ロータリーの誕生とその成長

20世紀初頭のシカゴの街は、著しい社会経済の発展の陰で、商業道徳の欠如が目につくようになっていました。

ちょうどそのころ、ここに事務所を構えていた青年弁護士ポール・ハリスはこの風潮に堪えかね、友人3人と語らって、お互いに信頼のできる公正な取引をし、仕事上の付き合いがそのまま親友関係にまで発展するような仲間を増やしたい、という趣旨でロータリークラブという会合を考えました。ロータリーとは集会を各自の事務所持ち回りで順番に開くことから名付けられたものです。

こうして1905年2月23日にシカゴロータリークラブが誕生しました。

それからは、志を同じくするクラブが、つぎつぎ各地に生まれて、国境を超えて、今では200以上の国と地域に広がり、クラブ数34,578、会員総数1,185,074人（2013年7月1日RI公式発表）に達しています。

そして、これら世界中のクラブの連合体を国際ロータリーと称します。

このように、歴史的に見ても、ロータリーとは職業倫理を重んずる実業人、専門職業人の集まりなのです。その組織が地球の隅々にまで拡大するにつれて、ロータリーは世界に眼を開いて、幅広い奉仕活動を求められるようになり、現在は多方面にわたって多大の貢献をしています。

日本のロータリー

わが国最初のロータリークラブは、1920（大正9）年10月20日に創立された東京ロータリークラブで、翌1921年4月1日に、世界で855番目のクラブとして、国際ロータリーに加盟が承認されました。

日本でのロータリークラブ設立については、ポール・ハリスの片腕としてロータリーの組織をつくり、海外拡大に情熱的に取り組んだ初代事務総長チェスリー・ペリーと、創立の準備に奔走した米山梅吉、福島喜三次などの先達の功を忘れることができません。

その後、日本のロータリーは、第2次世界大戦の波に洗われて、1940年に国際ロータリーから脱退します。戦後1949年3月になって、再び復帰加盟しますが、この時、復帰に尽力してくれたのが国際ロータリーの第3代事務総長ジョージ・ミーンズでした。

その後の日本におけるロータリーの拡大発展は目覚ましいものがあります。ロータリー財團への貢献も抜群で、今や国際ロータリーにおける日本の地位は不動のものになりました。現在、日本全体でのクラブ数は2,276、会員数86,756人（2014年6月末現在）となっています。

2014 – 15 RI テーマ



Light Up Rotary

ロータリーの目的

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある：

- 第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること；
- 第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること；
- 第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること；
- 第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実か どうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるか どうか

特集 新世代のための月間



新世代の未来のために



地域で、海外で…… 新世代支援に汗を流すロータリアン

9月は、若い人々の育成を支援するすべてのロータリー活動に焦点を当てる「新世代のための月間」です。学校や図書館、職業訓練施設などの建設を通して海外の子どもたちを支援する地区やクラブ、体験事業や表彰、スポーツ大会などで地域の子どもたちを支援するクラブなど、さまざまな形で新世代を支えるロータリー活動を紹介します。

現地交流を大切に —— ネパール学校建設支援活動

橋本 R C 2013 – 14 年度国際奉仕委員長 喜多 啓允



さいたまユネスコ協会と、約 20 年間ネパールの貧しい人々のための支援を続けている垣見一雅氏（通称「OKバジー」）の協力で、橋本ロータリークラブ（R C）が 2010 年から始めていたるネパール学校建設支援活動も、2013 – 14 年度で 3 校目の建設となりました。

2014 年 4 月に、3 校目のプラバット高等中学校に増築した 2 教室の引き渡し式に出席することになりましたが、出発前、「建設予定が遅れて引き渡し式ができるない」との連絡を受けました。橋本 R C は、建物の支援だけではなく、その後も児童・生徒や村民と何らかの関わりを持って交流を深めていくというスタンスで事業を進めてきましたので、以前に建設したパシュパティ小学校、バランディ小学校の訪問を目的に、当クラブから 3 人、橋本紀ノ川 R C から 1 人が予定通り、4 日に出発しました。

ところが、ネパールに着いてから、前日にバランディ小学校の先生が急逝されたとの連絡が入りました。ネパ

ールでは先生が亡くなると 3 日間休校となり喪に服するしく、これもキャンセルになりました。

4 月 6 日、タンセンのホワイト・レイクホテルを出発し、パシュパティ小学校へ向かいました。児童たちは、昨年私たちが贈った T シャツを着て出迎えてくれました。ノート、そして日本から持参したボールペン、消しゴム、チョコレートなどを配布しました。チョコレートを食べるのが初めての子が大勢いて、喜んでいました。

クラブからの支援金、ならびに小西捷治会長（当時、以下同）からの個人的な支援金などを村民の前で披露し、有効に使っていただけるようお願いしたところ、早速、学校建設委員長から、私たちの寄贈した教室と旧校舎が離れているので、支援金をトイレの増設に使いたいとの要望があり、承諾しました。

その後、手作りの郷土料理をごちそうになり、和やかな時間を過ごしました。3 回目の訪問となれば顔見知りの人も多く、学校建設だけでなく、その後の交流の大



さを感じました。また、今回行けなかったバランディ小学校にも同様の支援をしていただけるよう、垣見氏にお願いしました。

その後、カトマンズ近郊のサンガに住み、長年ネパールの支援を続け、テレビ番組「世界ナゼそこに? 日本人~知られざる波瀾万丈伝~」(2013年5月31日放送)でも取り上げられた岐阜県出身の筋田雅則氏に会いました。私たちは筋田氏の経営する旅館に泊めていただき、ネパールの事情、支援についてのアドバイスをもらいました。また、筋田氏の支援活動に役立つよう、小西会長からの支援金の一部を寄贈しました。

翌12日、カトマンズのパタン地区にあり、知り合い

の会員がいるパタン・ダルバール・スクエアRCを訪問し、歓迎を受けました。同地区では昨年、地元16のロータリークラブが同地区的児童約3万3,000人の健康診断を、奉仕活動として行ったそうです。橋本RCが支援するパルパ地方の小学校の健康診断を、私たちとマッチングして行いましょう、と提案され、今後の課題として考えたいと思っています。

今回は、予期せぬ事情でパシュパティ小学校だけの訪問となりましたが、今年度はもう1校を建設予定ですので、次回は、プラバット高等中学校と合わせて2校の引き渡し式に参加したいと思います。

(第2640地区 和歌山県)

ラオスの学生に有機農法を——地区奉仕事業の職業訓練プログラム完成

金沢百万石RC 炭谷 亮一

2012年5月、ラオスの首都・ビエンチャン郊外のバンカムセカンダリースクール（中高一貫校）の敷地に、第2610地区奉仕事業として、職業訓練のための農業支援センターを建設し寄贈、さらにラオス教育省との間で

職業訓練プログラムを2年間かけて完成させ、移譲する契約を取り交わしました。

契約後、早速、当地区の中村啓二郎会員（野々市ロータリークラブ）が農学部出身の若きボランティアとともに

タバコ吸い殻拾い＆ウォーキング例会

横浜南ローターアクトクラブ・新横浜ローターアクトクラブ

5月11日、横浜南ローターアクトクラブ(RAC)、新横浜RACの主催、横浜南ロータリークラブの支援で、「第7回タバコ吸い殻拾い＆ウォーキング例会」を開催。「ごみを捨てない人を育てる」などの目的のもと、過去最多の270人以上のロータリー家族が参加しました。当日は「母の日」でしたが、われらの母なる土地である横浜駅周辺のタバコの吸い殻を拾うことは、大きな意味のあることだったと思います。今回は市川緋佐麿ガバナー（当時）にも参加いただき、約1時間半にわたり作業した結果、総重量6.28kgの吸い殻、その他多くのごみを拾うことができました。（第2590地区 神奈川県）





に現地に常駐し、プログラム作成に当たりました。学校に隣接した荒地（6ha）を同校の全生徒約1,400人と一緒に開墾しました。水源確保のための井戸掘り、土壌改良、有機農法のための堆肥作り、ニワトリの飼育、そして最適な農作物を選択するための実験的作付けどと、多忙な2年間を送り、農業を志す生徒たち（全生徒の約6割）に有機農法を伝授するとともに、職業訓練を行いました。

私は今年4月、ラオス教育省に本プログラムの完全移譲のため、現地を訪れました。そこには現地にすっかりとけ込んだ中村会員の姿がありました。赤銅色に日焼け

し、達成感と充実感に満ちた彼の精悍な姿に接し、「ロータリアンはかくあるべし」との手本を見る思いがしました。

副次効果もありました。実は、中村会員にはかなり重度の糖尿病の持病があったのですが、現地の過酷な環境での労働、規則正しい生活（早寝早起き）、ラオス料理の食事の結果、なんと15kgのダイエットに成功し、帰国後のチェックでは担当医も驚嘆するほどの、ほぼ全快状態だったそうです。今後も、物心両面で支援していきたいと思います。
（第2610地区 富山県・石川県）

中高生と一緒に、有田みかん海道をきれいに

有田ロータリークラブ

5月11日、箕島中学校バスケットボール部3年生の6人と先生1人、箕島高校生徒会から6人、先生2人の協力を得て、クラブ恒例の有田みかん海道の桜の木の手入れと清掃を行いました。海岸を一望するドライブウエーで10年ほど前に植樹した桜の木を整枝し、付近をクリーンアップ（清掃）するプロジェクトで、今回も溝にたまつた泥を丁寧に取り除き、通行の妨げになりかけていた桜の枝を手入れすることができました。

ロータリアン一人ひとりが奉仕への思いを示すことで、生徒たちに奉仕の素晴らしさを体験してもらい、共に心地いい汗と疲れを実感してもらえたと思います。作業後は参加者全員での昼食会。みかん海道から見える海、すがすがしい空気の中で食べるお弁当は格別でした。

（第2640地区 和歌山県）



姉妹3クラブで小6児童に英和辞典寄贈

福島 21 R C 2013－14年度会長 阿部 正美

姉妹クラブの東広島 21 ロータリークラブ（R C、第 2710 地区）、千里メイプル R C（第 2660 地区）との合同記念事業として「子供たちに英和辞典を贈るプロジェクト」を企画。3月 6～7 日、福島市内の桜の聖母学院小学校の 6 年生 40 人、清水小学校 6 年生 85 人に英和辞典を贈呈しました。

7 日の清水小学校での贈呈には、遠路はるばる東広島 21 R C の岸田洋美会長（当時、以下同）をはじめ佐々木隆一幹事ほか計 4 人の皆さまにおいでいただき、児童代表に贈呈しました。子どもたちからの「中学生になつたら大切に使い、一生懸命勉強します」との感謝の言葉に、大変感激しました。今後もぜひこの姉妹 3 クラブで奉仕活動ができればと考えています。このような活動

を通じてより一層絆が強まり、それぞれのクラブの発展につながればと思います。（第 2530 地区 福島県）



来年も来るよ！——カンボジアの小学校に図書館書籍の充実を

総社吉備路 R C 佐野 重治

4月 25 日、会員 5 人が今年もカンボジア・タケオ州プライガバス郡のトラパン・アン小学校（児童数：約 250 人）を訪問しました。関靖文会員が 2009 年に同校に図書館を建設、寄贈してから早くも 5 年を迎えました。

毎年、会員が訪問して館内の書籍の充実を図ってきましたが、今回は、東京西ロータリークラブ（第 2750 地区）の支援で編集された、クメール語による『忠犬ハチ公物語』20 冊を含む本を寄贈、また児童に文房具も贈りました。

顔なじみになった笑顔の素晴らしい児童たちに、今年は日本から折り紙を持参しました。教室ごとに会員が日本語版・英語版の教本を片手に、ツル、花、飛行機などを、子どもたちと一緒に汗だくになって折りました。さすが、子どもたちは勘が良く器用で、紙飛行機を教室内で飛ばし合って「chiah y nd haoh（飛んだ 飛んだ）」と大歓声、楽しい時間を過ごしました。

近くの小学校出身で、片岡太郎会員が里親制度により小学校 1 年生から現在まで長年にわたり支援し、現在、国立プノンペン大学（日本では東京大学にあたるそうです）の外国語学部日本語学科 2 年生のチャン・ポンさんに、われわれの滞在中通訳として同行していただきました。

彼女は大学の日本語弁論大会で優勝、来日の経験もあります。全児童の前で「日本のお父さんのおか

げで大学に進学することができました。皆さんも一生懸命勉強してください。勉強することが恩返しですよ。また、将来日本にも訪れて、見聞を広めてください」と話すと、拍手が湧き起きました。

最後は、子どもたち全員が行列して見送ってくれ、ハイタッチで「来年も来るよ！」と約束して学校を後にしました。素晴らしい一日でした。（第 2690 地区 岡山県）



本物の音楽を子どもたちに——五嶋みどり氏の弦楽器演奏会

勝浦ロータリークラブ



バイオリンで魅惑的なメロディーを奏で、聴く人々を陶酔させる、世界に知られた名バイオリニスト・五嶋みどり氏が、6月23日、千葉県勝浦市立興津小学校を訪問。1時間にわたり、4～6年生40人と、バイオリン演奏を通して楽しく有意義な時間を過ごした。

五嶋氏を招いたのは、勝浦ロータリークラブの古川範男青少年奉仕委員長（当時）。古川委員長の働きかけに、五嶋氏が「本物の音楽を見、聴き、肌で感じる大切さを子どもたちに体感させる」という、自身が推進する音楽活動の目的が達成できると感じ、今回の訪問が実現した。

当日、五嶋氏一行（8人）は、午前9時前に興津小学校に到着。五嶋氏とバイオリン奏者のガヒョン・チョウ氏（韓国出身）、ビオラのウィリアム・フランプトン氏（アメリカ出身）、チェロのマイケル・カツツ氏（イスラエル出身）が、音楽室の隣の部屋を利用してリハーサル。

それぞれの楽器の調律と綿密な事前の打ち合わせを行った。

午前10時の開会式後、4人が約1時間にわたり、音楽室で演奏した。演奏後、五嶋氏は、高価な自身のバイオリンを小学生たちに持たせ、弓を引かせて音の出し方を指導。他の3人も同様に、児童全員に演奏を体験させて指導し、子どもたちの向学心を刺激、音楽への興味を引き出すことに貢献していた。

演奏に先立ち、五嶋氏は自己紹介で「バイオリンを4歳から始めた」と語って、児童の関心を引き付けた。続いて、3人の他の奏者が語る英語の自己紹介を通訳し、児童に「世界に認められるとは、どういうことか」を目の前で体感させていた。

千葉県の南東で勉強している児童たちに大いなる刺激となった一日だった。
(第2790地区 千葉県)

過去最高の応募数、40年目の作文コンクール

東京府中ロータリークラブ

府中市内の中学生を対象にした当クラブの継続事業「作文コンクール」が40回の節目を迎え、6月28日に表彰式を行った。今回は過去最高の1万2,486点の応募があり、地域で親しまれる行事となっている。毎年6月の最終土曜日に表彰式を開催しているので、会員は年度末まで気を抜けないが、府中市と市小中学校校長会の要望もあり、未来を担う子どもたちの成長を願って、当分は継続することにしている。(第2750地区 東京都)



高校3年生に職業講話

小松ロータリークラブ

毎年、恒例事業になっている職業講話を今年も6月11日に実施。小松工業高校3年生を対象に、職業奉仕委員会主催で、会員が同校を訪問し、社会人としての心構えなどを語っている。まず、全体講話として、中橋勝美会長（当時）が、物事は10年スパンで考えること、お金で買えないものを探求する努力をすること、幸せ2倍の法則などについて話した。続いて、各教室に分かれ、会員6人が、生徒から事前にヒアリングした内容を含めた職業講話を行った。

（第2610地区 石川県）



20年支援の児童養護施設に農園を寄贈

宇都宮陽東ロータリークラブ

当クラブは創立以来20年にわたり、児童養護施設「下野三学園」（入所者約40人）と交流を続けてきました。このたび地区補助金を活用し、同施設敷地内に約40坪の農園を造成し、寄贈しました。子どもたちとともに土に触れ、汗をかき、作物を育て、収穫の喜びを体験できる農園です。園長により「ふれあい農園」と名付けられ、4月2日にはその完成を記念し、入所者と職員そしてロータリアンら総勢63人がジャガイモの植え付けを行いました。農作業を終え、青空の下で弁当を頬張る参加者は皆、満足げな表情でした。

「ふれあい農園」は、総工費55万円（うち地区補助金約35万円）で、宇都宮市農業委員会の支援を受け、地質調査から完成まで約4か月を要しました。この間、会員の延べ参加人数は86人でした。

農園の寄贈は、同施設との長年の交流の中で最も規模の大きな企画でした。今後は、四季折々の農作業、収穫



物の調理と会食、作物に関する勉強会などを通じて多種多様な交流を生む継続的な事業にしようと、会員一同意気込んでおります。さらにはこの取り組みが、子どもたちだけでなく、ロータリアンにとっても、自然環境や食物への関心を高める機会になればと思っています。

「ふれあい農園」は、会員同士のふれあいの場ともなり、クラブの団結を強めることに一役買ってくれることでしょう。

（第2550地区 栃木県）

現代の孝子を表彰——「孝子孫次郎賞」新設

山鹿RC 宮川 政士

今の世の中、「自分さえ良ければそれで良し」とする風潮がまん延しています。そしてまた、「わが子だけが良ければ良し」という意識が大変強くなっています。勢い、子どもたちの側にも、何でも許されるという甘えがあります。親がわが子に尽くすのは当たり前になっており、何の不思議も感じない時代になっています。

それでは、子どもが親や祖父母のことを考える場面が今、あるでしょうか。

否、皆無に近いと思います。「親孝行」という言葉さえ死語に思えるくらい、耳にする機会がありません。果たしてこのままよいのでしょうか。深く温かな心で育ててくれた両親、そして祖父母を敬い、尊ぶ心が今こそ



必要なものではないでしょうか。

山鹿ロータリークラブでは、将来のふるさと・山鹿を担う新世代の若者に親孝行を実践して欲しいと、「孝子孫次郎賞」を新設しました。孝子（孝行な子、よく父母に仕える子）だった孫次郎は、湯町に住み、鍛冶を生業

とするも家は貧困で、しかし母親に孝を尽くし、毎日母を背負って入浴させたことにより、藩主・細川綱利公から褒賞を受けました。また山鹿市内には、養父母に仕え、孝子として細川公から褒賞を賜った孝子権四郎もいます。

この孝子の方々にちなみ、今回初の「孝子孫次郎賞」を受けた中原久美さん（31歳）、和則さん（29歳）姉弟は、数年前から認知症の祖父を、気分転換にと率先して散歩に、ドライブにと誘い出し、爺ちゃん孝行をしてこられました。決して周りからの要請ではなく、本人たちの意志で続けられてきたものです。その姿は大変ほほ笑ましく、町内でも皆感心することしきりです。

世の中の多くの人々、特に彼らと同世代の若い人たちに知ってもらいたく、今回の表彰となりました。わがふるさとに孝子と呼ばれる人たちがいたことを、もう一度見直す機会にもなれば幸いです。（第2720地区 熊本県）

みんなで分け合いよる？——園児に「子どもの『四つのテスト』」紹介

宿毛RC 2013-14年度新世代活動委員長 秋澤 誠

5月8日、新世代活動委員会の事業で、新会員の岡崎利久会員がPTA会長を務める宿毛幼稚園で餅つき大会「高知家の子どもたち、餅つきぺったんぺったん」を行いました。雨が心配されましたが、当日は過ごしやすい五月の朝となり、日差しも見られました。

餅つき大会の中で、新世代活動委員会が提唱している「子どもの『四つのテスト』」の啓蒙活動を行いました。

子ども向けにロータリークラブの「四つのテスト」をわかりやすくアレンジしたもので、東豊喜会長（当時）

子どもの「四つのテスト」

嘘をつきよらん？

みんなで分け合いよる？

お友達と楽しく仲良くしよる？

みんなが喜ぶ事をしよる？

のあいさつでこの「四つのテスト」を紹介した後、園長の西尾稔先生が園児の皆さんに復唱させてくださいました。年長さんなどは一回で覚えてくれたようで、ありが

高校生を招き本式の茶道体験

藤沢西ロータリークラブ

5月18日、社会奉仕活動として、鵠沼高校（神奈川県藤沢市）の茶道部員7人と、顧問、コーチの先生を「滴水庵」に招き、お茶会を開催しました。

爽やかな好天の中、湘南の自然をそのままに残す庭を拝見しながら、にじり口から茶室に入るという初体験、そして茶席が始まりました。会員夫人たちが点てたお茶をいただき、生徒たちは緊張しながらも目を輝かせて本式の茶会を楽しんでいました。また、会長（当時）夫人の奏でる琴の音が、会場をいっそう奥深い雰囲気へと導いてくれました。

茶会終了後、部員と会員との懇談のときを得て終了。これを契機に、地域に密着した奉仕活動を積み重ねて、

ロータリーの認知度を高めていきたいと思います。

（第2780地区 神奈川県）





たく感じました。

そして、クラブが派遣した、高知県幡多地域のマスコットキャラクター「はたっぴー」と宿毛市の「はなちゃん」、2体の「ゆるキャラ」も園児たちを和ませました。なお、もち米は創立会員の菊池一郎会員、餡子は浦田文男会員の店舗からの提供でした。園児たちが摘んできたヨモギを加え、おいしいヨモギ餅となりました。「鉄は

熱いうちに打て」ではありませんが、小さな子どもたちの心に「四つのテスト」が宿ってくれたのではないかと思いました。

後日、宿毛幼稚園からお礼のお便りをいただき、その中に子どもたちが描いてくれた餅つきの絵日記が同封されていました。事業の達成感を得た参加メンバーでした！ 感謝！
(第 2670 地区 高知県)

小平市内 6 大学生の活動プレゼン大会「まちで楽しむ」開催

東京小平RC 2013 - 14 年度広報委員長 加藤 勝也

5月30日、小平市民文化会館で、東京小平ロータリークラブ主催、小平市共催、嘉悦大学ロータークトクラブ（R A C）企画運営で、昨年第1回を開催し好評を得たイベント「『まちで楽しむ』Second Stage」を開催。これは、市内6大学（嘉悦大学、白梅学園大学・白梅学園短期大学、津田塾大学、一橋大学、文化学園大学、武藏野美術大学）の学生による地域に関わる活動のプレゼンテーション大会で、ロータリアン、小平市長をはじめ、町に関わるさまざまな分野の人たちを集めて行われました。

来場者122人のうち56人が学生で、飛び入り参加した人の中には、地域に住む市外の大学に通う学生もいました。自らの体験を笑顔で語る学生の姿に会場からは大きな拍手が送られ、普段は触れることの少ない学生の活動は、地域の方々にかなりのインパクトを与えました。企画運営した嘉悦大学R A Cはまだ創立2年目で、昨年、この企画に携わった先輩は就職活動に多忙で、実質ゼロからのスタートでした。しかし、山口雄太郎会長を



中心に、新2年生が今後の伝統を築く思いで行事内容・進行を決めて自分たちで交渉。開催後の関係者へのフィードバックを求めるまでの、後輩につないでいくための一連の活動を一致団結して行おうと、連夜にわたる調整準備の末、開催にこぎつけました。

彼らにとって今回の経験は、同世代のネットワークを

広げる交流、専門知識とスキルアップ、ロータリアンと協同で行う青少年奉仕プロジェクトであり、リーダーシップ養成に大きく貢献した行事となりました。

今後もクラブの社会奉仕、青少年奉仕活動の新機軸として、大学生支援を継続して行います。

(第 2580 地区 東京都)

未来の剣士が増えることを願い—— 第1回丸亀東RC杯少年剣道大会を開催

丸亀東ロータリークラブ



4月20日、丸亀市で地元の小学生を対象に「第1回丸亀東ロータリークラブ杯少年剣道大会」を開催、約100人の選手たちが集まりました。

クラブ創立40周年の節目の年ということもあり、地元の青少年のために奉仕活動を企画。スポーツ大会などを計画していた折、近くの武道場で、小さな子どもたちが、夏には暑い稽古場にもかかわらず面を着け、冬には寒くともはだしで一生懸命に稽古をしている姿を見て、ぜひ剣道を応援してみようということになりました。

一般に、剣道大会に出場できるのはレギュラーの5人だけで、ほとんどの子どもたちは応援に回ります。当クラブ開催のこの剣道大会は、みんなが参加できるように3人制の団体戦にし、最初にリーグ戦を行い、次に決勝トーナメントを行うようにしました。そうすることで、出場選手全員が、最低3試合は経験できます。

小学生の剣道の稽古は基本を中心なので、単調な稽古の連続です。今では中学生の体育で武道が必須になってはいますが、剣道をする小学生は徐々に減っています。当クラブが剣道大会を継続することで、剣道を志す地元の小学生が少しでも増えることを希望しています。

今回、剣道大会を計画するに当たって、まず会場・日時を決めるところから始まりました。武道は礼儀作法面でいろいろな決まりがあるため、丸亀市剣道連盟と度重なる打ち合わせが必要でした。

大会後は剣道連盟の関係者、選手および選手の保護者、そして当クラブ会員からも多くの喜びの言葉をいただき、有意義な事業を行うことができたと思います。

なお、今大会は地元テレビ局の取材を受け、ニュースで放映されました。ロータリーの公共イメージ向上に、少しでも貢献できたかと思います。

(第 2670 地区 香川県)

交換学生、一日座禅とお茶席を体験

高槻西ロータリークラブ

地区青少年交換委員会の支援を得て、クラブ創立以来26回続いている「一日座禅体験とお茶会」を、今年も4月6日、神峯山寺、金光大阪高校茶道部の協力で開催。来日学生4人、派遣学生9人、家族を含む58人が参加しました。

学生たちは「足が痛い！」を連発しながらも、初めての座禅とお茶席の体験ができたと喜んでいました。

(第 2660 地区 大阪府)



笑顔をありがとう！——園児と搾乳体験

東京東大和RC 若林 和男

都会の子どもたちは牛乳は飲むが、牛乳がどのように作られるかについては知らない子も多いようです。

そこで5月13日、通常例会で卓話をしていただいた牧場経営の清水陸央氏に牧場から牛を連れてきてもらい、卓話前に地域の園児を招いて、例会場近くの駐車場で「園児搾乳体験」を実施。幼稚園の先生でもある会員の意見なども取り入れて行ったもので、園児70人、先生12人と搾乳体験、会員を交えての記念撮影と、慌ただしいひとときを過ごしました。

歓喜の雄たけびを上げる園児たち、甲高い声で「ウワーー、出た！」「スゴイ！」と笑顔の先生たち。ロータリアン、園児、先生が感動の1時間共有できることは大きな収穫でした。未来を託す子どもたちに夢が育まれ、目の輝

きを実感できた一日でした。

園児の皆さん！ 屈託のない素晴らしい笑顔をどうもありがとう！ (第2580地区 東京都)



21年目、河川清掃と特別支援学校の子どもたちとの植栽

静岡東ロータリークラブ

当クラブは1993年から毎年、河川清掃と特別支援学校を訪問して植栽をする社会奉仕活動に取り組み、今年で21年目になります。

河川清掃では、今年も3月29日、自然環境保全などに取り組むNPO法人「麻機湿原を保全する会」、室町時代から伝わる伝統漁法の復活と保存活動を続ける「南沼上柴揚げ漁保存会」の方々と、静岡市の中心部から約5kmに位置する貴重な湿原を流れる浅畑川を清掃。空き缶やペットボトルをはじめ、バイクの部品など、「こんなものまで!？」という廃棄物を回収しました。

学校訪問では、4月17日に静岡県立静岡南部特別支援学校の児童・生徒たちと交流を図りながら、ベゴニ

アやサルビア、トマト、カボチャなどの花や野菜の苗300株をプランターに植え付けました。最後に行われた「感謝の会」では、生徒代表から「毎日水をやり、きれいな花を咲かせます」といううれしいお礼の言葉があり、続いてみんなで一生懸命覚えたという同校オリジナル曲「なんぶっこ音頭」を元気よく披露してくれました。

この活動は、子どもたちの豊かな心を育むことを目指して実施しており、学校側も楽しみな行事として定着しているそうです。苗がやがて美しい花を咲かせ、大きな実を結ぶように、児童・生徒たちの成長を心から願い、今後も活動を重ねていきたいと思っています。

(第2620地区 静岡県)



若い世代の心をつかむ8つのアイデア

地元の史跡や怪奇話で知られた名所を巡るハロウィンのウォーキングツアー。マンネリ化しがちな例会に変化をもたせようと、アメリカ・ワシントンD.C.のロータリークラブが、いつもと違った例会を開いています。新鮮な試みに、若い人をはじめ一般の人々も興味を引かれて集まります。

「伝統にとらわれず、新しいイベントを盛り込むことで、若い世代の関心を引きつけられる」と話すクリスティン・ポスト氏。ポスト氏は元ロータリー平和フェローで、前述のウォーキングツアーを実施したデュポンサークルワシントン・ロータリークラブ（RC）の創立会員です。

こうした試みは、アメリカに限らず世界各地で見られます。若い会員を引きつけ、クラブで末永く活動を続けてもらうための8つのアイデアをご紹介します。

1.いつもとは一味違ったイベントを

ポスト氏のクラブでは、少なくとも年に2回、特別な例会を企画しているそうです。会員に新しい体験をしてもらったり、通常とは違う場所やイベントを通じて会員同士の絆を深めることもできます。地元で参加できそうな活動を探してみましょう。

2.伝統を見直す

「歴史と伝統がある」というだけでは若い世代はなかなか集まらない」と話すのは、ポスト氏のクラブ仲間、ナサニエル・スミス氏。多様な会員を集めて急成長する

クローリーRC（オーストラリア）を例に取り、同クラブでは例会で国歌を斉唱したり、会員に罰金を課したりすることはしないと話します。

「中には大切な伝統もあります。ただし、儀式的なことに時間を取ると、若い会員は圧倒され居心地よく感じられないことも」

3.ロータリーを紹介する媒体を考える

スミス氏が以前所属していたオーストラリアのロータリークラブでは、クラブを「社会のために行動するソーシャル・エンタープライズ」と説明し、多くの若者の関心を集めました。クラブを紹介する上では、媒体も重要です。Facebook、LinkedIn、クラブのウェブサイトなど、クラブに合ったコミュニケーション方法を見つけましょう。

「一度特定のサイトに情報を載せたら、定期的な更新を忘れずに。情報が古いままだと、ロータリーを知ってもらうせっかくのチャンスを逃してしまう」とスミス氏は付け加えます。

4.会費を工夫する

前述のアメリカのクラブでは、例会の食事を軽食にし、飲み物を各自負担にして、若い職業人も支払いやすい会費に抑えることができました。このほかにも、若い会員の会費は入会から1年間、割引するというアイデアもあります。



ロータリアクターと一緒に地元でバーベキュー大会を開いたオーストラリアのロータリークラブ
写真提供：The Rotary Club of Bondi Junction

スクールプロジェクトを率先する若いロータリアン

THE ROTARIAN 9月号から



2014年1月、23人の若いロータリアンたちが、教育支援をするためにグアテマラに向けて旅立ちました。その地域の平均学歴は小学6年生です。

メンバーのほとんどは、ロータリーに入会して1年に満たない会員で、全員40歳未満。カリフォルニアの4つのクラブ（サンフランシスコ・イブニングRC、サンディエゴ・コースタルRC、ディアボロビューアRC、ポートランドニュージェネレーションRC）に所属しています。彼らは、訪れたラ・ブエナ・エスペランサ村で初となる中学校の建設を手伝おうと、う

だるような暑さの中で、床や歩道に使うコンクリートをつくるため、小石や砂利をシャベルでくいきました。

この活動はアメリカに拠点を置く非営利組織Hug It Forwardとの協同によるものです。Hug It Forwardはこれまでにエコれんが（ごみをつめたプラスチックボトル）を使って、グアテマラに30以上の学校を建てています。このれんがは1つつくるのに2時間かかり、建設作業に取りかかる前に

地域の人たちは20,000時間以上をかけて、れんがを用意しました。「多くの人が世代の違いを感じますが、それよりも類似点や共通した価値観に焦点を当てた方がより生産的です」と2013年4月に創立し、このツアーを計画したサンフランシスコ・イブニングRCの世界社会奉仕(WCS)委員長のジェニファー・ド・レオン氏は言います。

「すべてのロータリアンがそうであるように、私たちは自分を取り巻く世界がよりよくなることを強く願っています」

5.例会にとどまらない出席・参加

会員の出席も大きな課題だと指摘するポスト氏。「私たちのクラブには、出張の多い会員もありますし、家庭や個人的な都合で忙しく時間に余裕がない人もいます。そこでメークアップをしやすいよう、奉仕活動、委員会会合、地区研修、クラブの社交行事への参加を出席に換算できるようにしています」

6.会員が参加しやすいイベント企画

都市部では特に、若い人は公共交通機関で移動します。これを念頭に、例会場所を選びましょう。また行事を行う際は、フルタイムで働く会員や子どものいる会員でも参加しやすいよう、週末に予定するのも一案です。

7.計画の初期段階から若い会員に参加してもらう

クラブプロジェクトでは、計画段階から新会員に協力してもらいます。アイデアを求めたり、役割を割り当てるなどで、それぞれが活動に貢献していると実感できるでしょう。また新会員にメンターのような相談役を付けて、クラブへの参加を助けるのも一案です。

8.家族で参加しやすい行事や活動

子ども連れでも参加しやすいクラブ例会、奉仕プロジェクト、イベントを企画しましょう。ワシントンD.C.のクラブは、会員家族の出産を祝うパーティーを開き、ほかの会員も子ども連れで参加しやすいよう、広い会場を確保しました。

執筆：Maureen Vaught

ロータリーニュース 2014年6月13日



ロータリーを未来につなぐ

— 20～30代のロータリアン —

ロータリーは学びの家族

帯広南ロータリークラブ
小林 佳奈

私がロータリーに入会したのは、2012年5月です。入会のお話をいただいた時は、ロータリーというものが、正直全くわかりませんでした。そのお話の中でわかったことは、会員は地域の企業を代表する方々ばかり。30代になって間もない、ましてや一流企業トップの男性ばかりの中に、私なんかが加わるのは場違いでは……。世間でいう30代は立派な大人の年齢、しかし、企業を代表する方々から見れば、私は経験値の小さいお子さまです。帯広という町で、父が約50年間営む焼肉店で、経理をしていただけの私です。皆さんに迷惑をかけるだけのではないか、と本当に悩みました。悩んだ末、出した答えは……。

「私もロータリアンになる！」

紹介してくださったのは、私が尊敬しあこがれている、とても大好きな女性ロータリアン、清原三枝子さんでした。清原さんは、いつも太陽のように明るい笑顔で、一緒にいるだけでたくさんのパワーと学び、ワクワク感を

与えてくれる方です。今思うと、そんなすてきな女性になれるかもしれない、というのが入会の大きな理由だったのかもしれません。

2年間の学びを通して

入会当初は、聞いたことのある企業名のバッジを着け、すてきなスーツに身を包んだ方々の中、普段の自分が過ごす環境とのギャップに、不安と緊張でいっぱいでした。しかし、今では“週に1度の例会”が“週に1度しかない例会”に変わりました。例会時間は1時間程度ですが、過ごす時間は短いのですが、しばらく会えない会員がいれば寂しくなり、いつもと様子が違えば心配になり、まるで家族のように大切に思うようになりましたし、私も家族のように大切にしています。

入会して2年がたち、さまざまな経験をしました。昨年はインターナショナルミーティング（IM）で、司会を務めさせていただきました。クラブの皆さんとの温かく、そして大きなパワーを知る、本当に貴重な場でした。

ロータリーのバッジを胸に

昨年2月、父は長年にわたり営んできた店を株式会社にし、私は女性ならではの視点を大切にした、新たなスタイルの焼肉店を目指そうと、妹と2人で新店舗を立ち上げました。入会以来、クラブの皆さんから学んだことは、本当にたくさんあります。

女性でも、自分の仕事や夢、仲間を持ち、勉強を重ねながら歩んでいけるということ。ロータリアンとしてのさまざまな活動への参加を通して、心を豊かにできるということ。その心の豊かさを自分の仕事に生かし、地域社会の豊かさにつなげていけるように。

良い時もそうでない時も、共に相談

二〇一三年の年末家族会にて
IMで司会を務める小林会員
(左写真)



全世界で会員増強が叫ばれる中、会員候補として真っ先に挙げられるのは、若者と女性。特に、ロータリーを未来へとつないでいくためにも、若者の入会は絶対に必要です。すでに会員の仲間入りを果たした20～30代の会員がロータリーに入会して何を感じているのか、今回はそうした気持ちを寄せてもらいました。

し合い、背中を押されたり時には背中を押してあげられる、そんな先輩たちのような固くて強い絆で結ばれた、ロータリーという輪の中の一人に、私もなりたいと思います。

皆さんから教わったこと、ロータリアンとしての魂を受け継ぎ、それをさまざまな場所、場面で発信していく。ロータリーのバッジを胸に着け、背筋をぴんっと伸ばし、真っすぐ前を向いて、太陽のようにキラキラした笑顔で、私なりに一步ずつ前に歩み続けていきたいと思います。

(第2500地区 北海道)



ロータリーとの出会いは高校のインターアクトクラブという、中村会員(写真左)

ロータリーならではの出会いに期待

日本ロータリーEクラブ2650
中村 真啓

私とロータリーとの出会いは今から約15年前、高校でのインターアクトクラブでした。その縁もあり、日本ロータリーEクラブ2650の創立会員として声をかけていただきました。入会前は、私のような世代が入会してよいものかと不安でしたが、温かく迎えてもらい、今では大いに楽しんでいます。

ロータリーに入り、大きな奉仕活動に参加できることを素晴らしいと思っています。昨年度は大津東ロータリークラブとの協同事業で、びわ湖環境学習船・ビアンカをチャーターし、びわ湖の水環境や歴史、生き物について学ぶクルーズを実施しました。小学生を中心に240人が参加し、充実した一日となりました。子どもたちが顕微鏡をのぞいて驚く光景が目に残っています。

ロータリーの縁と輪を大切に

Eクラブの例会はインターネット上で行われます。他クラブと同じプログラムが動画で行われ、出席後はコメントを記入します。今年度からはコメントへの返答によ

り双方向の発信が可能になりました。しかし、やはり顔を合わせる機会は必要だと思い、親睦を深める機会をつくる努力をしています。これまでに、地区内はもちろん、北海道、福岡、上海への親睦旅行も企画してきました。

ロータリーがなければ出会うことのなかったであろう方々との出会いが、ロータリーならではのものを感じていますので、今後もこの縁、ロータリーの輪を大切にしていきたいと思っています。

(第2650地区)

初めてのロータリークラブ

静岡ロータリークラブ
木村 絵美

私の父がロータリアンであること、高校の同級生がロータリーの奨学金でアメリカに留学していたことから、ロータリークラブ(RC)という団体があることは以前から知っていました。

ロータリーのイメージとしては、裕福なおじさんたちの集まりで、やる気のある学生に留学の援助をしている、という“あしながおじさん”に近いもの(部分的には合っているように思います)でした。



地区大会の後の懇親会で。静岡RCの西村やす子会員（左）と筆者・木村会員



静岡RCは歴史あるクラブで、弁護士3年目の私が入会できたのは本当に幸運なことでした。会員の皆さんには上品でユーモアがあり、娘（場合によっては孫）ほども年の離れた私に、とても丁寧に接してくださいます。「ロータリーに入ると、信頼できる友人が一気に何十人もできるよ！」とは、私に入会を勧めたボス弁護士の言葉です。経験豊かな皆さんと接して、自分の至らなさに冷や汗をかくこともままあり、「友人」になるにはもう少し研さんを積まなければなりませんが、例会ではさまざまな職業で成功している方々の硬軟織り交ぜた話を聞くことができ、「入会して良かった」と毎回思っています。

若者に社会経験と国際交流の機会を

入会当初は例会受付や委員長の仕事について、「わからない部分を誰に聞けばよいかわからずに戸惑う」ことがありました。今は「誰にでも聞いてみれば、詳しい人がわかる」ということで乗り切っています。

私は前年度、インタークト委員長を務めましたが、それほど貢献できなかったことを反省し、今後はインタークターなどの若い人たちのために、ロータリーが関わらなければできないような社会経験や国際交流の機会を提供できるよう努めたいと考えています。

（第2620地区 静岡県）

目標を与えてくれるロータリー

川西ロータリークラブ
今西 優

私は2009年9月に、川西ロータリークラブ（RC）に入会しました。最初お話をいただいた時は「ロータリ

ークラブ=高齢・男性・会社経営者・お金持ち」というイメージがあり、とても私が入会できるような団体ではない、と思いました。

また、例会がある金曜の昼は、司法書士という仕事柄、予定を入れにくく出席もままならないで、迷惑をかけることになると思い、お断りさせていただきました。しかし、熱心なお誘いに、いつの間にか入会することになりました。

所属クラブの例会に出席できない時はEクラブでメールアップすることも多く、特にクラブで役に立つこともなく、5年が経過しつつあります。

女性会員の増強が目標

そんな私ですが、入会して良かったと思うことは多々あります。まずは尊敬する会員と出会えたこと。そして、クラブでは私が最年少なので、周りの会員は皆、先輩ですが、その先輩方を見て、「こういうふうに年齢を重ねていきたいな」とか「私が○歳になるころにはこういうことができるようになりたいな」といった具体的な目標を持つことができるようになったことです。

また、経営者の方々のものの考え方を知ることができ、とても勉強になりました。これらはやはり、ロータリーに入会したからこそ得られたことだと思います。

川西RCには現在、女性が4人在籍していますが、今後は女性会員の人数をもっと増やしたいと思います。いろいろな年齢、さまざまな職種の人が、男女関係なく在籍するほうが、きっと面白いクラブになると思います。面白いクラブになれば自然と人も集まってくると思います。会員増強委員ではありませんが、そうしたこと目標にしたいと思います。

（第2680地区 兵庫県）



前年度、広報委員長として計画を発表する今西会員

ロータリーを紹介する動画

「公共イメージと認知度の向上」に努めている地区やクラブが多くなりました。ロータリアンでない人たちに、ロータリーを知ってもらい、よいイメージを持つもらうためには、地域社会や国際社会のニーズに合った活動をすることが一番です。

今月号では、その活動の一つとして「ロータリーデー」(横組みP 24～25、36)を紹介しましたが、方法は、ほかにもいろいろあります。

自分たちが実施した活動をビデオに録画して、YouTubeなどのSNS(ソーシャルネットワーキングサービス)に投稿するクラブも増えてきました。「ロータリークラブ」で検索すれば、たくさんの動画を見るることができます。

でも、ちょっと待ってください。ご存じのように、SNSは誰もが見ることのできる公のメディアです。その動画は、きちんとクラブの活動を伝えていますか。身内で楽しむだけのものではありませんか。著作権は問題ありませんか。皆さまが実施したプロジェクトに参加した若い人たちの顔がはっきり出ていて、あとで問題になる心配はありませんか。間違った情報は入っていないませんか。

投稿する前に、「公共イメージの向上」という観点で、いま一度チェックをしてみてください。認知度が上がってもイメージダウンでは意味がありません。

一方、ロータリーの活動を紹介する適切な動画があればいい、とお考えの方も多いと思います。それなら、ポリオ撲滅、水と衛生、識字率の向上などに関する活動を紹介した動画があります。国際協議会で国際ロータリー(RI)会長がテーマを発表した時のスピーチの動画もあります。これらはいずれもRIが公式に投稿したもので、スピーチは英語だけですが、活動の様子を撮った動画の中には、日本語に吹き替えたり、日本語の字幕を入れたものがあります。それがVIMEOです。

YouTubeは知っているけど、VIMEOなんて聞いたことがないと言われる方もいらっしゃるかもしれません。もちろん、検索サイトでVIMEOとキーワードを入れて検索をすることもできるのですが、お勧めは、RIのウェブサイトからアクセスする方法です。ここからアクセスすると、RIの動画を簡単に見つけるこ

とができます。

RIのウェブサイトの一番下に進んでください。幾つかのSNSのアイコンがあります。その左から3番目、Vの字のアイコンがVIMEOのアイコンです。これをクリックすると、ロータリーのロゴがありますが、その右側にある数字をクリックしてください。ロータリー関連の動画のリストが出てきます。

ここで日本語でタイトルが入っているものを探し、自分が探しているテーマの動画を見つけたらクリックしてください。その画面が開き、動画を見るることができます。

下にDownloadとありますが、そこをクリックしてみてください。スクリーンで紹介するのか、ウェブで紹介するのか、といった使用目的に合わせて、サイズを選択しクリックすると、自分のコンピューターに取り込むことができます。

動画の長さはまちまちですが、長いものでも10分程度ですから、例会で会員が見たり、また、講演会などで一般の人たちにロータリーの活動を紹介するのに便利です。

この原稿を書いている時点で、910の動画が入っていますが、皆さまがこの記事をお読みになるころには、もっと数が増えていることでしょう。RIでは「公共イメージと認知度の向上」のためのツールをいろいろと用意していますが、その一つとして動画を活用してはいかがでしょうか。

『友』編集長 二神 典子



世界各地でロータリーデーを

国際ロータリー理事 スティーブン A. スナイダー

国際ロータリー（R I）会長の黄其光氏は、今年度、地区やクラブで「ロータリーデー」を開催するよう、呼びかけています。「ロータリーデーって、何をすればいいの」「どういう目的があるの」という質問も多いようです。そこで、国際協議会でのスピーチから抜粋してご紹介します。

ロータリーを知ってもらおう

現在、世界には 200 万以上の非営利団体があり、寄付やボランティアの時間、その他のリソースをめぐって競合しています。ロータリーには既に素晴らしいストーリーがありますから、それをシンプルかつ一貫したかたちで人々に紹介する必要があります。ロータリーとは何か、他団体との違いは何かを、明確かつ一貫性をもって伝えるのです。

ロータリーは、人々がクラブに入会して「リーダーのネットワーク」に参加し、「アイデアを広げ」、「行動する」ようになってほしいと願い、「ロータリーの活性化（ブランディング）」を行っています。ロータリーは、一般企業と違って、広告に何百万ドルもの資金を費やしません。私たちが行う数多くの人道的活動やよい行いは、広報にもつながるものです。

これまでロータリーは、自分たちの活動を“自慢”することが得意ではありませんでした。近年は公共イメージ向上のためのメッセージを発信するようになりましたが、もっと多くの人にロータリーの活動を知ってもらうには、まだ改善が必要です。

200 以上の国と地域に約 120 万人の会員がいるという強みがありながら、ロータリーのロゴやテーマは、あ

まり知られていません。この素晴らしい組織についてもっと知ってもらうために、私たちに何ができるでしょうか。

そう考えた時、黄其光 R I 会長エレクト（当時）が、素晴らしいアイデアを提案されました。それは、ロータリーを紹介するイベント、「ロータリーデー」です。そこで、私たちは社会貢献という共通の関心の下にお互いの絆を深め、自分の時間、才能、資金を注いで活動するグループであることを紹介します。私たちは「行動の人」であり、同様の目的意識を持つ人々と協力して、地域社会が直面する問題を解決しようと努めていること、また自分と同じくらい、地域社会のことを考える人々を見つけていたいと願っていることを伝えます。

楽しみながら情報提供をするイベントを

「ロータリーデー」のイベントは、国や地域、地方によっても方法がそれぞれに異なります。皆さんにとって意義があり、また参加者全員が楽しめる方法で、ロータリーを中心としたイベントを開きます。

コンセプトはシンプルです。楽しみながら情報を提供するイベントを企画して、ロータリーを紹介します。簡単なイベントで、入会への関心を高めるもの、地元団体やリーダーとのつながりを深めるもの、ロータリーのイメージを高めるものとします。ロータリアンである私た



第二七六〇地区（愛知県）では、昨年一月、「ワールドフード+ふれ愛フェスタ」を開催。併せてロータリーの活動を紹介しました。同地区では、今年一月一～三日、同イベントをロータリーデーとして開催することにしていました。最終日は、「ロータリーデー」と位置付けられています。

ちが経験したロータリーの素晴しさを、一般の人にも経験してもらえるよう、約3万4,000すべてのロータリークラブがイベントを実施すれば、総合してはるかに大きなインパクトをもたらすことができるでしょう。

イベントでは、親しみやすくロータリーを紹介し、地元の人とロータリーのつながりに焦点を置いてください。「ロータリーデー」を成功させるには、心に響くスピーチができるような講演者、著名人や音楽家、またロータリーの強力なサポーターを招くとよいでしょう。

また、地元地域や世界のために、時間や資金、才能を提供してくれたロータリアンと地元市民の紹介も行いましょう。目標は、ロータリーの活動を一般の人にも理解してもらい、関心を高めること。それがひいてはロータリー入会への関心につながるはずです。皆が楽しめるイベントを実施すれば、「ロータリーデー」は必ずや成功するでしょう。

「ロータリーデー」の実施にあたっては、地元の他団体と協力するとよいでしょう。そうすれば、ロータリー以外の人にも楽しんでもらえるイベントを企画できます。イベントには会員の家族、そしてロータリー家族であるインター・アクター、ローターアクター、青少年交換学生なども招きましょう。誰もがロータリーに参加したくなるような楽しいイベントにします。

「ロータリーデー」のもう一つのよいところは、皆さんそれが内容を選べる点です。新世代デー、平和デー、バーベキュー、サイクリング大会、マラソン大会、パレード、コンサート、晩餐会など、そのほかにも地域社会のニーズにあった内容を選ぶことができます。

参加型のプロジェクトを実施

参加型の奉仕プロジェクトを実施し、ロータリーが地域社会にいかに恩恵をもたらしているかを、参加者が直接体験できるようにするのもよいでしょう。私の長年の経験から申し上げますと、参加型の奉仕プロジェクトを実施しているクラブほど、新会員勧誘に効果を上げているクラブが多いものです。奉仕プロジェクトをまだ実施したことのないクラブは、これを機会に、活動の計画方法を学び、実施してみることをお勧めします。

大小問わず、あらゆるクラブが「ロータリーデー」を実施できます。複数のクラブが協力すれば、それだけよ



第2780地区（神奈川県）では、地区内の祭りにブースを設け、また、ロータリーのロゴのついたうちわや風船を配ってロータリーのボリオ撲滅活動を紹介しました。ロータリーのロゴは、一般の人々にロータリーを認知してもらうための強力なツールです

り多くのリソースを活用できます。地区全体で、または多地区合同で「ロータリーデー」を企画してみてください。皆さんの想像力を大いに働かせて楽しい行事をつくるとともに、ロータリーの組織や活動を紹介して、ロータリアン以外の人に参加の機会を与えることをお忘れなく。

イベントの終了後には、写真をオンラインに掲載しましょう。世界中から集められた写真は、2015年サンパウロ国際大会（ブラジル）で紹介される予定です。写真が『THE ROTARIAN』や地域雑誌に掲載される可能性もあります。ビデオを提出していただいても構いません。黄R I会長エレクトは、選ばれた1クラブ／地区に最優秀賞を授与します。

「ロータリーデー」は最終的に、次のようなインパクトをもたらすことが期待されています。

- ・世界全体で会員を増加させる
- ・何千もの地域社会で、ロータリアン以外の人々にロータリーを紹介する
- ・人道的プロジェクトを推進する
- ・ロータリーを聞いたことのない人、ロータリーをよく知らない人にも、ロータリーの新しいロゴを認識してもらう

全世界で、明確かつ一貫したかたちでロータリーを紹介するまたとないチャンスです。皆さまのクラブ、地区、地域の参加をぜひともお願いします。私たちはロータリアンとして、率先して地域社会のために活動していることを皆に知らせましょう。私たちロータリアンは「超我的奉仕」を実践します。そして、私たちはロータリアンであることを誇りに思いながら活動しています。

2015年1月 人頭分担金の 請求方法が 変わります

HELP!

2015年1月から、国際ロータリー（R I）からクラブに送られる人頭分担金の請求方法が変わります。

クラブ会員の入退会といった会員情報への変更は、R I のウェブサイトの「My ROTARY（www.rotary.org/myrotary/ja）」からオンラインで入力でき（ログインが必要）、半期報告がなくなります。2015年1月から、クラブへの請求書に記載される金額は、このデータを基に計算され、クラブには1ページの請求書だけが送られます。

これまで、クラブ幹事は、人頭分担金の支払いの前に、半期報告書の会員リストに記載されてない新会員を、新会員報告用紙に記入し、退会者は会員リストから削除し、納入額を計算するなど、8ページに及ぶ半期報告書類に

把握しておくべきこと

クラブ会員：自分の会員身分や連絡先などに変更が生じた場合、できるだけ早くクラブの担当者（幹事または事務局など）に報告してください。クラブのデータベースの記録を変更する必要があります。

クラブ幹事：1月に正確な請求書を受け取るには、会員データを随時更新することが重要です。クラブ幹事は、入会と退会の30日以内に、「My ROTARY」からこれを報告する必要があります。何らかの事情で「My ROTARY」を利用できないクラブは会員情報書式をご利用いただき、ファックスにてお送りください。1月1日と

よくある質問

新しい請求書はいつ届きますか？ 最初の請求書は、1月末に、R I に報告いただいているクラブ・クラブ役員のメールアドレスへ送信される予定です。

請求書に調整を加えることができますか？ 調整を加える必要はありません。ただし、1月の請求書に正確な会員数を反映させるため、会員の変更はすべて1月1日までに更新してください。請求書が実際の会員数と違っている場合は、R I 日本事務局経理室までお問い合わせください。

請求書と一緒に最新の会員リストが送られてきますか？ 1月の請求書には会員リストが添付されます。7月の請求書には会員数が記載されるだけで、リストは添付されません。請求書の計算に使われた正式な会員リストが必要な場合には、ロータリーのウェブサイトの「My ROTARY」から印刷できます。

なぜ請求方法を変更するのですか？ 理由は主に2つあります。まず、請求書には最新の会員データが反映され、支払いの前にクラブ役員が再計算する必要がなくな

記入しなければなりませんでした。新しいシステムでは、このような煩雑な手続きが不要になり、支払い手続きがこれまでよりも簡単になります。

それと同時に、会員情報がリアルタイムでR I のデータベースに記録されるというメリットもあります。オンラインで会員情報を更新することにより、入会後すぐに新会員に歓迎の手紙が送られ、会員としての特典をフルに受けられるようになります。また、ガバナーと地域コーディネーターが、正確な会員データをいつでも確認することができ、会員の増減といった情報を即座に把握して、適宜の対応が取れるようになります。この変更は、世界中のクラブに適用されます。以下に、それぞれの役割に応じた影響を説明します。

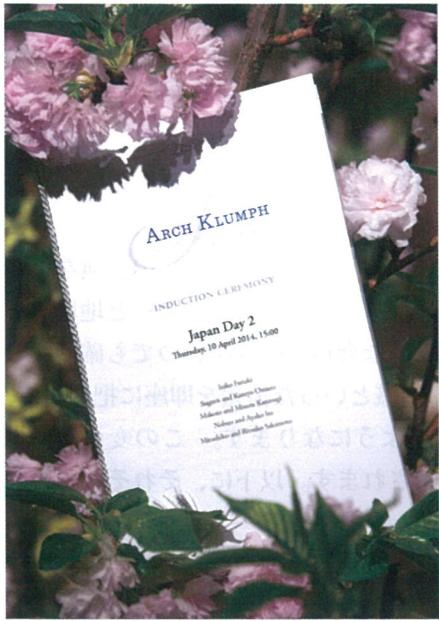
7月1日の時点でR I のデータベースに記録されている会員数がクラブの正式な会員数とみなされ、これを基に請求額が計算されます。

次期役員の名前、その他の情報は、2月1日までに報告してください（「My ROTARY」へのアクセス権の情報を変更します）。

地区リーダー：新しい手続きをクラブが理解できるよう、地区内クラブへの周知にご協力ください。また、全クラブが1月1日までにR I に会員情報の変更を報告するよう確認してください。

ことです。クラブは、請求書に記載されている金額を支払いいただけとなります。2つ目は、会員データへの変更が即座に反映されるため、ガバナーと地域コーディネーターが常に最新の情報を得られるということです。この変更を理事会に提案したスティーブン・スナイダーR I 理事も、次のように話しています。「クラブの手間が省けるだけでなく、常に最新の会員データが記録できます。（今回の変更で）全世界のクラブが、正確なデータをいつでも入手できるようになるのです」

お問い合わせ：この変更に関する詳細は、www.rotary.org/ja/club-invoiceをご参照ください。お問い合わせは、Eメール（clubinvoice@rotary.org）または、R I 日本事務局経理室までご連絡ください。「My ROTARY」への登録方法がわからない方は、ロータリーウェブサイト（www.rotary.org/myrotary/ja）の「Learning & Reference Materials > Theme別 > Rotary.org のページ内から「リソース & 参考資料」をご覧ください。



エバンストンでジャパンデー開催 2014年4月10日

「アーチ C. クランフ・ソサエティ」は、ロータリー財団への寄付が 25 万ドルに達したメジャードナーを顕彰する制度で、2004 年に創設されました。入会式はアメリカ・エバンストンにある国際ロータリー世界本部で開催されます。また、入会者が 1 つの国から 5 人以上になると、その国名を冠した特別の入会式が行われます。

日本の場合、その名称は「ジャパンデー」となりますが、2012 – 13 年度は「アーチ C. クランフ・ソサエティ」に入会した日本のロータリアンが 6 人に達し、2013 年 4 月 19 日に開催されました。

2013 – 14 年度には、日本から 6 人のロータリアンが入会。新しく入会したのは、金杉誠氏（第 2590 地

区・横浜西 R C）、舟木いさ子氏（第 2750 地区・東京白金 R C）、坂本精志氏（第 2760 地区・名古屋名東 R C）、大室偶氏（第 2680 地区・宝塚武庫川 R C）、韓昌祐氏（第 2650 地区・京都平安 R C）、田中徳兵衛氏（第 2770 地区・川口 R C）です。

そのうちの金杉夫妻、大室氏、舟木氏に加えて、2007 – 08 年度に入会した伊藤延雄夫妻（第 2780 地区・平塚西 R C）と 2008 – 09 年度に入会した坂本光彦氏（第 2750 地区・東京大井 R C）が、今年の 4 月 10 日に開催されたジャパンデーに出席しました。

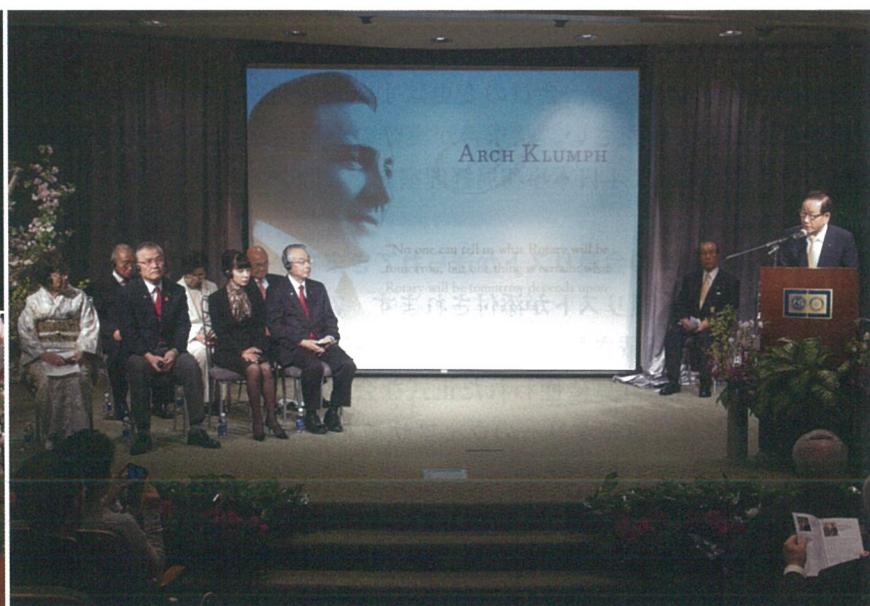
なお、創立以来、同メンバーになった日本人は、今回の 6 人を加えて、26 人になりました。



李東建ロータリー財団管理委員長



小沢一彦ロータリー財団管理委員





第2回ジャパンデーに参加して

伊藤 延雄（平塚西RC）



私がアーチ C. クランフ・ソサエティに入会させていただいたのは2008年1月、当時ロータリー財団管理委員をされていた田中作次氏の勧めによります。私の人生を振り返ってみた時、限りなく多くの人たちの恩恵に支えられて、今の自分があることに気付きました。言い換えれば社会的、または道徳的負債が残されているのです。どうやってその負債を社会に返済したらよいかを考えた時、一人の力では何もできないが、ロータリー財団を通じてなら、世界の人たちへ人道的奉仕活動が効果的にできる、と思い、アーチ C. クランフ・ソサエティに入る決心を

しました。

ジャパン・デー式典について

「日本の皆さんに敬意を表し日本の国歌『君が代』の演奏をいたします」という司会者の第一声。静寂な会場内に重厚な演奏が流れ、異国で聞く「君が代」の演奏に胸がジーンと熱くなりました。エバントンの国際ロータリー世界本部講堂でのことです。入会式に参加して本当に良かった、と思った瞬間でした。

ロータリー財団管理委員長の歓迎のあいさつに続いて、5組の入会者に対して、小沢一彦ロータリー財団管理委員から、一人ひとり丁寧な紹介がなされました。講堂での聴講者はロータリー財団管理委員のほかに本部関係職員など、60～70人くらいかと思います。

私がクラブの国際奉仕活動としてネパールに小学校を建設して、現地のクラブや受益者の皆さんとともに苦労と奉仕の喜びを学び、今では200人が通学できる学校までになったプロジェクトについて紹介いただいたことにも、大きな感動を覚えました。

（第2780地区・神奈川県）

石巻の子どもたちを修学旅行に招待

芦屋RC 2013-14年度東北支援奉仕プロジェクト委員長 山西 康司



当クラブでは、5月27～30日の4日間にわたり、修学旅行支援として、宮城県石巻市立大川小学校の5～6年生の児童10人と引率の先生5人を招待しました。

クラブの所在する芦屋市は1995年の阪神・淡路大震災により甚大な被害を受けた経験があることから、東日本大震災直後から石巻市に職員を派遣するなど、積極的な復旧復興支援を行っており、当クラブも、震災のあった2011年7月には同市立山下小学校の児童を招待し、芦屋市立精道小学校の児童と交流会を催しました。

このたび、当時の引率責任者であった千葉輝彦教頭先生が、現在、大川小学校の校長先生に着任されているご縁で、大川小学校の児童をお招きすることとなったものです。

出発日は、石巻市教育委員会との折衝の際にご尽力いただいた第2520地区第5分区（石巻エリア）4クラブの会員有志の方々が、早朝にもかかわらず見送りにかけてくださいり、児童と引率の先生は空路にて来芦。芦屋市長や芦屋市教育長ならびに当クラブ会員との歓迎セレモニーの後、まずは精道小学校児童との交流会を行い、続いて市内観光へ。夕食はお好み焼きパーティーで関西の食文化を体験しました。なお、東北楽天イーグルスの甲子園遠征時の宿舎、ホテル竹園芦屋に泊まってもらいました。

2日目は、テーマパーク・キッザニア甲子園にて職業体験を行い、夜はクラブ主催の歓迎レセプションを行いました。合唱や古楽器によるミニコンサート、さらには大川小学校児童による大川ソーランの披露と、宴は終

始和やかに進められ、終盤にはクラブ会員で（株）エーデルワイスの比屋根毅会長からのサプライズで、歓迎のメッセージが添えられた120人分ものデコレーションケーキが登場。パティシエの皆さん的手によって切り分けられると、子どもも大人も大喜び。本当に楽しいひとときを過ごしました。

3日目はユニバーサルスタジオジャパンへ。児童たちは周遊ルートも事前にチェック済みで、準備も万端。子どもらしさに満ちあふれたにぎやかな一日を過ごし、夜は当クラブ会長とともに夕食会を楽しみました。

いよいよ最終日を迎えた4日目は、クラブ会員や芦屋市教職員の方々に見送られ宿舎のホテルを出発、古都奈良へと向かいました。

奈良では、まず春日大社を訪問し、神職である実行委員長の案内で参拝しました。続いて東大寺を参拝し、第2650地区ガバナーエレクト（当時）の北河原公敬氏からの講話を伺いました。さらに薬師寺でも丁寧な説明をいただき、悠久の歴史に触れることができました。

その後、バスは関西国際空港へと向かい、最後は児童や先生方、そしてクラブ会員でのお別れの会。別れ際、男子児童の一人が別れのあいさつに声をつまらせる一幕に、周りの大人も万感胸に迫る思いでしたが、いつかまた再会することを約束し、見送りました。

さまざまな苦しみや悲しみを乗り越え、力強く歩みを進める彼らに、ホスト側の私たちが勇気づけられたような、それでいてとてもすがすがしい修学旅行支援奉仕事業でした。

（第2680地区 兵庫県）

心は共に

南相馬市真野承万葉太鼓保存会へ太鼓など寄贈

大阪南RC 田中 宏毅



5月17日、福島県南相馬市の真野承万葉太鼓保存会へ大締太鼓（新製、革張替^{のばり}）、幟、鐘、チャッパ（銅などで作られた打楽器）などの道具類を寄贈しました。『万葉集』で知られる真野地区の市立真野小学校は、25年前から万葉太鼓を授業に取り入れ継承してきたところ、東日本大震災時に津波被害を受け、以後近くの小学校庭内の仮設校舎で授業を続けてきましたが、3月に141年の歴史に幕を閉じました。閉校にあたり地元ではこの太鼓芸能を長く存続させることとし、4月に保存会を結成しました。太鼓、小道具は、津波被害、経年劣化も著しく、大規模な改修の要望がありました。

このたび、クラブで申請した東日本震災復興基金補助金は不採用となりましたが、規模を縮小してクラブ単独で支援。当日は、日頃練習場所としている鹿島小学校（真

野小の統合先）の体育館で贈呈式を行い、小谷公穂クラブ会長（当時）から井上謙一保存会長に寄贈書、児童代表に幟を手渡しました。最後に児童一同32人による演奏があり、元気な掛け声、あざやかな撥捌^{ばちさば}そして力強い太鼓の響きに、心を揺さぶられました。

保存会の“承”は、小学校の小を受け、“引き継ぐ、人の考えを聞く”の意から用いられ、地域の絆の強化そして豊かな風土作りへの願いが込められています。今後、真野の児童は万葉太鼓を継承し、学校行事や地域のお祭りで発表するなど、保存会活動を深めていくこととしています。当クラブでは、2012年3月以来、合計5回南相馬市鹿島区における復興支援活動を重ねてきましたが、これから地域のさらなる復興、活性化を祈っています。

（第2660地区 大阪府）

活動を通して震災を考える

函館大学ローターアクトクラブ

震災から3年を迎えた3月11日、会員11人で市内大型複合商業施設で募金活動を行いました。当日は風が強くとても寒い悪天候の日でしたが、メンバーは横断幕を掲げ買い物客に被災地支援募金をお願いしました。

買い物客の中には「寒いけれど頑張ってね」などと声をかけてくれる人もいました。寄付金は岩手県下の町へ送りました。

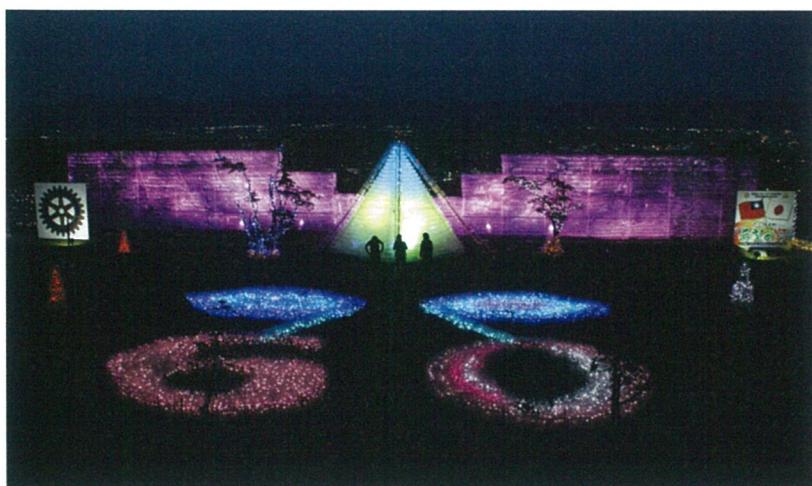
（第2510地区 北海道）



東日本大震災

心にともせ希望の灯！ ペットボトルイルミネーション

寒河江RC 若月 仁



5月3日、大勢の市民が見守る中、佐藤洋樹寒河江市長、新関彌一郎ガバナー（当時、以下同）、そして今なお福島県から避難を余儀なくされている方々を迎える、夜7時の花火を合図に、「ペットボトルイルミネーション」が点灯。その迫力と見事さに驚嘆の声があちこちから上がりました。これは佐藤敏会長肝いりの事業で、遠藤伸

一社会奉仕委員長を中心に約半年前から準備にかかりました。

1万5,000本のペットボトル収集から始まり、4月12～13日、寒河江ロータリークラブの会員はもとより、指導してくださった山辺を明るくする会、市民の方々、長期青少年交換学生の馬場裕希さんの呼びかけで集まった寒河江高校の生徒たち、そしてペットボトルの洗浄、穴あけ、針金通しと大活躍の寒河江ボーイスカウトの子どもたちと保護者の方々など、延べ200人の協力で見事に組み上りました。その後、LEDイルミネー

ションが点灯し、この長岡山寒河江公園「ロータリーの杜」に見事に完成しました。

点灯式典ではこれまでの作業風景や震災でより深まつた台湾との絆と感謝のDVDを上映し、今年度の台湾からの交換学生・黄鵬軒君の感動のスピーチの中、「心にともせ希望の灯」がともりました。（第2800地区 山形県）

心を形にして滋賀から東北へ

東近江ロータリークラブ



東近江ロータリークラブでは、前年度社会奉仕事業として、福島復興支援「三春千年紅しだれ桜」植樹を行いました。ロータリー財団の地区補助金をいただき、この事業ができました。2月23日、市内にある運動公園・布引グリーンスタジアム入り口の緑地にて、市長をはじめ市役所幼児課、スポーツ課、教育委員会の後援ご協力のもと、県立八日市南高等学校緑地デザイン科の先生や生徒の皆さんに指導いただき、市内の新小学1年生の児童とその保護者の方々と、苗木（4年もの）を36本植樹しました。

福島は大震災、原発事故と、特に大変な状況にあります。三春町では震災に耐えた紅しだれ桜を全国に植え、震災を風化させまいと町を挙げて取り組み、三春RCもそれに協力しています。私共からの依頼にも、即ご快諾くださいました。

この事業に当たり、大変多くの方々の協力と尽力をいただきましたこと、私共クラブは心から感謝申し上げます。どうか無事に育って、1000年後にも見事な花を咲かせてほしいものです。（第2650地区 滋賀県）

心は共に

福島県学生親善囲碁大会

福島 21 R C 2013 – 14 年度会長 阿部 正美

3月30日、当クラブの阿部光裕会員が住職を務める常円寺において、福島復興プロジェクト「花に願いを」および、わがクラブそして姉妹クラブである千里メイプルロータリークラブ（第2660地区・大阪府）との共催により、復興支援事業「福島県学生親善囲碁大会」を開催しました。

大会は初心者から学生名人クラスまで総勢40人の若き棋士が参加し、熱戦を繰り広げました。また日本棋院から久保秀夫プロ（日本棋院常務理事）、武宮陽光プロ（5段）の2人のプロ棋士にもおいでいただき、熱心に指導いただきました。わがクラブの会員も、囲碁部会を中心に裏方のお手伝いをし、順調な大会の運営に寄与しました。

（第2530地区 福島県）



「みやぎ子ども養育支援の会」訪問

富津シティロータリークラブ

2月26日、昨年に続き、宮城県石巻市のNPO法人・みやぎ子ども養育支援の会を、第2520地区ガバナー補佐ならびに石巻西ロータリークラブ幹事とともに訪問。東日本大震災の記憶を風化させないため、被災地を訪問する一環として実施した活動で、会員から集めた義援金を渡しました。早速、ホームページにお礼のメッセージと写真を掲載いただきました。 （第2790地区 千葉県）



被災児施設に支援

いわき鹿島ロータリークラブ

4月26日に開所した震災被災児支援施設・チャイルドハウスふくまるに対し、ベビーベッドや事務備品などを贈呈しました。これは地区復興補助金を利用し、第2780地区（神奈川県）第8グループからの支援も受けて実現したものです。

震災孤児・遺児の心の相談や屋内遊び場を兼ね備えた同施設のオープニングセレモニーにおいて贈呈式が行われました。 （第2530地区 福島県）



—東日本大震災



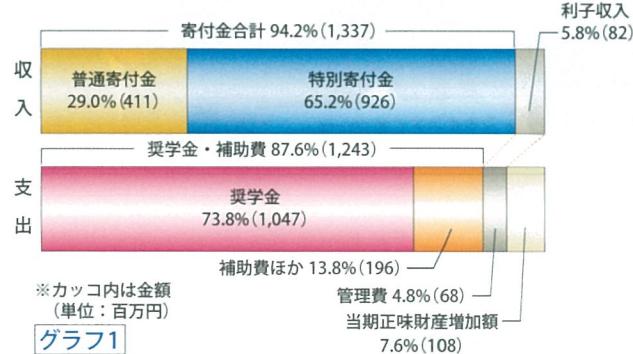
ロータリー米山記念奨学事業の基礎知識

— 寄付金・財政編 —

● 皆さまの寄付金はすべて奨学事業に

2013－14年度の寄付金収入は13億3,700万円(前年度13億2,500万円)と、過去5年間で最高額となりました。皆さまからの寄付は、奨学金のほか、地区、世話クラブ、学友会への補助費など、奨学事業に使われ、事務費や人件費などの管理費支出は、資産の利子収入で賄っています(グラフ1参照)。寄付金が増加した一方、事業費は12億4,300万円と前年度に比べて1億円以上、下回りました(グラフ2参照)。これは主に、昨年4月から採用枠を800人から700人へ縮減したことによるものです。2015学年度からは採用枠を720人とし、今後も寄付金収入の増加に応じて採用枠を回復していく予定です。

● 寄付金の使途(2013－14年度決算)

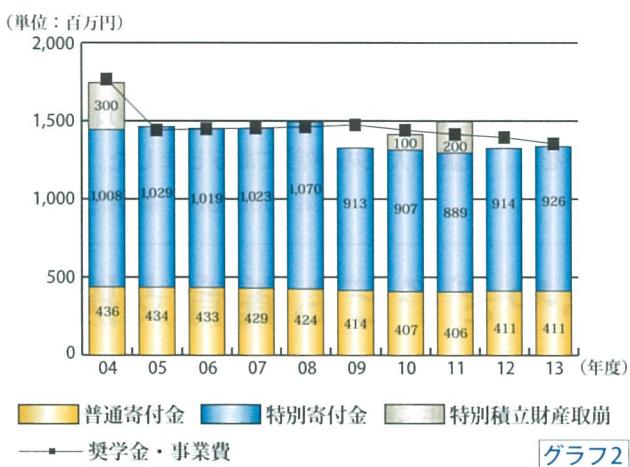


米山記念奨学会では、財政の健全性と透明性の確保に十分配慮しています。内部監査に加え、公認会計士による外部監査として、公正な立場から毎月全伝票のチェックを受けています。決算報告もホームページ上で公開しています。詳細な計算書類は事業報告書(統計・資料編)に掲載し、毎年9月下旬に全クラブへ送付しています。

● “税額控除”が選択できます

ロータリー米山記念奨学会へご寄付をいただくと、個

● 寄付金と奨学金・事業費推移(04-05～13-14年度)



人の所得税や一部の住民税、法人寄付の場合は法人税が軽減されます。特別寄付をしていただいた個人・法人には、金額にかかわらず、確定申告用の領収書をお送りします。普通寄付金についても、クラブからの申請と会員氏名のデータ提供があれば、申告用領収書を発行します。

また、当会は寄付金の「税額控除」適用法人です。確定申告の際には、従来の「所得控除」に加え、「税額控除」のどちらか有利な方を選択することができます。税額控除は、寄付額の約40%の金額が所得税額から控除されるもので、所得控除よりも控除額が大きくなることがあります。このほか、東京都にお住まいの方は、個人都民税の寄

● 寄付の種類

当会への寄付金には「普通寄付金」と「特別寄付金」の2種類があります。いずれも使い道は同じです。

■ 普通寄付金：各クラブが決めた金額×会員数分を国内全クラブから納入いただいているので、安定財源として必要です。2013年度平均：4,679円

■ 特別寄付金：個人、法人、クラブからの任意の寄付金で、金額は自由です。一定金額に達するごとに表彰制度があります。2013年度平均：10,521円

今月の「よねやまだより」は前号に続いて「ロータリー米山記念奨学事業の基礎知識」、その寄付金・財政編です。寄付者の皆さんにとって、「寄付金がどのように使われているのか」は、最も気になることではないでしょうか。そのため、当会では毎年本誌9月号にて、前年度の収支決算と寄付金の状況をご報告しています。また、所得税・法人税などの税制優遇制度についても、詳しくお知らせします。

付金控除も合わせて受けることができます。※東京都以外にも自治体が条例で指定している場合は適用されます。

法人からの特別寄付については、一般の寄付金損金算入限度額とは別枠で損金算入でき、これによって、法人税額が軽減されます。

これらの税制優遇は、当会の公益法人としての運営の適格性とこれまでの実績を厳しく精査された上で、認められているものです。確定申告の際は、ぜひこうした寄付のメリットもご活用ください。

● 平和への人づくり

寄付総額以外に、指標の一つとなるのが1人あたりの平均寄付額です。2013-14年度の個人平均寄付額は1万5,200円（前年度1万5,046円）と、超大口寄付のあった2008年度を除き、16年ぶりに最高額を記録しました。

地区の寄付総額が前年度から1,000万円以上アップし、個人平均寄付額の伸び率が最も大きかった第2660地区（大阪府北部）では、地区内全クラブ数分の奨学生を採用したいとの思いから、目標額を1人平均2万円から3万円とし、協力を呼び掛けました。異論や疑問の声も上がりましたが、ガバナーや地区幹事、地区米山委員が団結し、これまで以上に事業の意義を説き、目標額の根拠などを示す資料を作つて説得に努めました。ま

た、クラブ別の寄付傾向を分析し、分析結果とアドバイスを添えた手紙も送りました。ここまでして寄付増進に力を入れる理由は、地区内のすべてのクラブで奨学生を採用したいという熱意、そして何よりも“危機感”からだと、当時の地区米山奨学委員長・西谷雅之氏は言います。

「年間1,100人を採用していた時期もあったのに、それが徐々に減って今や700人。このまま衰退をただ見守るのは忍びない。時代が変わっても、世界に日本の理解者、友人をつくりたいという思いで始められたこの事業の大切さは変わらないはず。当時の日本のロータリアンの思いをつなぎ、後世に伝えなあかんと思います」

米山記念奨学事業の前身である「米山基金」の創設から約60年、累計1万8,000人の外国人留学生を支援してきました。次世代の平和をつくる人材、日本を愛し理解してくれる人材を育てるこそが、この事業の神髄です。引き続き全国の皆さまのご支援をお願いします。

なお、次号以降の「よねやまだより」では、奨学生や学友、ロータリアンから寄せられた声をお届けします。

ロータリー米山記念奨学会事務局

米山記念奨学事業に関するお問い合わせ・ご意見、または“よねやまだより”についてのご意見を、公益財団法人ロータリー米山記念奨学会まで、ぜひお寄せください。

Tel. 03-3434-8681 Fax. 03-3578-8281

Eメール：mail@rotary-yoneyama.or.jp



米山記念奨学事業を身近に感じるために ——DVDシリーズのご案内——

10月の米山月間を前に、例会用の広報ツールについてのお問い合わせが増えています。事業への理解を深めるには米山奨学生の卓話を設けていただくのが効果的ですが、地理的な事情などで難しいクラブも多いのではないでしょうか。当会では、全国の皆さんに少しでも事業を身近に感じていただきたいと、各種映像資料をご用意しています。事業の概要をわかりやすくまとめた『ひろがれ！人づくりの輪』、優れた学友を紹介する『学友マイ・ストーリー』、『よねやま親善大使』など、すべて当会ホームページ（www.rotary-yoneyama.or.jp）で視聴でき、また、ご希望のクラブには無料でDVDをお送りしますので、ぜひご利用ください。



7月発行の『学友マイ・ストーリー1』から

職業奉仕を通じて

「ロータリーに輝きを」

黄其光R I会長は「ロータリーに輝きを」をテーマに地域社会に元気を与え、会員基盤を発展させ、親睦と奉仕を大切にしてロータリーに輝きをもたらすようロータリアンに呼びかけています。職業奉仕の活動は、まさにこれを達成するのにふさわしいものです。

職場での高い倫理観を推進すると同時に、奉仕活動に職業スキルを生かすことで、地元や海外の地域社会に大きな影響を与えることができます。来月は職業奉仕月間。クラブで実施できる職業奉仕のアイデアを紹介します。

キャリア相談会や職業研修プログラム

を実施する：ロータリアンだけでなく、地域社会の人々にも参加してもらう。討論会やワークショップを実施する：職場での倫理をテーマとし、ロータリアンではない地元の事業主に参加してもらう。

キャリアデーを主催する：若い人にクラブ会員の職場を見学してもらう。

ロータリーデーを開催する：入会候補者となる地域社会の職業人と知り合うきっかけとする（ロータリーデーの開催は、2014－15年度R I会長賞の受賞要件の一つとなっています）。

職業奉仕でよりよい地域社会づくり

地域で活躍する人を表彰する小規模な活動から、海外でのマイクロクレジット・プログラムや職業研修の実施といった大規模な活動まで、クラブが実施できる職業奉仕の方法は多くあります。クラブによる職業奉仕の活動例を

紹介します。

モアババレーR C（アメリカ・ネバダ州）は、地域の4つの学校に勤める教師・職員に感謝の気持ちを伝えるため、新学期を祝う朝食会を実施。

インドールR C（インド・メディアプラデーシュ州）は昨年9月、高校の女子生徒200人を対象としたキャリア・セミナーを開催。

マカリR C（オーストラリア・ニューサウスウェールズ州）は、地元の企業で優秀な業績を収めた人を表彰する行事を開催しました。受賞者推薦にあたっては、各企業のマネジャーに協力してもらいました。

ヒューストンEクラブ（アメリカ・テキサス州）は昨年から、地元のヒューストン・コミュニティー・カレッジと協力し、ハリス郡刑務所の受刑者に自転車の修理を教えるための職業研修プログラムを実施。クラブは、修理が

ロータリーデー 今年度、黄R I会長はすべてのロータリアンにロータリーデーに参加するよう呼びかけています。ロータリーデーのコンセプトは、地元で一般の人向けに楽しいイベントを開催し、ロータリーを知ってもらうことです。



台湾初となるロータリーデーが7月5日、国立中正記念堂で開催されました。黄R I会長の所属する台北R Cと台北ローター・アクトクラブがホストとなった、この第3480地区のロータリーデーには、国内の全地区、ローター・アクトクラブ、非営利組織、一般の人が参加。ロータリーの広報活動のほか、エンターテインメントや食べ物を売る屋台も出て、来場者は3,000人を超みました。（関連記事：本誌横組みP 24～25）



必要な自転車や修理に必要な工具などを提供し、修理が済んだ自転車は、地元の低所得家庭の子どもたちに寄贈しています。

国際大会カウントダウン サッカー大国ブラジル



サッカーW杯で2回以上の優勝経験がある国はわずか5つ。ブラジルもその1つで、最多となる5回の優勝経験があります。2015年R I国際大会の開催地サンパウロでは、多くの熱烈なサッカーファンに出会えることでしょう。今回は、ブラジルサッカーの豆知識をご紹介します。

W杯優勝:1958、1962、1970、1994、2002年に優勝しました。

ペレ:世界で最も有名なサッカー選手の一人です。W杯には4回出場(1958、1962、1966、1970年)、1958年の決勝では2ゴールを決める活躍をしました。1981年には、R I国際大会(サンパウロ)で講演しました。

Museu do Futebol:サンパウロ市内のスタジアムEstádio Municipal Paulo Machado de Carvalhoにあるサッカー専門ミュージアム。木曜と土曜は入場無料です(詳しくは:www.museudofutebol.org.br)。

チャールズ・ミラー:1874年にブラジルで生まれ、イギリスに留学後、1890年代にサンパウロのスポーツクラブを通じて、ブラジルにサッカーをもたらしたと言われています。

サッカー選手の呼び方:愛称やファーストネームで選手を呼ぶ慣習は古くからあり、1914年には“Formiga (ア

リ)”という選手がいました。ペレや、2014年大会の選手となったウルクやフレッジ、また、ソクラテスやネイマールが当てはまります。

サンパウロ国際大会への登録は、R Iのホームページwww.riconvention.org/jaから。

今後のR I国際大会

2015年6月6~9日

ブラジル・サンパウロ

(以下、予定)

2016年5月29日~6月1日

韓国・ソウル

2017年

アメリカ・アトランタ

統計

全世界ロータリアン総数

1,185,074人

クラブ数 34,578 クラブ

**

地区数 536 地区

国と地域 200 以上

ローターアクト会員数 158,401 人

*

クラブ数 6,887 クラブ

*

国と地域 160 以上

インターラクト会員数 385,066 人

*

クラブ数 16,742 クラブ

*

国と地域 150 以上

2013年7月1日現在

* 2014年4月2日現在

** 2014~15年度

ロータリーの
ニュースは



管理委員長の思い

目標達成にご協力を

2014~15年度ロータリー財団管理委員長 ジョン・ケニー



ロータリアンは寛容の精神を持っていて、多くの善良な理由で自分たちの地域社会に寄付をしていますが、自分たちの慈善団体であるロータリー財団を支援していないロータリアンも多くいます。

今年度は各クラブが私たちのロータリー財団に寄付してくださることを期待しています。

ロータリー財団が世界でどれだけ多くの「よいこと」に取り組めるかは、財団に寄せられる寄付次第です。財団に寄付をするということは、財団にお金を送るということではなく、目の見えない人、ポリオに感染・罹患して歩けない人、医療を受けられない子どもたち、教育の機会がない少女、食べる物に困っている家族を支援しているということなのです。ロータリー財団への寄付は、その人たちが、視力を回復し、歩けるようになり、医療を受け、学校へ

行き、飢えから解放されるためのものです。

ロータリー財団の管理委員会は毎年、年次寄付の目標を設定します。国際財団活動資金(WF)の資金源となる年次寄付の本年度の目標は、ロータリアン一人ひとりに少なくとも100ドルの寄付を行っていただくことで1億2,300万ドル。100ドルが高額である国々もあるでしょう。その一方で、これが無理のない額である国々もあります。ですから、100ドルにこだわらず、各自の事情に応じた寄付をしてくださるようお願いしたいのです。

従来からのスローガンである「Every Rotarian, Every Year (E R E Y)」にもあるように、すべてのロータリアンが毎年、ロータリー財団を支援し、各クラブからの支援の大切さをクラブ皆さんに知つてもらうことを優先課題にしましょう。

最初に申し上げた通り、ロータリアンは寛容です。私はその寛容さを私たちのロータリー財団で發揮してもらえると信じています。

ROTARY 掲示板

新クラブ

Pago Bay Guam ロータリー E クラブ
(2750・Guam)

スponサークラブ Tumon Bay

2014年6月12日承認

会員数 26人

例会更新日時 金 18:30

連絡先 P.O. Box 5224, Mangilao,
Guam 96923 U.S.A.

<http://rcpbwg.org>

会長 Annette Taijeron Santos

幹事 Kristina Louise Cepeda Torres

宇都宮さつき (2550・栃木県)

2014年6月17日承認 №.2383

会員数 21人 例会日 月 18:30

例会場 栃木県青年会館(コンセーレ)

事務所 〒320-0061 宇都宮市宝木町

2-880 光陽電気工事内

会長 和知 孝道 幹事 三森 富雄

2730 ジャパンカレントロータリー E

クラブ (2730・宮崎県 / 鹿児島県)

スponサークラブ 宮崎 / 鹿児島西

2014年6月23日承認 №.2384

会員数 25人

例会更新日時 月 12:00

連絡先 〒885-0072 都城市上町8-9

メインホテル4階

第2730地区 都城地区事務所内

<http://www.jce2730.org>

会長 東 岳也 幹事 今柳田幸代

ロータリー衛星クラブ

東京多摩せいせき (2750・東京都)

スponサークラブ 東京多摩

2014年6月6日承認

会員数 18人 例会日 月 18:30

例会場 多摩市立閑戸公民館8階

事務所 〒206-0011 多摩市閑戸4-23-1

閑戸ビル401

会長 小早川昌穂 幹事 福井 康弘
*ロータリー衛星クラブはいわば「クラブの中にあるクラブ」です。例会は別に開きますが、会員はスponサークラブの正会員でもあり、2つの会員種類を同時に持ちます。ロータリークラブとは異なるので加盟認証状も未然、承認№も付きません。衛星クラブ会員数が20人を超えて、ロータリークラブとしての加盟を希望し手続き完了後、加盟認証状は贈呈されます。詳細は『2013年手続要覧』P4、本誌5月号横組みP30参照。

事務所住所変更

亘理 (2520・宮城県)

〒989-2351 亘理郡亘理町字道田西
63-8 プロッサム遊花内

馬頭小川 (2550・栃木県)

〒324-0611 那須郡那珂川町小砂3102
美玉の湯内

川越西 (2570・埼玉県)

〒350-1103 川越市霞ヶ関東1-3-15
霞ヶ関ビル2階

川口 / 鳩ヶ谷武南 (2770・埼玉県)

〒332-0012 川口市本町4-9-23-303

水戸好文 (2820・茨城県)

〒310-0035 水戸市東原2-3-26
ヤナギシタ内

野辺地 (2830・青森県)

〒039-3131 上北郡野辺地町字野辺地
6-6 平尾時計店内

大月 (2620・山梨県)

〒401-0015 大月市大月町花咲1287-42
渡辺康一郎税理士事務所内

堺南 (2640・大阪府)

〒590-0829 堺市堺区東湊町5-311-3

ワールド大阪ロータリー E クラブ

(2640・大阪府)

〒596-0103 岸和田市稻葉町377

池田 (2660・大阪府)

〒563-0025 池田市城南1-1-1
池田商工会議所2階

大阪ネクスト (2660・大阪府)

〒572-0085 寝屋川市香里新町7-6-302
住吉宅内

玉名中央 (2720・熊本県)

〒869-0236 玉名市岱明町西照寺
691-1 福田考臣方

延岡中央 (2730・宮崎県)

〒882-0047 延岡市紺屋町1-4-28
ホテルメリージュ延岡内

例会場・曜日・時間変更

石巻 (2520・宮城県) 飛翔閣

川越小江戸 (2570・埼玉県) 金 12:45

川越西 (2570・埼玉県) 川越東武ホテル

浦安 (2790・千葉県) シェラトン・グラ
ンデ・トキヨーベイホテル

藤沢東・藤沢北西・藤沢北

(2780・神奈川県) 湘南クリスタルホテル

富田林 (2640・大阪府) 富田林市民会館

若狭 (2650・福井県) ホテルせぐみ屋

東大阪西 (2660・大阪府)

シェラトン都ホテル大阪3階

池田 (2660・大阪府)

池田商工会議所2階

山鹿 (2720・熊本県)

山鹿ニューグランドホテル

ロータリークラブ名称変更

三重→豊後大野 (2720・大分県)

2014年7月1日承認

新インタークトクラブ

つるぎ高等学校 (2670・徳島県・美馬)

発会 2014年4月15日 会員数 4人

〒779-4101 美馬郡つるぎ町貞光字馬出

63-2 徳島県立つるぎ高等学校内

会長 清田 紗希 幹事 藤岡のぞみ

広報誌 ROTARY 刊行!



今年度も一般向け、会員勧誘用の2つの広報誌を改訂し制作。見本誌とご案内は9月号と同送いたしました。ご注文は『友』まで。

◆ 2014 年国際ロータリー研修リーダー

第 1 ゾーン 小船井修一（鉢路）
第 2 ゾーン 藤林 豊明（横浜鶴見北）
第 3 ゾーン 岡部 泰鑑（大阪城南）

本誌 8 月号横組み P 25 「2014—15 年度国際ロータリー国内委員」に追記ください。

◆お知らせ 札幌セントラル（2510・北海道）、涌谷（2520・宮城県）小高（2530・福島県）、相馬東（2530・福島県）、岩槻中央（2770・埼玉県）、遊佐（2800・山形県）、横浜鶴峰（2590・神奈川県）、門前（2610・石川県）、藤井寺しゅら（2640・大阪府）、岸和田北（2640・大阪府）、豊中大阪国際空港（2660・大阪府）、浜坂（2680・兵庫県）が 2014 年 6 月 30 日付で国際ロータリーから脱会。

◆例会一覧表のご案内 今月号には横・縦両方の表紙の裏側に、「例会一覧表」が折り込んであります。この表は年に 2 回、本誌 3 月号と 9 月号に準備し、横組み表紙の裏側は第 2500 地区～第 2620 地区、縦組み表紙の裏側は第 2630 地区～第 2740 地区です。例会一覧表は『ロータリージャパン』www.rotary.or.jp の“クラブ例会”的コーナーにも掲載しており、同コーナーからは、各クラブのホームページにもリンクしております。メークアップなど、各クラブご訪問のときにもご活用ください。クラブホームページ開設の折には、『友』へも、ご一報をお願いいたします。『ロータリージャパン』へのリンク承認状は、“クラブ例会”の中にあります。そこからプリントアウトし、クラブ会長、担当者が署名の上、『友』（下記 F A X 番号宛て）へ、お送りください。

ご投稿・お問い合わせは――

〒 105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15
黒龍芝公園ビル 4 階
一般社団法人ロータリーの友事務所
ロータリージャパン www.rotary.or.jp
Tel. 03-3436-6651 Fax. 03-3436-5956
編集部メール hensyu@rotary-no-tomo.jp

地区別クラブ数・会員数・出席率一覧表（2014 年 6 月末現在）

地区	R C 数	会員数	13 年 6 月末会員数	出席率(%)	前年度(%)
第 2500 地区	67	2,204	2,188	82.60	82.20
第 2510 地区	70	2,521	2,539	84.43	84.25
第 2520 地区	80	2,248	2,243	79.60	79.10
第 2530 地区	66	2,282	2,256	85.11	81.83
第 2540 地区	42	1,096	1,038	82.50	81.09
第 2550 地区	51	1,680	1,649	86.30	84.68
第 2560 地区	56	2,027	2,009	85.20	83.98
第 2570 地区	52	1,682	1,707	84.31	83.14
第 2770 地区	76	2,555	2,554	85.17	84.08
第 2790 地区	84	2,721	2,705	83.83	83.11
第 2800 地区	50	1,586	1,616	85.75	85.17
第 2820 地区	58	1,963	1,985	84.83	83.91
第 2830 地区	41	1,122	1,125	81.44	82.21
第 2840 地区	46	1,916	1,877	86.34	83.95
第 2580 地区	70	2,978	2,965	85.50	85.57
第 2590 地区	60	2,151	2,157	87.40	87.12
第 2600 地区	55	1,952	1,969	89.40	88.50
第 2610 地区	65	2,581	2,613	85.69	84.24
第 2620 地区	78	2,956	2,979	89.20	89.00
第 2630 地区	80	3,051	3,057	85.32	86.34
第 2750 地区	97	4,646	4,547	78.02	79.55
第 2760 地区	84	4,772	4,762	93.77	93.60
第 2780 地区	64	2,307	2,217	81.78	82.96
第 2640 地区	69	1,912	1,956	87.37	86.34
第 2650 地区	97	4,515	4,451	90.53	90.31
第 2660 地区	82	3,591	3,603	86.80	87.00
第 2670 地区	74	2,917	2,924	87.08	85.85
第 2680 地区	73	2,862	2,862	91.46	91.82
第 2690 地区	67	3,051	3,036	86.24	86.06
第 2700 地区	61	3,121	3,103	89.75	90.11
第 2710 地区	74	3,242	3,220	91.35	90.44
第 2720 地区	74	2,385	2,371	87.01	86.10
第 2730 地区	65	2,299	2,278	84.94	83.24
第 2740 地区	57	2,176	2,169	84.20	84.70
34 地区合計	2,285	87,068	86,730		

日本のロータリー
会員数 86,756 人
クラブ数 2,276
(左の表中 34 地区合計から、第 2750 地区の PB グループを引いた数です)

ガバナー月信より
第 2750 地区のクラブ数・会員数は、PB グループ 9 R C 312 人（北マリアナ諸島・グアム・ミクロネシア・パラオ）を含みます。P 6「日本のロータリー」数は、34 地区合計から PB グループを引いた数になります。前年同月末 PB グループ 8 R C 会員数 289 人。

修正 本誌 7 月号横組み P 54（4 月末）表中、第 2650 地区平均出席率を 90.44% に修正。

*『ロータリージャパン』の「ロータリー関連資料」には、データ修正後の表を掲載。

* 第 2520 地区の数値はすべて概数です。

ROTARY
JAPAN
Home Page
www.rotary.or.jp

ロータリーの友 10 月号主要記事予定

横組み 特集 職業奉仕月間 岐阜 R C 服部 芳樹

特集 米山月間 よねやまだより

縦組み 渋沢栄一から読み解く 21 世紀の経営者精神

これからのロータリー

一橋大学大学院商学研究科教授 田中 一弘

わがまち …… そしてロータリー 堺市

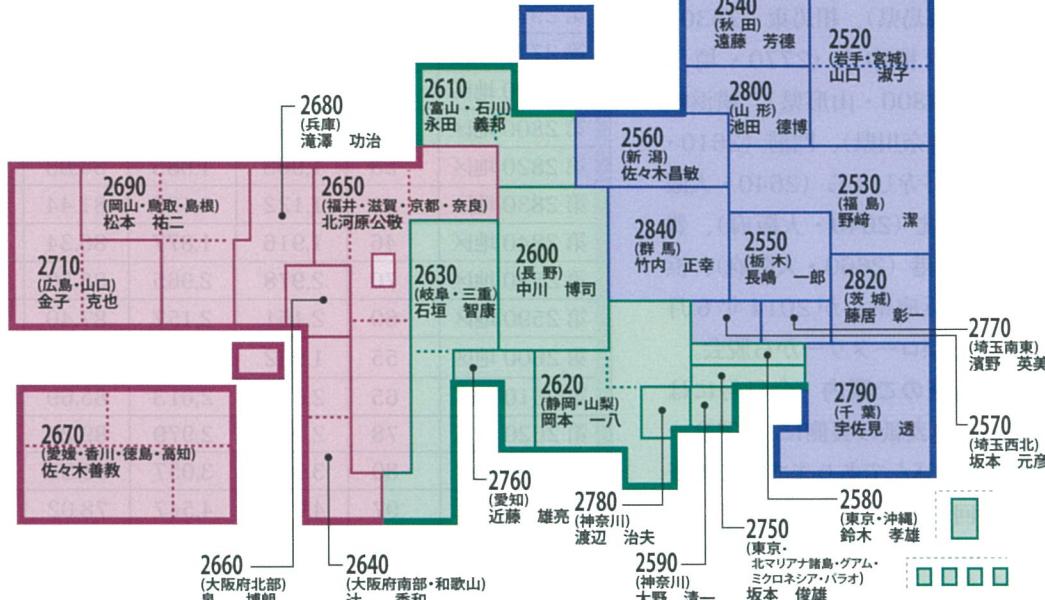




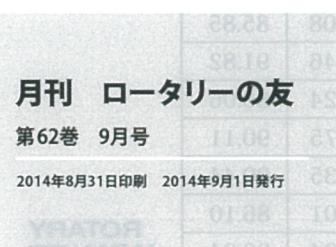
日本ロータリー分布図 ROTARY DISTRICTS

○○○○○○ 地区
○○○○○○ テリトリー
○○○ ガバナー名

■ 第1ゾーン
■ 第2ゾーン
■ 第3ゾーン



『Rotary Japan』 www.rotary.or.jp に各地区のホームページをリンクしています。



一般社団法人 ロータリーの友事務所

■ 社員 北 清治 (浦和東)
杉谷 卓紀 (玉名)
鈴木 孝雄 (東京池袋)
坂本 俊雄 (東京八王子南)
渡辺 治夫 (横須賀)
泉 博朗 (大阪帝塚山)

理事会

代表理事 橋本 長平 (京都東)
理 事 中村 昌平 (東京北)
中山 義之 (横浜南)
神崎 正陳 (茅ヶ崎湘南)
上野 孝 (横浜)
安平 和彦 (姫路)
片岡 信彦 (土浦南)
細川 好弘 (静内)
島田甲子雄 (上田)
井手 和英 (久留米)
鈴木 孝雄 (東京池袋)
奥津 勉 (横浜)
森本 行俊 (東京町田サルビア)
横山 武志 (東京北)
高木 洋一 (川崎中)
大澤 成美 (東京臨海)
渡辺 誠二 (東京みなど)
二神 典子 (東京築地)
高良 明 (川崎西)
船越 豊 (千葉中央)
高野 本男 (甲府)
板橋 敏雄 (足利東)
秋山 一 (東京調布)

監事

相談役

職 員

所 長 渡辺 誠二 (東京みなど)
編集長 二神 典子 (東京築地)
編 集 稲川 やよい
黒野 穢二
野崎 恵子
山名 愛
飯田亜由香
経 理 富澤 美子
半田 弥生
福元菜穂子

振込銀行 三井住友銀行浜松町支店
口座番号 (普通) 7450015
郵便振替 口座番号 00180-8-694591
印 刷 大日本印刷 (株)
表紙印刷 半七写真印刷工業 (株)

一般社団法人ロータリーの友事務所

〒105-0011
東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 4 階
電話 03-3436-6651
FAX 03-3436-5956
ホームページ www.rotary.or.jp
定価 200 円+消費税 (送料別)

落丁本・乱丁本は一般社団法人ロータリーの友事務所までお知らせください。
本文・写真などの無断転載・複製を禁じます。

ご投稿をお待ちしています

原稿や写真は活動後1か月以内にお送りください

ロータリー俳壇・歌壇・柳壇

- 1か月に1人はがき1枚に3句(首)。なるべく肉筆(楷書)で。作品の横には、クラブ名・お名前・電話番号を必ず記入してください。

友愛の広場

- エッセーや、海外ロータリークラブ訪問記、時局雑感などの掲載欄です。原稿は1,000字以内。関連写真があれば、添付をしてください。

バナー自慢(「友愛の広場」欄の中です)

- 各クラブのバナーの紹介欄。クラブのバナーの現物を、折り目がつかないようにお送りください。原稿としてバナーの由来、図柄についてなどを50~100字以内で書き添えてください。

ロータリー・アット・ワーク写真編

- ロータリークラブ、インターラクト、ローターアクトなどの奉仕活動を、カラー写真で紹介します。
- 写真に150字程度の説明文を添えてください。記念写真(集合写真)は、掲載できません。説明文には必ず、

送り先 一般社団法人ロータリーの友事務所

Eメール hensyu@rotary-no-tomo.jp

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル4階

活動日を入れてください。

ロータリー・アット・ワーク文章編

- ロータリークラブや地区の活動を紹介する欄です。原稿は600字以内。関連写真があれば、添付をしてください。

内外よろず案内

- 国内外の会員間の趣味の交換、催し物の案内、情報提供のお願いなどについての欄です。原稿は200字以内。

掲示板

- 新クラブ、新インターラクトクラブ、新ローターアクトクラブ開設、事務所、例会関係変更など、また『友』からのお知らせを掲載する欄です。各種変更は決まり次第、早めにお送りください。

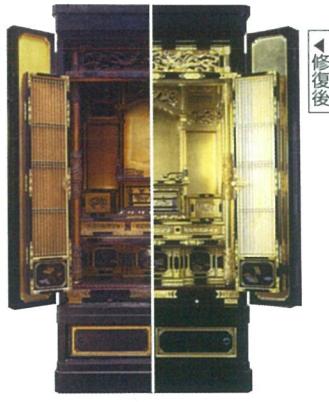
◆注意事項

メール投稿の場合、送信件名にはクラブ名を記し、メール本文に原稿についての連絡先を記載した上で、原稿/写真データ(原則J P E G・容量1枚200キロバイト以上)を必ず個別に添付し、お送りください。

京に生まれ育って185年、若林はお仏壇・仏具の専門店です!

伝統的工芸品の京仏壇から新感覚の仏壇・仏具まで在庫豊富に取り揃えております。

◎ご予算に合わせた修復お見積りをいたします
▶修復前
▶修復後



お仏壇の
「洗い修復」
承ります。

全国お見積り無料
0120-37-8585
フリーダイヤル
(各店共通)



朝に礼
(株)若林

京都本社/〒600-8218 京都市下京区七条通新町東入 口(075)371-3131(代)・年中無休
東京店/〒146-0081 東京都大田区仲池上2丁目8-13 口(03)3755-8488(代)・水曜定休
築地店/〒104-0045 東京都中央区築地3-15-1(築地木彌寺内) 口(03)3546-8228(代)・日曜定休
札幌店/〒064-0919 札幌市中央区南19条西9丁目 口(011)512-3455(代)・日曜定休
仙台店/〒980-0821 仙台市青葉区春日町8-5 口(022)213-0666(代)・日・祝定休
近江草津店/〒525-0027 草津市野村1丁目3-10 口(077)564-1011(代)・水曜定休
福岡営業所/新潟営業所

<http://www.wakabayashi.co.jp/> [若林仏壇] 検索

楽天市場店「お仏壇ショップ」<http://www.rakuten.co.jp/kyo-butadan>

肖像画のことなら信頼と実績を誇る日本肖像へ

肖像画壇を代表する一流画家が揮毫 芸術の香り高い迫真的肖像画。



価値ある人生の年輪を永遠に
法人企業や団体の創立者、功労者のご顕影に。叙勲、褒章、就任退任のご記念に。還暦、古希、喜寿、米寿など人生の節目の記録に。金、銀婚式などのお祝に、また遺影を肖像画にしますと仏間の暗さが減じ明るくなります。褪色のない油彩肖像画・・・是非お薦め申し上げます。

日本肖像は日本で一番権威のある肖像画家の団体
「全日本肖像美術協会」の一流先生方の揮毫による最高の油彩肖像画をお届けいたします。

■詳しい資料・カタログをお送りいたします

ホームページ <http://www.nihonshouzou.jp/>

(株)日本肖像 ☎ 0120-222-368

東京事務所/口 03-5285-3141
福岡事務所/口 092-451-0133 広島事務所/口 082-264-6075
熊本本社/〒861-1102 熊本県合志市須屋3882-1
口 096-249-1081 FAX 096-249-1082

表紙のメッセージ

岡井 耀毅

深まりゆく秋のさわやかな風に滑走していく
サーフボード――

琵琶湖はわが国最大の湖で滋賀県の面積の六分の一を占めているが、ここ高島市は琵琶湖の北西部にあり、水泳やウインドサーフィンで人気があり、近くの渓流でのシャワークライミングやスポーツフィッシング、キャンプなどでもにぎわっている。

琵琶湖の水泳やキャンプに飽きたら人気抜群のメタセコイア並木や高島市の南の玄関口にある白鬚神社湖中大鳥居も楽しめる。

動力を使わず自然のパワーだけで自在に遊べるウインドサーフィンは単純にみえても実に奥深いスポーツといわれ、年齢や性別にかかわりなく人気が高まっているという。

『快晴の秋日和に湖岸でウインドサーフィンのスピード感のある写真を撮ろう』と思い立ち、被写体を探していたところ、ウエットスーツを着た若い女性が私のそばを小走りに通りすぎてウインドサーフィンに乗り、あつという間に沖へ滑り出し、その爽快さに舌を巻いてシャツタ一を切りました。水しぶきの上がる瞬間をうま



「爽快」(滋賀県)
撮影 井上 秀夫 (2650 龍岡)

くとらえてピントも絶妙でした」と、井上秀夫氏は言う。

＊

ターザを切りました。半逆光によるイカの輝きとロープのたゆみが面白く、ゆったりとした漁村の風景が撮れたと思います」と、井上秀夫氏は言う。

秋風に揺れつつ夢見る海の日々

岡井輝生

(ジャーナリスト)



「イカの天日干し」(京都府)
撮影 井上 秀夫 (2650 龍岡)

『ロータリーの友』二〇一五年
三・六月号表紙写真再募集!

二〇一五年三・六月号の表紙写真を再募集いたします。テーマは設けません。募集要領は次の通りです。

① 締め切り 二〇一四年一月三〇日。

② 点数 一人三点まで。

③ サイズ 紙焼き四つ切り(それに近いサイズも可)。

④ 添付資料 名前、クラブ、連絡先住所、電話・ファックス、写真タイトル、撮影場所、撮影年月、撮影のデータ(カメラ名、レンズ〔ミリ〕、露出、シャッター速度)、簡単な写真説明。

⑤ 発表『友』誌、ホームページ『ロータリージャパン』に入選者のみ。

⑥ 審査員(予定) 岡井耀毅氏(元『アサヒカメラ』編集長・現『友』表紙解説者)など。

※詳細は、本誌八月号横組み三八ページ、または、ホームページ『ロータリージャパン』www.rotary.or.jpをご覧ください。皆さまのご応募をお待ちしております。

厚生労働大臣から感謝状

青森ロータリークラブ

第二八三〇地区 青森県



クラブを代表して感謝状を受け取る木村会員

クラブは東日本大震災の被災者への支援を続けてきましたが、その功績に対し、三月一日付で厚生労働大臣から感謝状をいただきました。

二〇一一年三月、震災直後に青森県知事、青森市長、商工会議所会頭に対して支援活動の意思を表し、青森市から緊急支援物資（指定品目）の協力要請を受けました。同年五月には岩手県山田町を訪問し、リンク、青森生姜味噌おでん、津軽そばなどの支援物資を届けました。

絵本やDVD、備品を寄贈するなど、現在も活動を継続しています。

こうした活動に際し、第二六五〇地区・京都南ロータリークラブ（RC）からは多額の資金を提供していただき、第二六七〇地区・高松北RCは一緒に支援の訪問をしてください、青森市内五クラブは同市内で避難生活を送る福島県の方々に掃除機や扇風機、電気コタツなどを、協同で提供してくださいました。四月二五日に市内で開かれた感謝状伝達式では、震災当時のクラブ会長で、

難生活を送る福島県の方々に掃除機や扇風機、電気コタツなどを、協同で提供してくださいました。四月二五日に市内で開かれた感謝状伝達式では、震災当時のクラブ会長で、

前年度の奉仕プロジェクト委員長・木村義正会員が、クラブを代表して県副知事から感謝状を授受。互いを支え合う「絆」の素晴らしさを、あらためて認識しました。

Annotation
RYLA（ロータリー青少年指導者養成プログラム）

クラブ、地区、多地区合同で組織される、リーダーシップ養成プログラムです。参加者の年齢制限はありませんが、中高生や大学生、若い成人を対象としています。『二〇一三年手続要覧』七四（七五六参照）。

（Interact Club）

奉仕と国際理解の推進に献身する若者のために、ロータリークラブが提唱するクラブ。一二一八歳の学生が対象です。『二〇一二年手続要覧』七一六（七二六参照）。

日本ロータリー親睦ゴルフ大洗大会開催

第二八二〇地区・東海那珂RC

神代 隆

日本ロータリー親睦ゴルフ（JGFR）では一〇月二〇日、茨城県東茨城郡大洗町の大洗ゴルフ俱楽部で「JGFR全国大会 第三回大洗大会」を開催します。

各ロータリークラブ内の友人ともに奮ってご参加ください。ご家族の参加も歓迎します。定員一〇〇人。応募の締め

切は九月二〇日です。

<http://www.tokai-naoka-rc.jp>

ROTARY AT WORK

ルは二五キログラムが入る布袋二八個分約七〇〇キログラムで、自走式車いす（アルミ軽量タイプ）一台と交換でき、これを町内の公共施設に寄贈しました。

スタートしてから八年となります。が、達成した五月一六日はクラブ創立三五周年を迎えた日ということもあり、会員みんなで喜びました。最後の袋の発送準備は工藤喜一・社会奉仕委員長（当時）と堀川理智子会員が行いました。クラブではこれからも活動を継続する考えでいます。

恒例、大阪市立
敷津浦学園との交流会

第一六六〇地区 大阪府

大変な喜びようで、早速、次回対戦の抱負を語り、われわれも日ごろ動かさない体を存分に動かし、快い疲労を感じながら有意義な親交・交流を深められたと実感できました。また、毎年の交流を深める中で入所者が少しづつ成長していることを肌で感じ、これが毎年行事を実施するモチベーションにもなっています。

一週間後、同学園園長を例会に招いて卓話ををしていただき、同学園の抱える課題をあらためて理解することができ、社会奉仕の大切さを再確認できました。

（中嶋紳治・記）



入所者とフットサルを楽しむ会員

た、住之江公園でのお花見行事も場所を変更し、同学園内の教室で弁当を広げ、食事を取りました。

入所者は行事変更にもかかわらず大変な喜びようで、早速、次回対戦の抱負を語り、われわれも日ごろ動かさない体を存分に動かし、快い疲労を感じながら有意義な親交・交流を深められたと実感できました。また、毎年の交流を深める中で入所者が少しづつ成長していることを肌で感じ、これが毎年行事を実施するモチベーションにもなっています。

前網浜のホヤ

東京城北ロータリークラブ

第二五八〇地区 東京都

当クラブは二〇一三一一四年度、創立四五周年を迎え、記念事業の一環として、三年前から支援している宮城県石巻市の前網浜漁港に支援金を送ることにしました。

六月一日、会員九人と青少年交換

学生マリア・サラゴザ・チアリさん、米山選学生の馮佳佳さん、クラブ事務局のスタッフと総勢一三人で訪問しました。クラブが支援したホ

ヤの養殖が三年たち、今年初めて出

荷できるところまで来たとの連絡を

受けました。今回は支援金を届け、ホヤの収穫を見るための訪問で

晴れ渡る初夏の風を受け浜から漁船に乗ってホヤの養殖いかだまでの船旅。引き上げた網には三〇センチメートルほどのホヤの塊がびっしりと付いて、宝石のように輝いていました。漁港の皆さんのはいまだ仮設住宅に住んでおり、そこから港まで通ってきます。

今回もわれわれのために来てくれました。船から下りて漁港にある仮設の集会所で、支援金と支援の品を

差し上げました。その際、漁協の組合長から感謝状をいただきました。予期せぬ出来事に参加した会員が感動しました。

それから採れたてのホヤをごちそうになりました。あまりなじみがありませんでしたが、新鮮なホヤはほんのり苦味があるものの、その後に甘みが口の中に広がり、何とも言えないとおいしさです。三年前とは違い、皆さんの顔もホヤの収穫の喜びでいっぱいでした。

まだまだ復興したとは言えない状況です。穏やかな海の中に沈んでいるような、前網浜の方たちが受けた悲しみはどうすることもできませんが、少しでも明日への光が見える限り、われわれはこれからも支援を続けていきます。



ホヤの水揚げを見学する参加者たち

JR高崎駅前に完成した
上毛三山と太陽の時計塔

未来を明るく照らす、夢と希望の象徴というコンセプトのもと、「上毛三山と太陽の時計塔」と名づけました。これなら市民はもとより、設置場所はJR高崎駅を念頭に置きました。ここなら市民はもとより、市外からの来訪者、駅構内のシヨツピングモール利用者など多くの人が目にすることになります。計画実現のため、高崎市とJRに設置の検討を依頼。多くのロータリアンが働きかけた結果、承認を得ることができ、六クラブの協同事業実現の運びとなりました。

実物大のサンプルを造り、現地の環境と調和するよう数回にわたり設置点検。市長やロータリーの関係者が安全性などを確認し、意見交換して制作に反映させました。制作期間

計をすき間なく埋め込むことが困難で、さらに市の要請で、安全確保のため耐風圧を通常の一倍に強化しなければならなかつたからです。多くのロータリアンが一致団結しなれば成し得なかつた事業です。三月一八日の除幕式の様子は多くのメディアに取り上げられました。また「時計が三方から見えるので便利」「すてきな時計塔」といった声が聞かれ、広く市民の話題となりました。市民から愛され続ける時計塔になつてほしいと願っています。

(高崎東RC 柿本忠澄・記)

職業で培つたノウハウを社会奉仕で生かす

川崎高津ロータリークラブ

第一二五九〇地区 神奈川県

当クラブは毎年の継続事業として、川崎市のJR武蔵溝ノ口駅前で献血運動を行つてゐる。毎年、献血は二年を要しましたが、これは太陽(一・二メートルの球体)の中に、三台の時

アンドマイク三台を使って呼び掛け、通行者が献血をやつていることをまず聴覚で認識、歩きながら思案しているところ

を今度は視覚にも訴える。この作戦

(?)で呼び掛けを行つたところ、想像以上に人が集まつた。一時は呼び掛けをストップしなければならないほど行列ができる、順番待ちのいすを追加で並べるほどだつた。

献血は商売ではないが、会員が職業で培つたビジネスのノウハウを、奉仕活動に応用するあたりはロータリアンらしく、大きな意味での「職業奉仕」とも言える。



駅前で献血を呼びかける会員たち



最後のリングブルを袋詰め

クラブ社会奉仕委員会による社会貢献の一環で、リングブル(ブルタブ・缶のふたのつまみ)を集めて専門の業者に持つていくことで、車いすを購入・寄贈しようと、各会員が自宅や職場に回収用のペットボトルを設置し、集め続けてきました。さらには片道約四時間かかる毎年の地区大会のバスの中、同好会の活動中、夜間例会など、さまざまな場面でリングブルをこつこつ集めできました。

この話を聞きつけた羽幌町民の皆さんの協力もありました。リングブルを追加で並べるほどだつた。

リングブルを集め 車いすを贈ろう!

羽幌ロータリークラブ

第一二五一〇地区 北海道

ROTARY AT WORK



「短命県」返上に向け、セミナー開催

シルバーバーグ会員の紹介で、わが仲間入りを果たした武田中学校高等学校一ACの皆さんには、活動に全力で取り組み、眞の国際人となってくれるよう願っています。

(為岡進・記)

禁煙を扱うセミナーに愛煙家は来ないという前提で、参加者は青少年を念頭において準備を進めました。青森には県内の警察署が主導し、小學生から高校生までの非行防止活動を担う若者の組織「JUMPチーム」があり、当クラブも継続的に活動を支援していますが、その委嘱状交付式とタイアップし、児童生徒たちに喫煙の害を伝え、健康を考える機会にしました。入場無料、土曜日の午後二時四〇分開始ということもあってか、一般の人も多数来場しました。望月先生は基調講演で「タバコの健康への害や発がん性が十分に認知されていないことが問題であり、タバコを吸わないことが、健康に生きるために自分自身でコントロールできることの一つである。ただし、レストランなどでの受動喫煙を完全に防止することは、これから私たちが『人命を守っていく社会』をつくるために必要なことである」と指摘しました。続くシンポジウムでは、健康に生きるために地域づくりという視点から、パネリストが意見交換を行いました。

喫煙の害を説く 健康のためのセミナー

五所川原ロータリークラブ

第一八三〇地区 青森県

クラブでは創立五五周年記念事業として、五月一七日に「健康のためのセミナー～喫煙の害について～」を実施しました。

青森県は平均寿命が全国ワーストであり、県を挙げて「短命県」返上に取り組んでいます。医学博士である、当クラブのステイブン・G・

の仲間入りを果たした武田中学校高等学校一ACの皆さんには、活動に全力で取り組み、眞の国際人となってくれるよう願っています。

(為岡進・記)

シルバーバーグ会員の紹介で、わが仲間入りを果たした武田中学校高等学校一ACの皆さんには、活動に全力で取り組み、眞の国際人となってくれるよう願っています。

禁煙を扱うセミナーに愛煙家は来

ないという前提で、参加者は青少年を念頭において準備を進めました。

青森には県内の警察署が主導し、小學生から高校生までの非行防止活動

を担う若者の組織「JUMPチーム」

があり、当クラブも継続的に活動を支援していますが、その委嘱状交付

式とタイアップし、児童生徒たちに喫煙の害を伝え、健康を考える機会にしました。入場無料、土曜日の午後二時四〇分開始ということもあつてか、一般の人も多数来場しました。

望月先生は基調講演で「タバコの健康への害や発がん性が十分に認知されていないことが問題であり、タバコを吸わないことが、健康に生きるために自分自身でコントロールできることの一つである。ただし、レストランなどでの受動喫煙を完全に防止することは、これから私たちが『人命を守っていく社会』をつくるために必要なことである」と指摘しました。続くシンポジウムでは、健康に生きるために地域づくりという視点から、パネリストが意見交換を行いました。

創立四五周年を記念し 看板を寄贈

寝屋川ロータリークラブ
第一五六〇地区 大阪府

寝屋川市駅前広報看板の除幕式と、記念ナイト例会を行いました。

この日はちょうど例会日であり、当クラブの龜井信昭ガバナー補佐（当時、以下同）が出演したラジオ大阪「あなたのそばにロータリー」の放送日でもありました。会員は寝屋川駅前の親水公園広場に集まり、一緒に野外でラジオ放送を聞くとい

う楽しい体験を共有できました。その後、駅前で行った除幕式には、福家宏ガバナーと寝屋川市の関係者が出席。終了後は例会場に戻り、記念のナイト例会でお祝いしました。

こちらにも福家ガバナー、ガバナーブラッド、ガバナー補佐エレクト、寝屋川ロータリアクトクラブの会員、青年交換学生エリザベス・ウォーカーさんとホストファミリーの会員の夫人など多くが出席。グループシヤルルカトレアの歌や、近藤利則会員夫人の伴奏によるエリザベスの歌など、素晴らしい余興が披露され、いつももまして楽しくにぎやかな記念例会となりました。

当クラブの龜井信昭ガバナー補佐（当時、以下同）が出演したラジオ大阪「あなたのそばにロータリー」の放送日でもありました。会員は寝屋川駅前の親水公園広場に集まり、一緒に野外でラジオ放送を聞くとい

JR駅前に時計塔を寄贈 公共イメージ向上のため

第一八四〇地区第三分区
群馬県

ロータリーの公共イメージを向上させるには市民に毎日見てもらい、かつ利用価値のあるものがよいとの観点から、高崎ロータリークラブ（RC）と高崎南RC、高崎北RC、高崎東RC、高崎シンフォニーRC、



駅前に設置した交通安全看板

高崎セントラルRCの六クラブで時計塔の設置を決定。上毛三山（赤城山、榛名山、妙義山）が太陽を頂き

ROTARY AT WORK

ました。例会以外にも歓迎夕食会や、名所、旧跡などを訪問する際、大使に同行することで、相互理解が進んだものと考えます。中には県知事や市長を訪ねた方もおり、行政レベルでの交流のきっかけづくりにも貢献できました。

ある大使からは「瀬戸内の美しい景色や穏やかな気候、四国八十八箇所遍路で培われた、人々のおもてなしの心に感動し、故郷に帰った時のような、ほっとした気持ちになった」という、ありがたい言葉をいただき、さらなる交流の約束をしました。

(今城広治・記)

六つの鐘の音が響いた 合同例会

第二五三〇地区県中分区
福島県

六つの鐘の音が響いた
合同例会

今年五月に当地区県中分区の合同例会が小野町で開催されました。県中分区は県中央に位置し、本宮口一タリークラブ（RC）、三春RC、滝根RC、常葉RC、小野RC、船引RCの六クラブが所属しています。

開会の点鐘は、いつもは担当クラブの会長が行いますが、今回は各クラブの会長に鐘を持参するように依頼。六人の会長が壇上に上がり、テ



6つの鐘を使って、各会長が点鐘

武田中学校高等学校 I-A-C誕生

東広島21ロータリークラブ
第二七一〇地区 広島県

このたび、当クラブが提唱クラブとなり、広島県の（学）呉武田学園・武田中学校高等学校にインターラクトクラブ（I-A-C）を創設しました。昨年七月、岸田洋美会長（当時、武田中学校高等学校にインタークラブ）はクラブの重点目標の一つにI-A-C新設を掲げました。会員からは「創立二年目、会員数二〇人弱という小さなクラブの目標としては、少し荷が重すぎるのではないか」と懸念する声もありましたが、岸田会長は持ち前の行動力と情熱で、日々準備を進め、今年に入つて候補を

会員からの希望で、閉会点鐘は時

間差点鐘することになり、創立順に並んだ緊張顔の会長たちが「カン、カン、カン、カン、カン」と、余韻を楽しんでいるのか、しばし静寂。次の瞬間、われに返った参加者が全員立ち上がって、割れんばかりの拍手がいつまでもいつまでも鳴り響いたのでした。

(本宮RC 高田宗彦・記)



新インターラクトクラブの誕生

学校長をはじめ関係の先生方と会合を重ね、今年四月にI-A-Cが創立。そして六月一八日、地区内一九番目のI-A-Cとして晴れて認証状伝達式を迎えることができました。

当日は、沖田哲義ガバナーをはじめ、多くのロータリー関係者、学校関係者からお祝いと励ましの言葉をいただきました。私たちインタークラブ一同に喜びを分かち合いました。

世界一五〇を超える国と地域に

ロータリークラブならびに
地区的活動を紹介、600
字以内。関連写真があれば
添付してください。

RYLAの講師は元交換学生

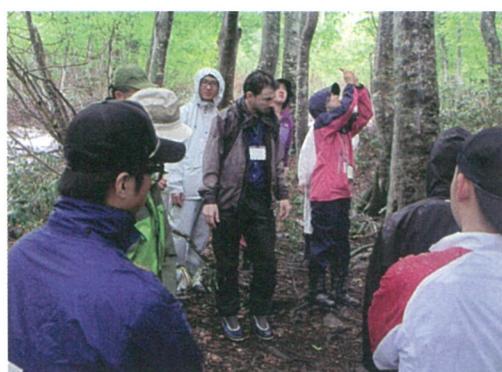
第二八〇〇地区 山形県

六月七・八日、「自然の中で学ぼう、グローバルリーダーシップ」のテーマのもと、当地区RYLA（ロータリー青少年指導者養成プログラム）研修会を、山形県西村山郡西川町の月山ボレポレファームを主会場に開催した。

初日は二〇〇一—〇二年度に寒河江ロータリークラブがお世話をした青少年交換学生で、現在、東北大学で月面探査ロボット開発のための国際チームのリーダーを務めるネースン・ブリトン氏を講師に迎えての講演会。アカデミックで専門的な話から、東日本大震災の被災経験を踏ま

えたリーダーのタイプ別の話など、興味深い内容だった。最後に「小さな池の大きな魚がよいか、大きな池の小さな魚がよいか」といった問題提起があり、議論が交わされた。夜のバーベキューでは、午後の講習会で自作したソーセージをおいしくいただいた。

二日目は小雨の中、自然博物園から残雪が残るブナ林をガイドとともにトレッキング。「なぜブナが豪雪地帯で林としてグループで生き延びられるか。それは他のどの木より環境適応性と驚異的な柔軟性を持つていたから」との説明を受けた。その



ガイドの説明を受けながらトレッキング

駐日大使でスピーチを 例会で

高松南ロータリークラブ 第二六七〇地区 香川県

当クラブは前年度、日本に約一四〇ある在日大使館の全駐日大使宛てに手紙を出し、瀬戸内海国立公園指定八〇周年を迎えた瀬戸の都・高松にお越しいただき、例会への参加とスピーチをお願いしました。三〇人以上の大使から前向きな返事をいただき、日程などの調整の結果、六か国の大使の来訪が実現しました。当時のクラブ会長はアメリカ国籍のマスウド・ソバハニ氏で、彼の卓越した国際感覚と行動力からこのアイデアが生まれたのです。

全体討議では、グループごとの活発な討議の内容が各リーダーから発表されたが、若人の熱が直接こちらにも伝わり、胸を打たれた。最後に新関彌一郎ガバナー（当時）から三四人の参加者一人ひとりに修了証が手渡され閉会。参加した仲間との別れを惜しみ、帰ろうとしない彼らの姿が、今回の充実したRYLAを物語っていた。

（寒河江RC 若月仁・記）



インドの特命全権大使（左から2人目）とともに

来訪者は、マリ共和国大使のモハン・エルハツジ・バニア・トゥーレ氏（三月一九日）、モザンビーク共和国特命全権大使ベルミロ・ジョゼ・マラテ氏（四月三〇日）、ラトビア共和国大使ノールマンス・ペンケ氏（五月七日）、アルジェリア民主人民共和国大使シド・アリ・ケトランジ氏（同二八日）、インド特命全権大使ティーパ・ゴパラン・ワドウワ氏（六月四日）、イルランド大使ジョン・ジェラルド・ニアリー氏（同一八日）の六人でした。短い時間ではありましたが、各国の地理や歴史、文化、芸術、スポーツ、宗教、経済、ビジネスの可能性、日本とのつながりなどについて話していただき、理解を深めることができました。

ROTARY AT WORK

ROTARY AT WORK

一石何鳥にもなるイベント 大成功！ （大江RC）



マスコミ各社と懇談会
（奈良・大和郡山・生駒RC）

奈良ホテルで、在奈マスコミ「木曜会」から全11社の出席を得て懇談会を開催。奈良RC・吉岡孝夫会長（当時）がロータリークラブの概要と奉仕活動について説明、その後奈良・大和郡山・生駒RCから2013-14年度に各クラブが行つた奉仕事業を紹介した。出席者から「ロータリークラブと言われても、一般の方はあまり知らないのではないか」「もっと意見を発表するようにしたほうがよい」など多くの意見、感想をもらひ、常に内部か、内部に近い人の意見以外聞く機会の少ない会員たちにとって、貴重な意見をもらい、有意義な懇談会となつた。

(4月24日 第2650地区 奈良県)

第2800地区・寒河江RCの鈴木一作会員（眼科医）が2012年に制作した映画『先生、ありがとうございます』の無料上映会を開催。会場で集めた募金をボリオプラス基金に寄付した。観客にロータリーやボリオ撲滅についての状況説明を行つて広報し、国際奉仕や地域社会奉仕の仲間になつてもらえたれば、という欲張った企画だつたが、予想以上の大成功で、20人の小さなクラブによる「でっかいイベント」になつた。

(5月11日 第2800地区 山形県)



IACと福祉施設訪問 （防府南RC）

5月10日、誠英高校IACの生徒と一緒に防府市の福祉型障害児施設・華浦学園を訪問、入所者たちと交流した。後日、参加した生徒の父親から「今日は娘がお世話になりました。娘にはぜひ、福祉の道に進んでほしい。これからもご支援をお願いします」という手紙が届いたことを、園長からの手紙で知り、驚くとともに感激した。年に一度の交流行事だが、今後もインター アクターとともに支援を行いたいと考えている。

(第2710地区 山口県)



町民花見会に参加！

（長万部RC）

道南で最も遅く花見が楽しめる長万部町の花見会が長万部公園で行われ、クラブでも移動例会として参加した。満開の八重桜の下で家族とともに、町のイメージキャラクター「まんべくん」も一緒に焼肉を食べ、楽しい一日を過ごした。

(5月26日 第2510地区 北海道)

ロータリークラブ奉仕活動をカラー写真で紹介。写真と150字程度の説明文。必ず活動日を入れてください。記念写真（集合写真）は掲載できません。

ROTARY AT WORK



区民みんなで考える 拉致問題

〈神戸垂水RC〉

第27回垂水区民講座「垂水区民みんなで考える拉致問題」を開催。約400人の区民を前に、特定失踪者問題調査会代表・荒木和博氏による拉致問題全般の講演と、神戸の拉致被害者・有本恵子さんの両親・有本明弘さん、嘉代子さんの対談を行った。

報道では知り得ない失踪から現在までの体験、調査による事実を知ることができ、80代後半になつた両親と恵子さんの一日も早い再会を願わざにいられなかつた。嘉代子さんのラジオの短波放送を通じた恵子さんへの呼びかけが印象的だつた。

(5月31日 第2680地区 兵庫県)



県 (5月15日 第2700地区 福岡)

老舗映画館で親睦会を やりました

〈小倉中央RC〉

北九州・小倉の台所といわれる旦過(たんが)市場にある創業75年のレトロな映画館・小倉昭和館で親睦会を開催。売店のお菓子は障害者自立支援ショップと提携のもので、福岡出身の「コーヒー焙煎世界大会優勝者の特製ブレンドコーヒーも置いてあった。『ペコロスの母に会いに行く』鑑賞後、デジタル上映全盛のこの時代、フィルムにこだわり上映している映写室も見学。会員が大挙して映画と一緒に見る機会は初めてで、鑑賞後の涙、涙に普段とは違つた会員の一面を垣間見、会話が弾んだ。こんな親睦会もいいと感じた。

(5月15日 第2700地区 福岡)

ROTARY AT WORK



お年寄りを招き函館湾 クルージングを楽しむ

〈函館RC〉

社会奉仕委員会主催で、老人施設函館湾クルージング招待事業を実施。函館大妻高校の生徒の手伝いも得て、市内の3つの老人施設から参加した約60人が、なかなか乗船する機会のない遊覧船・ブルームーンで、30分間の函館湾クルージングを楽しんだ。

(5月17日 第2510地区 北海道)



女子プロ野球交流試合を開催

〈京都城陽RC〉

京都府山城総合運動公園内の球場で、日本女子プロ野球機構の「ふれあい」事業の一環で、京都を中心に行われている女子プロ野球の試合を地域の人々に見てもらいたいと行つた。地域の障がい者施設から152人、一般から約400人が観戦。同機構スーザン・バーバイザーで元祖甲子園のプリンス・太田幸司氏も参加し、昔のファンにも楽しんでもらつた。後日、終了後の集合写真と両チーム選手のサイン、ボールを持つて施設を訪問した。

(5月14日 第2650地区 京都府)

2014 VOL.62 NO.9

ROTARY AT WORK



火力発電所、太陽光発電施設を見学

（飯田RC）

脱原発の機運高まる中、愛知県の中部電力・武豊火力発電所、太陽光発電施設「メガソーラーたけとよ」、碧南火力発電所を見学した。碧南火力発電所は出力410万kw、デイズニーランド2個分の敷地を擁する、石炭火力として日本最大の火力発電所。「メガソーラーたけとよ」はナゴヤドーム3個分の敷地に3万9000枚のパネルを設置した。太陽光発電施設で、浜岡原子力発電所の稼働停止の中、これらの施設の必要性が再認識されている。早朝バスで出発し、一日かかりの移動例会となつたが、エネルギー問題を考える貴重な機会となった。

（4月16日 第260地区 長野県）



落語例会で大喜利（東松山RC）
地元の料亭で、落語家・横山談らくさんを招き独演会を開催。続くサプライズ企画で、会員と夫人の代表4人も交え、テレビ番組の要領で「笑点大喜利」を行った。謎掛けでは「ロータリー」と掛けて、ボクシングの試合と解く「その心は?」「かねで始まり、かねで終わる」といった秀逸な回答が出たり、Hな回答で座布団をすべて取り上げられたりと、面白おかしい親睦のひとときだった。28年余のロータリー人生で一番楽しい例会」と話した会員もあり、会員参加型企画はロータリー活性化のキーになると確信した。

（5月26日 第2570地区 埼玉県）

ROTARY AT WORK



全6回、ウォークラリーで地域を清掃

（岩出RC）

昨年10月から、岩出市の根来寺から紀の川市の大池遊園までを6区に分けて清掃する「ウォークラリーで清掃」を始めた。基本は月1回、第1日曜の朝7時半に出発。長丁場の事業だつたが多くの人々の協力で、10～12月、3～5月と全6回、雨天の日がありながらも今回のファイナーレを迎えた。日曜早朝のごみ拾いは入会しなければ得られないが、貴重な経験。会員は、こうした活動がなくても、一人ひとりの意識で町がきれいであることを望んでいる。

（5月11日 第2640地区 和歌山県）

ポリオ撲滅チャリティーコンサート

（東京麹町RC）

ポリオ撲滅運動は、東京麹町RCの故・山田舞（つね）会員と故・峰英二会員が80年代に南インドのポリオワクチン投与に従事し、Rにその惨状を報告するとともに撲滅運動の強化を強く訴え、世界的な運動に発展した。今回、小児がんなどのチャリティーコンサートを多数催しているバイオリニスト・川畠成道さんの協力で、ポリオ撲滅チャリティーコンサートを都内のホールで開催。4回目だが800席は完売し、観客の関心の高さを感じた。ポリオ撲滅運動の発祥クラブとして、撲滅のその日が来るまで活動を継続したいと考えている。

（5月17日 第2580地区 東京都）



ROTARY AT WORK

ROTARY AT WORK



老人ホームを演奏と歌で慰問
〈市川東RC〉

老人ホーム・ナーシングホーム市川の慰問として、市川市立第六中学校管弦楽部による演奏を行った。子どもたちの演奏に涙する入所者もいたほど、大変喜ばれた。演奏以外にもみんなで合唱をしたり、入所者たちの輪に子どもたちが入り、互いに声を掛け合うなど、交流を深めた。ホームの入所者たちにとっても、子どもたちにとっても、貴重な経験となつた。

(5月17日 第2790地区 千葉県)



国立公園になつた種差海岸を清掃
〈八戸東RC〉

八戸市民自慢の種差海岸が、5月24日に三陸復興国立公園に編入された。クラブは社会奉仕活動の一環で同海岸の清掃活動を続けてきたが、14年目の今回は八戸文化幼稚園の園児61人と実施。国立公園編入が決まつた種差海岸を清掃し、交流を通して園児たちに自然の素晴らしさ、大切さを伝えられればと企画した。好天の中ごみを仕分けしつつ清掃し、園児たちから「きれいな八戸種差海岸、きれいな日本のために、目についたごみは拾い、自分たちの出したごみは持ち帰ります」という立派な宣言をもらい、無事終了した。

(5月9日 第2830地区 青森県)

ROTARY AT WORK



地域の祭りで血圧・血管推定年齢測定
〈貝塚「スマスマRC〉

貝塚市の農事組合法人・たわわで、例年5月3日に催される「たわわ祭」が、今年は10周年ということで盛大に開かれた。当日は天候に恵まれ1000人以上の参加者がおり、餅つき大会や和太鼓の演奏などが行われた。クラブでは血圧計による血圧測定と、それを踏まえた加速度脈波計による血管推定年齢を測定した。参加者の関心は高く、148人が測定し、希望者には結果について、会員(医師)による健康相談を行つた。

(5月3日 第2640地区 大阪府)



道の駅に木製ベンチ寄贈
〈佐原香取RC〉

社会奉仕活動の継続事業の一環で、道の駅・水の郷さわらにベンチ5脚を贈呈。これまでにも香取神宮や伊能忠敬記念館がある小野川周辺に木製ベンチを寄贈してきたが、いずれも会員が製作したもの。当日は土砂降りの雨の中、会員たちでベンチを運び入れ、贈呈式を行つた。多くの人々にベンチを利用してもらえることを祈りつつ家路に就いた。今後は観光客にゆつたりと利根川の流れを眺めながら、日常の疲れを癒やしてもらいたいと思つてゐる。

(6月7日 第2790地区 千葉県)



ロータリー アットワーク

ROTARY 写真編
AT WORK

環境教育への出前授業 「紙風船を飛ばそう」

高知西ロータリークラブ
第2670地区 高知県

高知県香南市立野市小学校は環境教育に熱心で、毎年さまざまな分野から講師を招き、全校児童と保護者を対象に「環境フェスティバル」を開催しています。5年前、高知西ロータリークラブにも講師派遣の依頼があり、社会奉仕委員会の活動として会員を派遣。以後、新世代活動委員会の活動として、同小学校に毎年講師を派遣し、授業をしています。今年も6月15日に「地球温暖化」など、22の講座を受け持ちはしました。今回、わがクラブでは、「地球に優しい紙風船を作つて飛ばそう」という講座を受けました。講座で使った紙風船は会員企業が開発したもので、紙なのに気密性が高く、軽くて水に溶けやすく、環境にやさしい風船と評価されています。

授業では、紙風船開発の動機として、「死んだウミガメのおなかの中からゴム風船の切れ端が出てきた」という新聞報道がきっかけであったことや、「どのような形の紙風船が良く浮かび、遠くへ飛んでいくか」を会員が説明した後、子どもたちが班に分かれて、それぞれ、思い思いの紙風船を作りました。

子どもたちの発想は豊かで、ドラえもんからオジジナルのキャラクターまで、いろいろと面白い紙風船ができました。講座の最後には校庭に出て紙風船を飛ばしましたが、風船飛ばしには大変夢があり、一斉に紙風船が舞い上がり、手をたたいて歓声を上げるみんなの笑顔に、毎年感じる「役に立った」という達成感をいただいています。

(山岡陸宏・記)

豪快に雲流れゆく梅雨晴れ間

長崎北

三原

茂

抱卵の鷦入れ替はる日永かな

奈良

名和

佑介

元気よく塗られし孫の鯉のぼり

兵庫・神戸西

村野

利昭

アライグマ今年も來たぞ枇杷食べに

群馬・前橋西

花卉美智代

亡き妻と紫陽花寺を訪ねけり

千葉・市川

照井

親資

柿若葉光きらめく午後の風呂

埼玉・熊谷

籠原

森田

光彰

思案するごとくに蟻の立ち止る

千葉・富里

寒郡

政雄

軽々と跳ねてこの世に鹿の子かな

奈良

吉田

淳

天瓜粉八十六歳赤子かな

岐阜長良川

長柄

良雄

ひらひらと蝶来て庭の景動く

大阪・堺フエニックス

米田眞理子

吾が影を日時計として芝を刈る

神奈川・茅ヶ崎

清水

賢一

木下闇好んで咲ける花も有り

愛知・碧南

杉浦

保子

磯桶の寄り添ふがごと母娘海女

三重・志摩

宝門

孝雄

新緑と海のはざ間の神戸かな

兵庫・神戸東

執行

英毅

更衣妻の言ふまま六十年

東京荒川

井上

一郎

投稿規定 ◇雑誌 ◇クラブ会員、家族 ◇一ヶ月に葉書一人一枚に三句まで ◇締切日 二〇日必着 ◇葉書ウラにもクラブ名・氏名、電話明記 ◇楷書で明確に ◇『友』俳壇係宛

水無月の南禅寺参道人少なし
折りふし過ぐる風若みどり

石川・金沢百万石

石丸

恭子

窓明けて若葉明りの陽差し入れ
夫好みのコーヒを入れる

奈良 吉田

佳代

ハイドンの「時計」に浮かれお弁当
作る脣で足踏みして

奈良 寺田眞佐子

新緑の風渡りくる能舞台
しじまを破る笛の一聲

香川・高松 平峯 千春

新緑の山より吹きて来る風に
部屋開けはなち衣更えする

岡山・真庭 山下 輝子

叱る人になつているより叱られる
者で居るのが心おだやか

山形・余目 佐藤孝二郎

早苗田に影をうつして黙黙と
昔ながらに補植する女

秋田・能代 成田 繁穂

体力に若さいささか遠のくも
ロータリーアンの仕事吾が性に合ふ

福島・須賀川 柿沼 良訓

木下闇好んで咲ける花も有り
花菖蒲好み愛であし亡き妻の

千葉・市川 照井 親資

笑顔も遠し風の音する

千葉・市川 照井 親資

人工のひざ関節に早や一年
まだくわわれの分身とならず

神奈川・相模原 佐藤 清一

棘のない薔薇と胡瓜と憲法よ

東京日本橋東 廣瀬 嘉夫

ソロバンでリハビリ開始する社長
妻詰り晚酌肴ひとつ減り

愛知・豊橋 黒谷 尚弘

娘の時きし朝顔の花咲き初めぬ
少女のごとき淡き水色

三重・伊勢中央 浜口佳津美

新緑と海のはざ間の神戸かな

兵庫・神戸東 執行 英毅

更衣妻の言ふまま六十年

東京荒川 井上 一郎

投稿規定 ◇雑誌 ◇クラブ会員、家族 ◇一ヶ月に葉書一人一枚に三句まで ◇締切日 二〇日必着 ◇葉書ウラにもクラブ名・氏名、電話明記 ◇楷書で明確に ◇『友』歌壇係宛

初対面同じジユースに打ち解ける
大阪西 鴨谷瑞美子

絶景に疲れを預けまた歩く

押し入れを開ければどつと喋り出す

島根・出雲中央 多久和博子

禅寺の奥様ご一緒に莫会話

鹿児島・志布志 西岡 雅博

人生のガイドラインが狂い出す

兵庫・神戸中 吉井 邦弘

山登る前行く妻に怖れあり

福井・佐野 茂呂居 潔

T P P 損得なしの麦を刈る

埼玉・入間南 大野 快三

戦勝の記念は失せた昭和の日

岐阜長良川 奥村 幸江

惚れ直す田舎暮らしが生きる張り

和歌山・新宮 塩崎 公治

北に住み馴れて地酒へ暖まる

青森・五所川原中央 小野 順蔵

神職も時間がかかる縁結び

東京板橋 高田 雄彬

老いてなお忘れぬものよ初恋は

埼玉・行田さくら 小澤 誠邦

ソロバンでリハビリ開始する社長

新潟 小林 雄彬

妻詰り晩酌肴ひとつ減り

愛知・豊橋 黒谷 尚弘

棘のない薔薇と胡瓜と憲法よ

東京日本橋東 廣瀬 嘉夫

ソロバンでリハビリ開始する社長

新潟 小林 雄彬

娘の時きし朝顔の花咲き初めぬ
少女のごとき淡き水色

三重・伊勢中央 浜口佳津美

新緑と海のはざ間の神戸かな

兵庫・神戸東 執行 英毅

更衣妻の言ふまま六十年

東京荒川 井上 一郎

投稿規定 ◇雑誌 ◇クラブ会員、家族 ◇一ヶ月に葉書一人一枚に三句まで ◇締切日 二〇日必着 ◇葉書ウラにもクラブ名・氏名、電話明記 ◇楷書で明確に ◇『友』歌壇係宛

ROTARY 俳壇

長谷川 権



旧友となりぬ夜明けの時鳥

大分・佐伯 花井 章作

久々に時鳥を聞いたのだろう。思えば一年ぶり、あるいはもつともかもしれない。同じ時鳥だろうか、などと思い巡らすうち、古い友のような気がしてきた。深夜のことである。バルビゾン派の絵と共に春惜しむ

奈良 寺田眞佐子

十九世紀、パリ近郊のバルビゾン村を拠点とした画家たちがいた。彼らは搖らめく木漏れ日と回想を織りませて田園風景を描いた。作者の意中にあるのはその一枚である。

老いたれば人の耳借り梅の花

沖縄・浦添 知花 康仁

耳が遠くなってしまった人。人の会話もテレビもしばしば聞き逃し、「え、今何ていったの」と周囲の人間に聞き直すのだろう。困ったことだが、人の耳を借りるのもまた風流。「梅の花」とはまことにだらか。

宇治川の釣人増えて夏に入る

兵庫・芦屋川 廣瀬ゆきを

鮎釣りの季節である。京都の宇治川でも釣人を何人も見かけるようになった。その風景こそ宇治川の夏景色であるといふのだ。置みかける言葉のリズムに勢いがある。

履き慣れし靴は変らず更衣

岐阜・高山 小森 文一

更衣といつたって靴だけはかえられない。合わなければ、たちまち痛くなる。多少傷んでも履いている一足があるのだ。長年連れ添つた伴侶みたいなものか。

ROTARY 歌壇

馬場あき子



目つむればひそかに風の渡る音 古墳の森に夏来たるらし

奈良 吉田 淳一

奈良の古墳はどこかの古墳だろう。しかし「ひそか」な風の音が幽遠な気分をかもし出し古墳の森に茂る青葉若葉の香りを感じさせる。関西には仁徳天皇陵や応神天皇陵のような前方後円墳をはじめ、高松塚古墳やキトラ古墳、藤ノ木古墳のような円墳もある。古代の闇や謎の香も漂わせる夏樹林の傍らに佇(たたず)まつて、はるかな時空に思いを馳せる作者であろうか。

国道の喧騒しづまる午前二時 黒猫一匹信号渡る

愛知・豊橋

長屋 孝美

国道を走る絶え間ない車の流れは一日中その走行音が途切れないことはない。作者は深夜まで仕事をしていたのだろうか。あるいは、目覚めてふと外を見たのだろうか。時計みると午前二時、青い光が照らす横断歩道を渡る一匹の猫を発見。今日のように騒がしく、スピーディーな人間社会に共存する猫もたいへんである。闇にとけそうな黒い体毛にかばわれながら、蕭々と悠然と人間の世を渡る姿に感銘を受ける。

新緑を分けて進めりトロッコは 残雪の山の幾襲も越ゆ

富山・魚津西 加納 純子

豊彦

学名をヒトツバタゴてふ花万朵
雪のやうなりなんじやもんじやは

ROTARY 柳壇

てじま晚秋



案山子消えおもちゃの家が立ち並ぶ

熊本西南 古閑 修

バブルのころには、欧米から日本の庶民住宅は「うさぎ小屋」などと言われ、さげすまれたこともありました。現在は少子高齢化の影響もあるのか、往時よりは土地も家も若干、広めになっています。その傾向を「うさぎ小屋」ではなく「おもちゃの家」と表現したところに、作者の目が存在しています。

隣人愛世界に人が住む限り

群馬・伊勢崎 秋山 春海

世界中至る所で紛争の種が尽きておりません。なんとか仲よく暮らしていきたいものです。平易な言葉で一章をまとめていますが、この句のごとく、「隣人愛」を大切にしていきたいのです。戦後七十年、わが国は一度も「戦争」をしておりません。これは非常に偉大な記録です。ずっと継続していきましょう。

マンホール開けてニッポンフレーフレ 香川・高松 大平 昇

子供のころ、日本の反対側は「アメリカ大陸」だと先生から教わりました。地面をシャベルでドンドン掘つてゆけばアメリカに着く、などと他愛ないことを考えておりました。先ほど「サッカーW杯ブラジル大会」は終幕しました。たくさんの方々が大平さんのように応援されていました。もう一息でした。四年先のロンドン大会まで、夢は継続いたしました。

幸福の基準が上がるもう一杯 長野・辰野 河手 欣哉

の人の右に出る人はいない」が生まれます。右遷という言葉はないようです。

歴史的にみると一番古い王朝と言われている殷の時代ははつきりしませんが、次の周、春秋の時代は左上位、戦国、秦、

漢、三国時代は右上位です。隋、唐、宋は左上位、元は右上位、明、清、現代は左上位と時代ごとに変化しています。日本には遣隋使・遣唐使の時代に左上位が入ってきて、そのまま変わらずに今日まで続いています。

一方、ヨーロッパではほとんど「右上位」だったようです。英語の *right* が「右」という意味のほかに「正義、正しい、本当の」という意味を持つものに対して、「左」を意味する *left* が、「弱い、価値のない」という意味を持つことにも表れています。ドイツ語、フランス語、スペイン語でも同じです。

オリンピックはギリシャが発祥の地ですから、表彰台も金メダルは中央、銀メダルは向かって左、銅メダルは右に立ります。オリンピックが中国発祥であつたなら、銀メダルは右に、銅メダルは左になつていたかもしれません。

(第二六五〇地区・京都府・福知山西南RCで・
同RC会員)

東海道五十三次

北川歯科医院 院長 北川 純一

「東海道」というと新幹線、東海道自動車道と答える人も多いかと思いますが、古くから栄えた日本の東西の中心地を結ぶ幹線道路であり、同時にその東海道が走るエリアを指す言葉です。

日本橋を拠点とする東海道、中山道、甲州街道、奥州街道、日光街道の五街道の整備に着手したのは徳川家康で、一六〇一年のことです。一里塚、宿場などがつくられていき、東海道に設置された五十三か所の宿場が「東海道五十三次」です。

徳川幕府により、国内の統一が図られ、太平の世となつた江戸時代。商人を中心には多くの人たちが街道を旅したそうです。旅人たちの姿も多く描き込まれた『東海道五十三次絵』を描いたのは歌川広重です。宿場によつては、実際の街中の風景に、広重が描いた江戸時代の街並みや自然が残つている場所もあるようです。広重の作品は歐米では大胆な構図と、青色、特に藍色の美しさの評価が高

と呼ばれて、フランスの印象派の画家たちに大きな影響を与えました。同じころ、葛飾北斎による大判錦絵シリーズである『富嶽三十六景』は、歐米からも評価の高い作品となりました。

十返舎一九の「東海道中膝栗毛」も有名です。こちらは滑稽本と言われるジャンルの文学作品で、弥次さんこと弥次郎兵衛と喜多さんこと喜多八の二人が、いろいろなトラブルやハプニングに巻きこみ、騒動を起こしながら東海道を旅する物語です。今でも映画や漫画などで「弥次さん喜多さんコンビ」は人気です。

この東海道五十三次を実際に歩く「東海道五十三次ウォーク」を行う人たちがおり、ガイド本も出ています。多くは、東京を出発し京都に向かうコースを前提に書かれています。江戸時代に五街道が本格的に整備され、日本橋がその起点となつていることも関係しているのでしょうか。東海道自体は、江戸時代よりも古くからある日本の主要な街道の一つで、江戸時代より前、西が日本の中心だった時代には、京都、奈良から東の国へ向かう街道でもありました。

(第二六八〇地区・兵庫県・西宮恵美寿RCで・
同RC会員)



■「卓話の泉」は、各クラブの会報、週報に掲載の卓話の中から、客観的内容の話題、ミニ知識となるものを主に選んで要約、掲載しています。

古代文字の解読

肥後公認会計士事務所副所長 肥後 真弘

古代エジプト文明を解き明かしたエジプトの古代絵文字は、今から二〇〇年ほど前に発見された、ある石によつて解読されました。その石はロゼッタ・ストーンと名付けられ、今イギリスの大英博物館に飾られています。この石にはエジプトの古代文字ヒエログリフ、エジプトの民衆文字、ギリシャ文字の三種類の文字が刻まれており、この内容が全て同じものであろうと思われたのです。

ロゼッタ・ストーンは、一七九九年、ナポレオンがエジプトに遠征中、ロゼッタの町の岩を修復している時に発見され

ました。しかし、イギリスのネルソン提督に戦いで破れ、イギリスに持ち去られてしましました。一八〇一年のことです。

ところが、フランス軍の兵士が靴墨で書き取つていたため、フランスにも石に刻まれていた内容が残りました。ここから古代文字の解明が始まりました。

イギリスでは、物理学者のトマス・ヤングがヒエログリフから表音文字のプトレマイオス王を解読しましたが、橢円形で囲まれた文字が、王の名前を表すところまでしかわかりませんでした。

一方フランスでは、ジャン・フランソワ・シャンポリオンが、ロゼッタ・ストーンの解読に取り組み始めて一三年目の一八二三年、三歳の時に、王の名前を読み比べ、ラムセス王とクレオパトラの名前を読み解きました。これがロゼッタ・ストーン解読の大きなきっかけとなりました。彼は天才言語学者でいろいろな言語を知つており、古代エジプト語の流れをくむコプト語にも精通していたため、コプト語を当てはめて解読していくました。これにより古代エジプトの歴史が明かされていったのです。

(第二六四〇地区・大阪府・岸和田RCで・同RC

左右考

(医社)木村外科医院 理事長 木村 潔

中国の故事に「天子南面す」という言葉があります。天子（帝）は宮殿で南向きに座り、家臣は北向きに座ります。天子の左手側、つまり太陽の昇る東側を上位とし、これを「左上位」と言います。左右は天子が基準です。京都の左京区・右京区もそうなっています。

「あの人はどこどこに左遷された」では、左遷というのは「左に遷る」ことで、左上位では出世することになり、おかしいのではないでしょうか。

左上位の本家は中国です。中国はいつの時代でも左上位かというとそうでもないようです。昔、木簡や竹簡に文字を書いていたころは、私たちが現在縦書きのノートに書くように右から左に書いていました。人名とその人の官位が記載された札が、左に移動することは位が上がるのではなく下がることです。左に移動する人がいれば、当然右に移動する人もいます。右に右に移動して一番右にくればもう右には何もありません。これから「あ



願い事を込めた天燈がうまく飛んでいきますように

見え、その先にカラフルな色で塗られた三両編成の電車が停まっていた。

バスから降り坂道を上り、空を見ると数基の赤や黄色の天燈が飛んでいた。少し歩いていくと、線路をはさんで両側は、天燈材料を店いっぱいに飾り土産物店が並んでいる。

昔、盗賊に襲われることが多かつたこの地域で、避難した住民に、盗賊が去り安全だということを知らせるために天燈を飛ばしたことが、天燈上げの始まりと言われている。時がたち、無病息災などの祈りを込めて天燈を飛ばすようになり、毎年二月に平渓天燈祭りが行われるようになった。平日でも十分駅の線路脇で天燈を上げることができ、私が行った日も観光客でにぎわっていた。

天燈は、願い事によって色が異なり、赤は健康、安全運を願うものだそうだ。天燈を空高く舞い上がらせるためには、願い事を書いた後、紙に火をつけて天燈に熱がこもるまで

ベルギーの片田舎で

待ち、いっぱいに膨らませてから手を離す。うまく飛んでいけば願いがかなう。

三〇分後、駅に停まっていた電車が汽笛を鳴らしながら動き出し、車輪の音が高く響きわたつた。私たちは線路から外に逃れ、電車が目の前を通過すると、にぎわいが元に戻った。こんな素朴でローカルな光景に出合った。

(第二五七〇地区 埼玉県 電気工事)

待ち、いっぱいに膨らませてから手を離す。うまく飛んでいけば願いがかなう。

三〇分後、駅に停まっていた電車が汽笛を鳴らしながら動き出し、車輪の音が高く響きわたつた。私たちは線路から外に逃れ、電車が目の前を通過すると、にぎわいが元に戻つた。こんな素朴でローカルな光景に出合った。

待ち、いっぱいに膨らませてから手を離す。うまく飛んでいけば願いがかなう。

三〇分後、駅に停まっていた電車が汽笛を鳴らしながら動き出し、車輪の音が高く響きわたつた。私たちは線路から外に逃れ、電車が目の前を通過すると、にぎわいが元に戻つた。こんな素朴でローカルな光景に出合った。

この小さな街を散策中、ロータリークラブ

の例会場を示す看板を発見。早速写真に収めました。そこは二つのクラブの例会場となつていて、例会は、木曜日の一九時三〇分からと水曜日の一九時からあると表示していました。私が訪問したのは、土曜日の昼ごろで、扉は施錠してあつたため入ることはできませんでした。ベルギー南部の自然豊かな古い小さな町にロータリークラブがあることに驚き、感動しました。

四月下旬のヨーロッパはまだ朝晩が少々寒く感じましたが、新緑が美しく、菜の花、チューリップ、マロニエの花が咲き乱れ、力モ、ハクチヨウなどさまざまな野鳥も見られ、自然を満喫するにはベストシーズンでした。あらためてロータリーを意識した思い出深い旅でした。

(第二七六〇地区 愛知県 内科医)



街中でロータリーの例会場を見つけてびっくり

モンストレーションが終わった後、生徒たちはアブデインさんを囲んで質問をしたり感想を話したりしながら交流した。最後に生徒会長からお礼の言葉があり、生徒が制作した点字新聞のリサイクルしおりと「故郷」の歌をプレゼントした。アブデインさんも点字の歌词カードで生徒たちと一緒に歌い、別れを惜しだ。

アブデインさんは「やりたいことをやろうとすることが大切。そこで自分の障がいで何ができるのか、何が問題かを考えて、一つずつそれを解決してクリアしていくことによって、夢が実現できる」という話をした。

生徒の一人は「アブデインさんの『わが盲想』はとても面白かったです。今日実際に格會して素晴らしい方だという印象を持ちました。何事にも挑戦するアブデインさんのような人になりたい」と感想を述べた。

また後日、生徒たちがアブデインさんへ書いた手紙の中には、「今日はアブデインさんの話を聞いたり、ブラインドサッカーを体験できて、とても楽しかったです。ブラインドサッカーは、転がってきたボールの音を聞いて足で止めるのが難しかったです。私もいつかアブデインさんのように留学をしてみたいですね」と書かれていた。

盲学校の生徒たちにとって、アブデインさんとの出会いは夢や希望、勇気を与える、多くのことを学ぶ貴重な経験となつた。このような機会を与えていただいたことに心から感謝したい。(第二五三〇地区 福島県 教師)

ロータリーとは何か

三島 西原 孝次

『ロータリーの友』五月号に掲載の「グローバルアウトトルック」の中で、ロン・バートン国際ロータリー会長が、「私は、一度クラブを退会しました」、さらには「毎週、どこの町にもありそうなホテルに集まって大しておいしくない食事を取るだけでは、クラブにどうまり続けたいと思うはずがありません」と述べています。同感です。

「ロータリーとは何か?」私もロータリーに入つて二三年になり、そろそろマンネリになつてきました。しかし、学んだことも日々

あります。廣畑富雄氏(二〇〇五—六年度第二七〇〇地区ガバナー)は著書『ロータリーの心と原点』の中で、ロータリーの本質は慈悲ではなく、倫理性を大切にすること、と述べています。

台湾の天燈上げ

鶴ヶ島 渡辺 道雄

台湾台北郊外の町・十分の平渓へ、天燈(ランタン)上げを見にいった。台北のホテルを朝九時にバスで出発。山道を出ると渓谷沿いに、国道と平行して平渓線の線路が見えた。二〇分くらい走ると、右側に十分駅の看板が

東京調布むらさきロータリークラブ

第二七五〇地区(東京都)

バナーバー



は、必ずポリオ撲滅に対するロータリーの貢献を話してきた。しかし、過去三〇年以上、野生の（ワクチンによらない）ポリオが発生していない日本での関心は非常に低いのが現状である。メディアでも最近、ポリオに関する記事はほとんどなかつたようだ。今年五月八日の日本経済新聞「春秋」欄に、次のような記事が載っていた。

（前半略）近年はワクチンも改良され、人

類のポリオ根絶はもう一息、のはずだが敵はしふとい。世界保健機関（WHO）は先日、

パキスタンやシリアなど一〇カ国で感染が拡大しつつあるとして緊急事態宣言を出した。WHOは二〇〇〇年をポリオ根絶の目標にし

ていたが達成できず、ここへきて状況はむしろ悪くなっているようだ。背景には甚だしい貧困があり、戦争や内乱がある。往年の日本とは比べものにならない困難が横たわる感染地域なのだが、それでも国際社会の力を集めてウイルスに挑まねばなるまい。○九年に世界の患者の半数を抱えたインドは、その後わずか数年でポリオ制圧を果たした。危機はきつと克服できると、事実が教えていた。

ポリオの実情をよく伝えたい記事なの

だが、「それでも国際社会の力を集めてウイ ルスに挑まねばなるまい」という表現が他人事のような書き方だったのを気になり、日経読者センター「春秋」係に電話した。「国際社会の力を集めて」とはどういうことかと質問したところ、具体的な回答が得られず、案の定、ロータリーの貢献については全く知ら

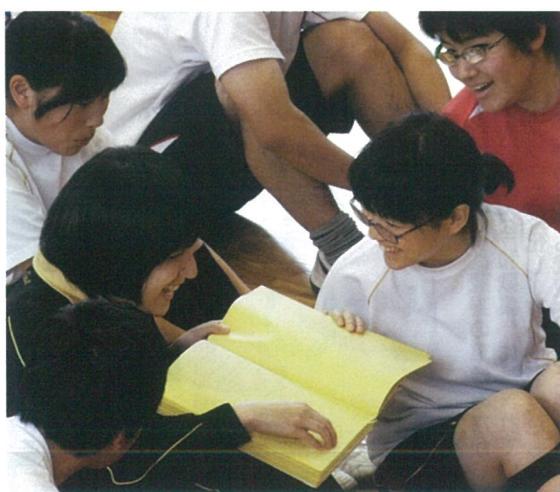
ないことがわかった。そこで、ロータリーはポリオ撲滅に一二億ドル以上を寄付していること、ポリオ撲滅活動においてロータリーはユニセフ、アメリカ疾病対策センター、WHO、ビル・アンド・メリンダ・ゲイツ財団をパートナーとして活動していること、日本国内でも募金活動をしていることを説明し、今後、ポリオについて記事を書く時は、ウェブで「ロータリー」を検索して参考にしてほしいと伝えた。

『ロータリーの友』一月号で、第二七八〇地区の『あつぎ鮎まつり』でポリオ撲滅キャンペーンの記事を読み、素晴らしい活動をされていることを知った。こういう活動は、地域のメディアには伝わっていると思うが、「END POLIO NOW」が全国紙に取り上げられることが望むものである。

（第二七九〇地区 岡山県 環境コンサルタント）

米山学友を招いて 講演会

福島クローバル 鈴木美恵子



アラビア文字（点字）で書かれた教科書に触れる生徒たち

の首都ハルツームに生まれた。生まれた時から弱視だったが一二歳で全盲となつた。一九歳で来日し、福井県立盲学校で点字や鍼灸を学ぶ。その後、母国スードンの紛争問題と平和について学びたいと考え、現在東京外国语大学博士課程で研究を行つてはいる。ブラインドサッカーの選手としても活躍しており「たまハッサーズ」のストライカーとして日本選手権で三回優勝している。

今回は、第二五三〇地区の研修会で、米山学友としてスピーチをするために福島を訪れることになつて、地区米山記念奨学会委員長の加藤義朋さんの配慮で前日の福島県立盲学校の訪問が実現した。

生徒たちは事前にアブデインさんの著書『わが盲想』を読んだり、アブデインさんを取り上げたテレビ番組を視聴したりして講演会に臨んだ。講演とブラインドサッカーのデ

外の景色を楽しみ、もう一日は世界遺産のエアーズロックを観光し、本当に有意義な旅となりました。考えてみたら、主人を亡くしてから、四五年目にして初めての親子水入らずの旅行でした。

今回の旅で、ロータリーの大きさを実感し、私たち親子がその末席にいることに感謝し、微力であつてもいい、どんなに小さなことでもいから力になりたいと気持ちを新たにしました。（第二五五〇地区 栃木県 婦人服販売）



エアーズロックを背に親子で乾杯！

国際大会で3キロ ウォークに参加

味半分、不安半分でした。しかし会場に行つてみると、ロータリアンが世界各国から集まつていて、それは見事なものでした。

開会式では、オーストラリアの首相がポリオ撲滅に対して一億豪ドルの寄付が発表されました。この大きな寄付額に驚いて、少し調べてみました。すると、ロータリーのボリオ撲滅活動は、なんと三〇年前から行われており、今、ゴールが見えるところまで来ているとのこと。「あと少し」を応援するための寄付だったそうです。

三〇年もの間、一つの目標に向かって世界

シドニー国際大会に、当クラブの吉原信幸会長エレクト（当時、以下同）夫妻と私たち夫婦の四人で行つてきました。私が会長を務めたモントリオール国際大会（二〇一〇年）からは夫婦で参加することが多くなり、妻も

END POLIO NOWと広報

倉敷東 遠藤 勇之

きました。メルボルンに留学している日本からの青少年交換学生も参加していました。腰にコルセットを着けて参加した私ですが、完歩することができ、とても楽しく有意義な経験となりました。（第二七三〇地区 宮崎県 コンピューター）



3キロウォークを完歩しました

今回で四回目の国際大会です。

今回は開会本会議の前日に行われた「エンド・ボリオ・ナウ・メイク・ヒストリー・トゥ・デー・3Kウォーク」に参加。スタート前にローテン・バートン国際ロータリー会長の激励の言葉をいただき、さまざまな国の多くのロータリアンやその家族がロータリーのボリオ撲滅の取り組みに対する理解と支援を表明するとともに、世界に向けてボリオ撲滅を訴えて歩

墓金活動を実施、メディアへの投稿）は、今年度の当地区の重点項目の一つである。

倉敷東ロータリークラブでは、地区補助金によるイベントでロータリーの広報を行なう

スウェーデン伝統の弦楽器で、民族音楽を披露。お料理はファンさんのお母さま手作りの生春巻きといったベトナム料理も出され、会場は民族衣装も華やかに、国際色豊かな宴となりました。

隣にいる人がどこの国人であっても、二人を祝福し、応援する気持ちは同じ。世の中のどんな紛争も、こんな気持ちでいたらすぐに解決できてしまうのに、と思えるような幸せな一日でした。

(第二五一〇地区 北海道 自動車部品販売)

国際大会参加の楽しみ

福岡東南 浅野 秀樹

今年も国際ロータリー（R.I.）の年次大会に参加しました。公式発表では、今年のシドニービッグは、一万八〇〇〇人以上のロータリアンが世界中から集まつたとのことで、大いに盛り上がりました。日本からも二五〇〇人近くの参加があつたそうです。

私たち夫婦は、二〇〇二年のバルセロナ大会から、毎年、国際大会に参加しています。最初のバルセロナ大会では、一〇日間ほど地中海クルーズを経てバルセロナ港に入港し、大会に参加しました。私は以前、公務員をしていましたため、このように長期間、夫婦で旅行したこともなく、人生半ばを過ぎた私



シドニー・ハーバーブリッジを背に

たちにとって、心に残る楽しい旅でした。それ以来、すっかり病みつきになり、今では国際大会に参加するために、一年間働いている

ような感じさえしています。

国際大会の大きな楽しみは、開催地の近くの国々や名所・旧跡を訪ねて回ることです。世界各地で開催されますので、昨年のリスボン大会では、一〇日間かけてポルトガルの各都市をバスで巡り、一つの国をじっくりと見て回る楽しさを味わいました。

ところで、国際大会はR.I.に加入する二〇〇以上の国と地域のロータリアンが一斉に集結しますので、開会式当日の会場は、オリンピックの開会式を思わせるような雰囲気に包まれます。さまざまな民族衣装をまとつた人々が会場いっぱいにあふれかえっています。なかには、内紛や他国との戦争状態である国々からの参加者もいることでしょう。

(第二七〇〇地区 福岡県 民事弁護士)

親子で国際大会に参加

栃木南 大澤美枝子

私が、長男、次男、それぞれ所属クラブは違いますが、三人ともロータリアンです。私が喜寿を迎えた記念にシドニーで開催された国際大会に娘を通訳に親子四人で参加してきました。

宗教を超える、世界最大の民間組織である」と、まさに実感できます。

開会式では、アルファベット順に参加国の名前がアナウンスされ、その国の国旗が大画面に映し出されるのが通例です。そのアナウンスと同時に、その国からの参加者が歓声を上げながら立ち上がり、自國をアピールします。昨年は、田中作次氏がR.I.会長でしたから、各国紹介の最後は日章旗を仰ぎながら「君が代」を齊唱しました。あいにく私たち夫婦の周りは外国人ばかりでしたが、直立不動の姿勢で歌い終わった途端、周りから大きな拍手がきました。日本から遠く離れたユーラシア大陸最西端の街で、このような瞬間に出会えたことに感極まりました。次回は、ブラジルのサンパウロでの開催です。来年も元気に地球の裏側に飛んで行きたいと思っていま

す。

(第二七〇〇地区 福岡県 民事弁護士)

全員初めての国際大会で、どんなものか興



エージュート 100回達成は 2017年の予定

写真：十勝毎日新聞社提供

「ぜひともお祝いをしよう」という声が上がり、ゴルフ同好会歴代会長が幹事役となり、喜々として準備に動き回りました。祝賀会当日、会員の祝意、満場の笑顔と歓声、拍手とともに記念の盾と特製のゴルフバッヂが贈られました。

温顔に笑みを浮かべた川上会員の、いつも以上に洒脱で粋な謝辞に爆笑が続きました。

健康で豊かな人生とゴルフの両立、それが確かにあることを示し、あらためて人生の夢をみんなにも信じさせてくれたすてきな一夜でした。

川上会員からは参会者全員に「デジタル時計」がプレゼントされました。それはきっと

「今この時が大事。この時の積み重ねが人生だ」というメッセージが込められたものと思われます。

健康、挑戦する心、人柄、真摯な姿勢など

力、日々を楽しむ、そんな川上会員を知る帶広西RC会員は、彼と友人であることを誇りに思いつつ、68～70台のスコアを並べたエージェント五一回は奇跡的なことだが、奇跡ではなく、確かな「人生の軌跡」なのだとということを教えていただいたと喜んでいます。

そして川上会員らしいのは、祝賀会の数日前、八〇歳になつて最初のエージュート79を達成し、記録を五二回に伸ばし、「おい、土産を持ってきたぜ」とニヤリとし、祝賀会に

自ら花を添えたことです。粹ですねえ。この調子でいくと一〇〇回達成は二〇一七年。すでに祝賀会が計画されているとか、いないとか。

当の川上会員はクラブの大先輩でありながら「例会出席免除」を申請することはせず、年齢やクラブ在籍年数などどこ吹く風とばかり、ひょうひょうと例会に参加し、誰とでも語らい、ゴルフでは若い会員と肩を並べ、ゲリーンをさつそつと行くのです。

(第二五〇〇地区 北海道 乗用車販売)

家族例会がきつかけで カツブル誕生

当別 安藤 正



日本とベトナムの国旗が描かれたウエディングケーキは、藤澤康一会员の力作

二人の出会いは二〇一一年一二月、年忘れ

家族例会に当時会長だった島田会員の家族として出席した裕考君と、米山奨学生として例会で卓話をしてくれたファンさんをゲストで迎え、同じテーブルを囲んだこと。例会中、ダーツゲームを、二人がチームを組んで挑戦し、良い雰囲気となりました。「若いもん同士、電話番号くらい交換しろ」というおせつかいな一言がきっかけで、この日を迎えることができました。

パーティーには当クラブとファンさんの世話クラブの札幌手稲ロータリークラブ、そして米山学友、財團学友のメンバーら二〇〇人が駆けつけ、祝福をしました。

司会はファンさんの大学の恩師でクロアチア出身のヘレナ・ケラヴァさん。余興には当別町の姉妹都市であるスウェーデン・レクサンド市出身で、現在当別町在住のルイース・ビュールンドさんが、ニッケルハルパという



エッセー、海外のロータリークラブ訪問記、時局雑感など。1,000字以内。関連写真があれば添付してください。

う言葉が広まつたのは、電気機器の説明に使われてからである。専門的なことは別として、一般的に「アナログ」という言葉には、古くて性能は優れないので、温かみを感じる。一方「デジタル」には、新しくて高性能ではあるが、その正確さに機械的な冷たく硬いものを感じる。私は、「アナログ」の時代の産物に郷愁を感じる。

(第二六九〇地区 島根県 料理・仕出し)
パソコン入力がなんとかできるようになつたのに。「デジタル」は私を待ってくれない。回ってきた老人会の会報の「スマホ教室」への誘いが気にかかる。

奇跡、いや、軌跡のエージシユート

帶広西 鈴木 享

「アナログ」と 「デジタル」

出雲南 古川 精次

真空管のラジオにトランジスタ。手巻き時計の時間調整、レコードプレーヤーのLP盤にそっと針を落とす時の緊張感と流れれる音楽に胸をときめかせたことを思い出す。カセットテープならまだしも、CDの無機質な冷たさは、曲の頭出しの便利さで許されるか。しかし、そんな懐かしさに浸っていては時代に取り残される。若い者に負けじと高齢女性も「スマホ」の画面を指でなぞっている。

四月から消費税が八割になり、一円玉の出し入れが多くなった。レジでの支払いがつい面倒になり、財布の小銭をバラバラとレジ台上に出し、数えて支払っている。この光景、見覚えがあるぞ。以前、私の会社がスーパーに出店していたころ、同じように小銭を並べる人があった。男性で、しぐさが年寄りくさいなどと思っていたが、自分もついそんなことをする年になつたのかと、一人苦笑する。

近ごろ暗算をすることが少なくなった。すぐそばに便利な電卓がある。以前はそろばんを使っていた私。「デジタル」に疎い自分を「アナログ人間」とうそぶいている。

そもそも「アナログ」と「デジタル」とい

雪に閉ざされる四か月、その前後二か月は低い気温と強い寒風。北海道特有の厳しいゴルフ環境にもかかわらず、驚異の「68」をスタートに、わずか一〇年余でエージシユート（一ラウンドを自身の年齢以下の打数でホールアウトすること）を五回。そのうち68～72のスコアが七回、73～76が二八回。つまり、ゴルファーなら誰もが願い、望む80を切るスコアを連発しているのは、わが帶広西ロータリークラブ（RC）の川上哲平会員です。

ゴルフをする人ならば、これだけでいかに大記録かがおわかりのことだと思います。

われらが帶広西RCはゴルフが盛んであり、各会員の技量も高く、何よりの自慢は、コンペの時も、例会の時も、年代を問わず常にゴルフがらみの軽口が飛び交う和氣あいあいとした雰囲気です。その中心となつているのが、川上会員です。

今年三月、川上会員が八〇歳を迎えた際、

やつと携帯電話に慣れたのに。人差し指で



市役所の空調を支えるボイラー（左）と燃料のチップ

官民挙げて取り組む
バイオマス計画

せつかくなので真庭市のことでも少々。

真庭市は岡山県内の自治体で最も面積が広く、その八割が山林だ。ヒノキ材が名高く、「美作檜」としてブランドになっている。

山林を活かそうと、官民挙げて取り組んでいるのが「バイオマス計画」である。間伐材や廃材、生ゴミ、ワラなどをエネルギー源として活用するシステムで、真庭市は国の「バイオマス産業都市」にも選定された。山林なので「産業杜市・真庭」と氣合が入っている。

三年前にできた市の新庁舎は木材がふんだんに使われ、気分が安らぐ。一～三階の空調はチップやペレットを燃やして行う。

新会社によるバイオマス発電所の建設も進んでいる。一般家庭二万二〇〇〇世帯分の一万キロワットを発電する計画で、来春運転開始の予定。

「産業杜市」の中核を担う。

というようなことを、市バイオマス政策課の長尾卓洋課長らがていねいに説明してくれたのだが、なにぶん当方の理解力不足と紙数不足。くわしくお伝えできずすみません。

バイオマスや木材業には真庭RCの会員も関わっている。作業場に案内してもらった。

創立会員である山下順次元会長は製材会社経営。ヒノキの香りに満ちた構内を歩きながら山下さんの話を聞く。そうか、いま木材の乾燥には廃材やカンナくすなどを燃やした熱を使って

いるんだけど、初步的なことに感心する。この世

界のこと、なにも知らないなあ。

向井幹事は、山から木を伐り出す素材会社を経営している。かつて県の林務課に勤めた山の専門家である。林業が引き合いうようにするため、合理化、効率化が大事だと考えている。

伐採の現場に案内してもらった。急斜面に刻まれた作業道は前日の豪雨でぐちゃぐちゃだ。

道の先端に、向井さん自慢の「ハーベストバケット・ハイブリッド」なる作業車が止まっていた。木を伐つて枝を払い、土中の根っこを掘り、斜面を掘り崩し、ならして道にする。従来、作業員三～四人と一～三台の機械が必要だった作業を、一人とこれ一台で片付けてしまう。

向井さんが機械会社と数年かけて開発した新兵器。日本に、いや世界に一台だそうだ。鉄人28号も真っ青の、その働きぶりときたら！

ひ弱な都会モノは、山の現場の危険とたくましさに圧倒され、真庭を後にしたのだった。

宮本貢（みやもと・みつぐ）
元朝日新聞記者。退社後、フリーで活動。
水村孝（みずむら・たかし）
元朝日新聞出版写真部編集委員。現在フリー。

真庭杜市づくり支援の自販機



向井さんも開発に携わった最新鋭の重機



わがまち..... ROTARY そしてロータリー



ロータリー会館にある例会場入り口

例会場には木片が利用されている

ように見えた。来年、仕切り直しですか？

留学生との交流以外でも、真庭RCの活動は地域を大事にしたものが多い。

このあたりは、合併以前から真庭地域と総称されていた。南の岡山市で瀬戸内海に注ぐ旭川。その水系に暮らすという一体感が真庭RCの活動にも生きているのかもしれない。

「中高生の英語スピーチコンテスト」もその一つ。英語が得意な高田為行元会長が呼びかけた。今年で一六回目になる。

知的障害者支援施設「コスマスの園」との交流は一年目。最初は秋の運動会、やがて夏祭りにも参加するようになつた。夏祭りは地域の祭りとして年々盛んになつていて年々盛んになつていているそうだ。

去年迎えた創立三〇周年の記念事業の一つに「ロータリー文庫寄贈」がある。子どもたちから本に親しんでもらおうと、市内全一六の小学校一年生の全クラスに、本が詰まつた本棚を贈つたのだ。もつとも一年生のクラスが複数あつたのは二校だけ。ほかはすべて一クラスだつた。山間部はどこも同じような状況か。

文庫の寄贈にあたつては、どんな本がほしいか、それぞれの学校に問い合わせた。だから文庫の中身は学校ごとに異なる。

真庭RCはソロ・チミスト真庭と親しい間柄だ。お互いが行事に参加、協力しあつていて。今回の留学生のホームステイでも安田絹江副会長がホストを受けた。ホスト役はこれで四五回目とか。真庭クラブが男性会員ばかりなのとなにか関係があるのかは聞きそびれた。特筆すべきことがある。真庭RCは自前の例

会場を持っているのだ。(真庭ロータリー会館)。

グーグルなどの地図に堂々と載っている。この七年間、当欄の取材で各地のクラブにお邪魔したが、自前の例会場は初めてだ。

三代目会長だった建井正道さん(高齢のため退会)から格安で借り受け、例会用に改築した。事務局に応接室みたいな小部屋、炊事場があり、奥が例会場。ホテルの宴会場仕様でシャンデリアまで下がつていて。

「そりやあもう便利ですよ」と会員みなさんのが声をそろえる。事務局とつながつていてので例会の準備は簡単。昼食は弁当の出前。もちろんホテルのようなサービスはないので、準備も後片付けも自分たちでやる。独立自尊だ。

会員は現在三七人で例会場の席数は四二。だから増強は五人以内に、というのは冗談。

シャンデリア輝く例会場





真庭RCは市内の全小学校の1年生のクラスに図書を贈った



流でした。でも真庭RCにできること、ふさわしい活動は、留学生にこの土地と人を知つてもらうこと。そういう考えだつたと思います」。創立会員の豆原義重元会長は説明する。

例年七夕のころ、主に岡山大学に学ぶ留学生たちを招き、会員宅にホームステイしてもらう。二泊三日の初日は留学生も家族も加わっての七夕例会、翌日が市内の小学生との交流会だ。

今年、留学生は男女四人ずつの計八人。中国、韓国、ベトナム、カンボジア、スリランカの五か国の若者だ。交流会の会場になつた体育館に掲げられた自国の国旗を指差してうれしそう。

あいさつがあつたり自己紹介をしたり、多少の儀式はあるのだが、中心は遊びである。いつしょに遊べば言葉や文化の違いは気にならない。国同士の仲が悪い？ それ

がどうした。

「今回、ロータリークラブさんから話が来てきなカルタとり」など、屋食をはさんでのゲーム大会は大盛り上がりだ。

「ほんとに氣合が入つておられて、打ち合わせ段階では企画が二〇ぐらい出てくる。これじゃあとも一日で終わらない」。どなたか忘

慮を考えた。

「ほんとに氣合が入つておられて、打ち合わ

れたが、真庭RCの担当者が笑っていた。

この日は登校日で参観日にもなつた。児童も保護者も全員参加のイベントである。未来の一年生たちも会場内を駆け回つている。

真庭RCの面々はそろいのTシャツだつたが、PTAだつて負けてはいな。数年前に作つた「はぐくめ命水田つ子」のイラスト入りTシャツ。しかもこぢらは色違いが何種類も。

シャツのイラストを描いたPTAの大西奈津枝さんが、ゲームの司会もしていた。一年生から六年生、さらに留学生におとなまで加わつた集団を、余裕で仕切つて飽きさせない。「小さな学校で、子どもも保護者もほとんど知り合い。やりやすかつた」そうだ。

会員たちの活躍にも触れておこう。最初は裏方に徹していたのだが、ゲームの盛り上がりに血が騒いだのだろう。長縄跳びの、しかも「8の字跳び」の大技に、富坂順也会長、向井玉則幹事ら数人が挑んだのだ。快挙と言えよう。結果は、「それなりに健闘」と言つておきます。

じつは今回、留学生側のドタキヤンがあつた。参加予定の一人が体調を崩し、友達と二人が眞庭行きを諦めたのだ。

二人のホームステイ先は牧原三千雄元会長宅の予定。ホスト役は初めてだつた。「かみさんがドエライ緊張して準備した」そうだが、キヤンセルをもつとも残念に思つたのは牧原さんの

広瀬憲三元会長宅で寛ぐベトナムからの留学生タンさん（中央）



岡山県 真庭市



わがまち..... ROTARY そして ロータリー

山林を活かす ニッポンのふるさと

文・宮本 貢 写真・水村 孝

留学生に
真庭の土地と人を知つてもらう

米や水田という文字を見るとほつとする。
やつぱり（昔の？）日本人なのでしよう。

岡山県は真庭市立の水田小学校。「すいでん」
ではなくて「みずた」なのだが、それはまあどうでもよい。全校児童七一人。地域の人たちに
大切にされているにちがいない学校の門に入る
と、なんともいえずほつとする。

廊下を歩いてまず目についたのが、壁にズラ

リと貼られた表彰状のコピーである。「水田大
賞」という賞で、その授賞理由が素晴らしい。

「あなたは大きな声で気持ちのよいあいさつ
ができるので、ここに水田大賞を贈ります」

ほかにも、ぞうきんがけをがんばっている
指先までピンと伸ばして手を挙げていた、何事

山また山の中国山地

全校児童 71 人

気合いの「8 の字跳び」

大きなカルタとり



けでなく、高齢社会になつて使用頻度が伸びてきています。この常設置き場については、紙おむつメーカーから寄付をいただきました。おむつの原料パルプは材質がいいということで、最終パルプとして利用しています。この紙おむつに関しては、当初の予想を上回る形で回収がでいています。

大木町のごみ処理の値段ですが、燃やすごみ袋は三五リットルの袋が一〇枚で六〇〇円。一枚六〇円になります。これは近隣の市町村と比較して高いと思います。プラスチックの指定袋は三五リットルで一〇〇円です。一枚一〇円です。これは安いと思います。つまり、プラスチックとそれ以外のごみを分別してくださる皆さんには費用を安くしよう、それが煩わしいという人はそれなりの負担をしていただこう、ということです。

しかし、高齢社会になつてきて、出すのが面倒だとか、出す人がいないという問題が発生してきましたので、シルバー人材センターに協力をお願いして二〇一三（平成二五）年から、六五歳以上だけの世帯を対象に、ごみ出しサポート事業を展開しています。

大木町でごみ処理にかかる費用は、二〇〇五（平成二七）年度に二億数千万必要だったのが、二〇一二（平成二十四）年度には一億九六〇〇万円に減りました。軽減分につきましては、住民の皆さんに直接提供するかたちで還元しよう

まに利用いただいています。「こつぽーっと」とは筑後地方の方言で、「こぢんまりとして、くつろげる」という意味です。施設のこの愛称は公募で選ばれました。図書館は、町民の皆さんからの要望が大きかつた施設です。次に何が必要かと考えたのですが、子どもたちを取り巻く自然環境が劣化している中、小学校にエアコンが必要だ、という要望を多くいだいていましたので、学校にエアコンをつけることになりました。このように、一緒にがんばってくださった町民の皆さんに何とかお返しできる形はないかと、取り組みを続けています。

二〇〇八（平成二〇）年三月、町議会にて、全会一致で可決いただき、「もつたいない宣言」を公表しました。

大木町もつたいない宣言

（ゼロウエイスト宣言）

地球温暖化による気候変動は、一〇〇年後の人類の存在を脅かすほど深刻さを増しています。その原因が人間の活動や大量に資源を消費する社会にあることは明らかです。

私たちは、無駄の多い暮らし方を見直し、これ以上子どもたちに「つけ」を残さない町を創ることを決意し、「大木町もつたいない宣言」をここに公表します。

子どもたちの未来が危ない

二・もともとは貴重な資源である「ごみ」の再生資源化を進め、二〇一六年（平成二八年）度までに、「ごみ」の焼却・埋立て処分をしない町を目指します。

三・大木町は、地球上の小さな小さな町ではあります。ですが、地球の一員としての志を持ち、同じ志を持つ世界中の人々と手をつなぎ、持続可能なまちづくりを進めます。

以上宣言します。

平成二〇年三月一日

このように、無理をせずに地域でできるところから始めていこう、というのが、大木町による事業の精神です。無駄の多い今の社会を、少しでも見直して、子どもたちの時代にツケを残さないようなまちづくりをしようという宣言です。

今、資源循環のまちづくりに取り組んでいますが、この事業を通して私が言えることは、まちづくりは行政だけでは何もできない、地域住民の皆さんと一緒にやつて初めてまちづくりが進むものだ、ということです。これからはお年寄りも若い人たちも、男性も女性も、地域に住む皆さんと一緒に力を合わせて取り組む以外に、まちづくりを進める手段はないのだろうと思っています。

これから先、すべての分野で住民との協働のまちづくりを進め、伝統的な農村社会の良さと都市生活の利便性がうまく調和した大木町を描き、実践していくないと考えております。

（ホスト 大川東RC）

情報センターと交流センターの三つで構成される施設をつくり、多くの高齢者など町民の皆さん

に買つていただく、という循環の仕組みをつくらなければ、こういった事業は成り立たないと 思います。

コメのほかには、菜種油の生産もしていますが、現在のところ第三の商品開発には至っていません。商品開発はなかなか難しいのです。それでも、町の独自産業に結びつけたいと、地域の若い奥さんたちがクッキーをつくるなど、新しい商品開発に努力をしてくださっています。

バイオガスプラントの特徴は、臭いがしないということです。つまり、「くるるん」は従来型のごみ処理などを行う施設、いわゆる「迷惑施設」ではないということで、町の中心に、中核施設として建設をしています。国道四四二号バイパス沿いという、道路条件の良さも最大に活かせるよう、整備してあります。

減つたごみ 上がつたりサイクル率

おおき循環センター「くるるん」は、循環のまちづくりの拠点施設でもあります。世界的に環境問題に対する関心が高くなり、毎年、国内外から三〇〇〇～四〇〇〇人の方々が見学に来られています。循環センターの隣には、道の駅をつくりました。その隣に、農産物の直売所を建設しました。地産地消レストランもあります。

生ごみを資源として活用すると、燃やすごみの量が半減します。そして事業を展開することによって、それぞれがそれぞれの役割を果たす

に買つていただく、という循環の仕組みをつくらなければ、こういった事業は成り立たないと 思います。

コメのほかには、菜種油の生産もしています

必要が出てきて、まちづくりと一緒にやろう、という一体感が生まれます。循環事業を行なうこどにより、こういった効果が表れているのでは ないかと思います。

「くるるん」をつくる前には三〇〇〇〇トント あつたごみが、二〇一二（平成二十四）年には、一三〇〇トンにまで減りました。リサイクル率も一四割であつたのが、六〇・九割になりました。

これは全国的に見ても、かなり高い数字ではなかと思つていています（環境省の発表によると、一〇万人以下の市町村では、全国で第三位だそ うです）。しかし、全体のごみの量、総量はあまり減つていません。今後は、全体のごみの量を減らす努力をしなければいけないと思いま す。

では、ごみをもつと削減するには、どのようにしたらいいかということになります。今、ごみとして多いのは、紙類とプラスチックです。こういったものを資源として分別するシステムづくりをしなければ、それ以上のことは望めません。そこで大木町では、先ほど述べましたよ

うに今、四つの目標を立て、その視点から常に、新たな挑戦を始めています。

紙を一つひとつ分類するのは煩わしいもので すから、各家庭では、スーパーや百貨店の紙袋に、どんどん入れてもらいます。それをひもでくくつて、そのまま出せるようにしました。行政区単位でステーション（常設置き場）をつくり、町民の方々にはそこまで持つてきてもらい ます。各行政区が、リサイクル業者に販売し、さらに、古紙は一キロ四円の奨励金を出すこと にしました。

古布についても、一キロ六円の奨励金を出し ています。古紙・古布の売り上げと奨励金は、各行政区の費用に充ててもらえるようにしまし た。今のところ、一つの行政区につき多いところは一〇万円以上を受け取っています。このステーションの利用者は、確実に増えてきています。出しやすいシステムをつくれば、町民の皆さんにも協力いただけると思つています。

二〇一一（平成二三）年から、紙おむつのリサイクルも始めました。紙おむつは赤ちゃんだ

「もつたいない宣言」で知られるまちづくりを進めている。

■福岡県三潴郡大木町町長 石川 潤一



一九五一年 福岡県三潴郡大木町生まれ。

七一年 福岡県立三潴高校卒業、同年大木町役場入職。

九六年 大木中学校PTA会長。九七年 三潴郡PTA連合会 会長。二〇〇一年 まちづくり課長。〇五年 環境課長。〇六年 大木町役場退職。

〇七年 大木町長就任。一年 大木町長二期目就任、現在に 至る。



写真提供：大木町 堀と広い空に鎮守の杜（もり）が点在する

大木町においても、旧三瀬郡三町での合併、あ

るいは隣の筑後市や大川市との合併、久留米市との合併など、合併論議があくさんありましたが、結果としてできませんで

した。そんな状況の中で、何とかしなくてはいけない、ということになつたのです。

そこで、今までの理念に基づいて、具体的に大木町で実現しようと、お

おき循環センター「くるるん」を建設することになりました。「くるるん」は、メタン発酵施設である処理棟と管理学習棟「バイオの丘」からなる施設です。

それまでは大川市の清掃センターでごみとして燃やしていた生ごみは、分別すると、燃やす量がぐんと減りました。二〇〇六（平成一八）年一月から、ごみとして多額の費用をかけていた生ごみを、資源として活用しようということで、今、週二回、生ごみを分別して、出してもらっています。処理費は無料です。

しかし、立派な理念だけでこの課題に取り組んでいるわけではありません。一方で、切羽詰まつた問題がありました。し尿につきましてはこれまで海洋投棄をしていました。処理施設をもつていませんでした。これが二〇〇七（平成一九）年、ロンドン条約（廃棄物その他の物の投棄による海洋汚染の防止に関する条約）、すなわち国際的な条約で禁止されました。ちょうど、平成の大合併の風が吹き荒れていた時です。

このものを、地域資源として活かすこと」「住民・事業所・行政が役割分担し、それぞれが責任を果たすこと」「食やエネルギーを出来るだけ地域で自給すること（地産地消・省エネ）」「自然を大切にし、助け合い、汗を流し、何ひとつ無駄にしない」先人の暮らしの知恵に学ぶこと」の四つです。循環のまちづくりは住民との協働作業です。

しかし、立派な理念だけでこの課題に取り組んでいるわけではありません。一方で、切羽詰まつた問題がありました。し尿につきましてはこれまで海洋投棄をしていました。処理施設をもつていませんでした。これが二〇〇七（平成一九）年、ロンドン条約（廃棄物その他の物の投棄による海洋汚染の防止に関する条約）、すなわち国際的な条約で禁止されました。ちょうど、平成の大合併の風が吹き荒れていた時です。

まず、家庭から出るごみを、生ごみとそうでないものに分け、生ごみだけを出していただきます。これは住民の皆さん協力がなければできません。家庭に白い水切りバケツを配布していますが、生ごみだけをそこに入れておいても

回収した生ごみは、し尿など、浄化槽の汚泥も一緒に、おおき循環センター「くるるん」にある処理場で処理をします。

この設備についてご紹介しますと、まず、浄化槽汚泥は遠心分離機で水と汚泥に分離します。水につきましては、浄化槽清掃用の水として再利用します。生ごみ・汚泥・し尿をメタン発酵させるとバイオガスと液肥が出てきます。バイオガス（主にメタンガス）を回収して電力や熱エネルギーをつくっていますが、この施設で使う電力の七割を確保できます。従つて、従来の施設に比べて、ランニングコストが少なく済みます。

液肥については、コメの生産に利用しています。コメの元肥として散布していますが、散布料として、一㌧当たり一〇〇〇円いただいています。最初はこれで農作物ができるのだろうか？ という不安もあり利用者が少なかつたのですが、最近は化学肥料の値上がりも手伝つて、利用者が増え、対応しきれないようなうれしい状態になってきました。専用の散布車で散布していますから、農家の方に労力はかかりません。その液肥でつくった農作物は、学校給食などで使つたり、道の駅で販売したりして、地域の皆さんに還元します。

液肥を水処理するには、多額のランニングコストがかかります。この液肥を農地に使うことによってランニングコストが発生しない、という状況になっています。これは住民の皆さんの協力も必要ですし、農家の皆さんの協力も必要です。そして、収穫した作物を消費者の皆さん



写真提供：大木町 お宮も堀岸も地域の人が守る

循環システムをつくる 生ごみの

大木町では、循環のまちづくりをするに当たって、目標を定めました。「現在ごみになつ

循環型社会をつくるキーワードは、行政ではなく、地域、あるいは住民と行政の協働、すなわちみんなで取り組まなければならない、ということです。これが国的基本的な考え方です。私も、環境問題については、学者とか専門家といった人たちが地球規模で考え、行動は自ら、地域から起こすのが基本だろうと思っています。決して、大きなことをする必要はないと思っています。まずは自分の家から……。「分ければ資源」という言葉もありますように、できることからやればいいと思っています。

ごみの発生を抑制する方法としては、一般的にリデュース、リユース、リサイクルということが言われています。残念ながら、私たちが今取り組んでいるのは、リサイクルだけです。ところが、リサイクルをすると経済活動に負担をかけます。

彼らは地球温暖化によるものだと考えられていますが、その一番の原因は人間の活動ではないかという報告書が、IPCC (Intergovernmental Panel on Climate Change 気候変動に関する政府間パネル) から出されています。このような状況の中で、日本においても二〇〇〇（平成二二）年に、「循環型社会形成推進基本法」が制定されました。

環境のまちづくり

今、資源循環のまちづくりに取り組んでいますが、この事業を通して私が言えることは、まちづくりは行政だけでは何もできない、地域住民の皆さんと一緒にやって初めてまちづくりが進むものだ、ということです。無理をせずに地域でできることから始めていこう、というのが、大木町による事業の精神です。無駄の多い今の社会を、少しだけでも見直して、子どもたちの時代にツケを残さないようなまちづくりをしようというものです。

大木町町長 石川 潤一

Junichi Ishikawa

まず自分の家から始めよう

最初に、私のまちづくりに対する基本的な考え方を述べさせていただきたいと思います。大木町（福岡県）は、環境を前面に発信していますが、環境面だけでは、いいまちづくりはできないと思っています。

私たち首長の仕事は、住民の皆さんのが生き生きと安心して暮らすことのできる町をつくることです。そのためには、地域経済の活性化、雇用の確保、道路・水路・河川など社会資本の整備、教育・福祉の充実といったように、幅広い分野で取り組むべき仕事がたくさんあります。

環境というテーマを掲げて発信しています

が、環境といえども、町の財政に負担をかける、合理性に欠けるものについては取り組まない、という基本的なスタンスを持っています。

私は常々、財政が健全でなければ、どんなにまちづくりの理想を掲げても、最終的には何もできない、と思っていますから、健全財政の中で、身の丈にあつた施策を実行していく、それが循環のまちづくりであるという位置づけをして、取り組んでいます。

かつて、大木町にはきれいな堀割（クリーク）がありましたが、今は、そのような風景を見ることができません。現在は、土地改良事業によって、二〇級の大規模な幹線クリークが何本も走っています。このようなところは、整備が進んでいて豊かな水が保たれ、昔ながらの田園風景をかもし出すような、素晴らしい景色を見ることができます。

しかし、一步集落内に入ると、雑草が繁茂している、水が流れない、悪臭が漂う、蚊が発生する、といったように、生活環境が悪化しています。大木町では、昔からクリークが大きな役割を果たしていましたが、今でもその役割は変わりません。合併浄化槽の排水はクリークがあるおかげで、きれいにして流すことができます。

大雨のときは、平地ダムの役割を果たします。従いまして、クリークの整備は大木町の重要な施策の一つであると考えています。クリークの整備には大きな財政負担が伴いますが、計画的に、整備をしていく必要があると思っています。

大木町は、筑後平野のど真ん中に位置している福岡県の南西部にある、人口約一万四六〇〇人、面積は一八・四三平方キロメートルの小さな町です。実は人口が微増しています。基幹産業は農業です。福岡県発の「あまおう」というイチゴの生産にも力を入れていますが、コメづくり、他の園芸作物の生産にも力を入れてきました。先のクリークの総延長は二一五キロメートルで、面積は町全体の一四割を占めています。

近年、世界中で自然災害が頻発しており、こ

が縦横無尽に町内を走っていましたが、残念ながら今は、そのような風景を見ることができません。現在は、土地改良事業によって、二〇級の大規模な幹線クリークが何本も走っています。このようなところは、整備が進んでいて豊かな水が保たれ、昔ながらの田園風景をかもし出すような、素晴らしい景色を見ることができます。

9月は新世代のための月間です

THE ROTARY-NO-TOMO

環境のまちづくり

■大木町長 石川 潤一

ロータリー・アツト・ワーク

環境教育への出前授業
紙風船を飛ばそう

高知西ロータリークラブ

シリーズ わがまち……そしてロータリー
山林を活かす「ツボン」のふるさと

岡山県 真庭市

文・宮本 貢 写真・水村 孝

24
534
73

友愛の広場

RYLAの講師は元交換学生
駐日大使に例会でスピーチを「アナログ」と「デジタル」
奇跡、いや、軌跡のエージシユート出雲南 古川 精次
蒂広西 鈴木 享家族例会がきっかけでカツプル誕生
国際大会参加の楽しみ福岡東南 浅野 秀樹
都城西 栄木南親子で国際大会に参加
国際大会で3キロウォークに参加倉敷東 遠藤 堯之
三島 西原 孝次END POLIO NOWと広報
米山学友を招いて講演会福島グローバル 鈴木美恵子
鶴ヶ島 渡辺 道雄ロータリーとは何か
台湾の天燈上げ稲沢 服部 孝根
岸和田 肥後 真弘

ベルギーの片田舎で

高松南 当別 安藤 正
高松南 当別 安藤 正

●バナー自慢

第一五三〇地区県中分区
武田中学校高等学校—AC誕生
喫煙の害を説く健康のためのセミナー
創立四五周年を記念し看板を寄贈
公共イメージ向上のためJR駅前に時計塔を寄贈第二八〇〇地区
高松南 当別 安藤 正
高松南 当別 安藤 正第二八四〇地区第三分区
川崎高津 羽幌
大阪帝塚山 寝屋川
東京城北 青森

●内外ようす案内

表紙のメッセージーージ 岡井 輝毅

第二八四〇地区第三分区
川崎高津 羽幌
大阪帝塚山 寝屋川
東京城北 青森35
42

卓話の泉

古代文字の解説

表紙のメッセージーージ 岡井 輝毅

35
42

左右考

東海道五十三次

福知山西南 木村 潔
西宮恵美寿 北川 純一表紙 横組み 「爽快」 井上 秀夫(二六五〇 亀岡)
縦組み 「イカの天日干し」 井上 秀夫(二六五〇 亀岡)35
42ロータリー俳壇
ロータリー歌壇
ロータリー柳壇◆長谷川 権 選
◆馬場あき子
◆てじま晚秋

選

22
55 22
55 22
55表紙レイアウト 箕牧 彰
●横組みの目次は、反対側の表紙を開いた4~5ページにあります。

●本文・写真などの無断転載・複製を禁じます。

ROTARY
JAPAN
Home Page
www.rotary.or.jp

一般社団法人 ロータリーの友事務所

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル4階
Tel. 03-3436-6651 Fax. 03-3436-5956
編集部メール hensyu@rotary-no-tomo.jp

例会開始時刻 A 7:30 B 8:00 C 12:00 D 12:10 E 12:15 F 12:20 G 12:45 H 13:00 I 17:30 J 18:00 K 18:30 L 19:00 M 19:30 最新情報は「ロータリージャパン」www.rotary.or.jp「クラブ例会」をご覧ください

ポリオのない世界まで あと少し

子どもたちが、ポリオによって二度と体の自由を奪われないよう
今こそポリオを世界から撲滅しましょう。

歴史に1ページを刻むために
募金、認識向上、支援の働きかけにご協力ください。

endpolionow.org/ja

Rotary



あと少し

PSY

ロータリーの友

THE ROTARY-NO-TOMO SEPTEMBER 2014 VOL.62 NO.9

ロータリーの友9月号 第62巻 第9号
平成26年9月1日発行(毎月1回1日発行)
通巻741号 昭和28年1月創刊
昭和43年4月23日第3種郵便物認可
発行所 一般社団法人ロータリーの友事務所

9
2014



S P E E C H —————

環境のまちづくり

石川 潤一

わがまち……そしてロータリー
岡山県真庭市

Rotary 